

# DocPoem



**Document Publisher  
on Easy Management**  
Document Publisher  
on Easy Management

Ver 2.0

DocPoem Professional

ユーザーズマニュアル

エイセル株式会社

- ・ Microsoft および、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または商標です。
- ・ DocPoem は、エイセル株式会社の登録商標です。
- ・ その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または、商標です。
- ・ なお、本文中では、TM、R マークは明記しておりません。

#### ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社まで御連絡ください。

また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が課されることがあります。

---

—目 次—

はじめに.....	1
1. 特長.....	2
2. 動作環境.....	3
3. インストール.....	5
3.1 新規インストール.....	5
3.2 上書きインストール.....	11
4. アンインストール.....	14
5. 基本操作.....	17
5.1 起動方法.....	17
5.2 レイアウト編集操作.....	18
5.2.1 選択操作.....	18
5.2.2 編集共通操作.....	22
5.2.3 文書構成操作.....	23
5.2.4 印刷属性操作.....	26
5.3 印刷操作.....	37
5.4 環境設定.....	38
5.4.1 [オプション] ダイアログ.....	38
5.5 終了方法.....	45
6. プレビュー画面操作.....	46
6.1 共通の操作.....	46
6.2 [印刷原稿] ビュー.....	47
6.2.1 原稿への操作.....	47
6.3 [用紙イメージ] ビュー.....	49
6.3.1 単一表示.....	49
6.3.2 連続表示.....	49
6.3.3 用紙イメージでの操作.....	49
6.4 [仕上がりイメージ] ビュー.....	52
6.4.1 片面表示.....	52
6.4.2 見開き表示.....	52
6.4.3 冊子表示.....	53
6.4.4 仕上がりイメージでの操作.....	53

6.5	プレビューメニュー	54
<b>7.</b>	<b>ツリービュー画面操作</b>	<b>57</b>
7.1	ツリービュー画面	57
7.1.1	アイコン	57
7.1.2	ノードの名称	58
7.1.3	「全ての構成を表示」ツリー	58
7.1.4	「縮小版表示」ツリー	59
7.2	基本操作	60
7.2.1	ノードの選択	60
7.2.2	クリップボード	61
7.2.3	挿入可能なアイテム	63
7.3	ツリービューメニュー	64
7.3.1	ツリービューメニュー	64
7.3.2	ツリーノードメニュー	65
<b>8.</b>	<b>原稿／面／用紙のレイアウト</b>	<b>68</b>
8.1	原稿レイアウト	68
8.1.1	原稿余白	69
8.1.2	原稿スライド／プリント位置指定	69
8.1.3	原稿倍率	69
8.2	面レイアウト	69
8.2.1	面余白	69
8.2.2	面スライド／プリント位置指定	70
8.2.3	とじしろ	70
8.3	出力用紙サイズ	70
<b>9.</b>	<b>[印刷属性] ダイアログ</b>	<b>71</b>
9.1	[基本] タブ	74
9.2	[仕上げ] タブ	79
9.2.1	[小冊子印刷] ダイアログ	85
9.2.2	[コピー印刷] ダイアログ	89
9.2.3	[カタログ印刷] ダイアログ	92
9.3	[ヘッダー／フッター] タブ	94
9.3.1	[ヘッダー／フッター位置指定] ダイアログ	97
9.4	[編集] タブ	99
9.4.1	[フォームオーバーレイ印刷] ダイアログ	102

9.4.2	[フォームファイルを選択] ダイアログ	104
9.4.3	[ウォーターマーク印刷] ダイアログ	105
9.5	[面] タブ	107
9.6	[原稿] タブ	112
9.6.1	[画質補正] ダイアログ	117
<b>10</b>	<b>お気に入り</b>	<b>120</b>
10.1	お気に入りの登録	120
10.2	お気に入りの適用	120
10.3	[お気に入りの編集] ダイアログ	121
10.3.1	[お気に入りの作成] ダイアログ	125
10.3.2	[アイコンの変更] ダイアログ	127
10.4	[用紙裁断] ダイアログ	128
<b>11</b>	<b>プリンタビュー画面操作</b>	<b>132</b>
11.1	プリンタの自動生成	132
11.2	画面	133
11.3	印刷	134
11.3.1	出力機能	134
11.4	プリンタビューメニュー	135
11.4.1	[仮想プリンタの追加] ウィザード	138
11.4.2	[セキュリティプリント設定] ダイアログ	141
11.4.3	[認証情報設定] ダイアログ	144
11.4.4	[物理プリンタプロパティ] ダイアログ	146
11.4.5	[仮想プリンタプロパティ] ダイアログ	149
<b>12</b>	<b>ファイル操作</b>	<b>154</b>
12.1	“ACEL DocPoem Image Driver” からの取り込み	154
12.2	文書ファイルの取り込み	154
12.2.1	取り込み可能な文書ファイル	154
12.2.2	取り込み方法	156
12.3	DocPoem文書の保存	158
<b>13</b>	<b>メニュー</b>	<b>160</b>
13.1	メニューバー	160
13.1.1	[ファイル] メニュー	160
13.1.2	[編集] メニュー	167
13.1.3	[表示] メニュー	168

13.1.4	[挿入] メニュー .....	174
13.1.5	[イメージ] メニュー .....	175
13.1.6	[プリンタ] メニュー .....	178
13.1.7	[ツール] メニュー .....	179
13.1.8	[ヘルプ] メニュー .....	180
13.2	タスクトレイのメニュー .....	180
<b>14.</b>	<b>ツールバー/ステータスバー .....</b>	<b>182</b>
14.1	ツールバー .....	182
14.1.1	標準ツールバー .....	182
14.1.2	表示操作ツールバー .....	183
14.1.3	ページ操作ツールバー .....	184
14.1.4	お気に入りツールバー .....	185
14.1.5	用紙編集操作ツールバー .....	185
14.1.6	仕上がり編集操作ツールバー .....	186
14.1.7	管理ツールツールバー .....	187
14.1.8	設定情報ツールバー .....	187
14.2	ステータスバー .....	187
<b>15.</b>	<b>キャビネット .....</b>	<b>189</b>
15.1	使い方 .....	189
15.1.1	キャビネットを起動する .....	190
15.1.2	DocPoem文書を再編集する .....	190
15.1.3	DocPoem文書を再印刷する .....	191
15.1.4	キャビネットを終了する .....	191
15.1.5	その他の操作 .....	191
15.2	画面の説明 .....	192
15.2.1	[キャビネットメイン] 画面 .....	192
15.2.2	[文書名の変更] ダイアログ .....	203
15.2.3	[ファイル名の変更] ダイアログ .....	203
15.2.4	[ユーザー設定] ダイアログ .....	204
<b>16.</b>	<b>ログビューワー .....</b>	<b>206</b>
16.1	使い方 .....	206
16.1.1	ログビューワーを起動する .....	207
16.1.2	DocPoem文書を再編集する .....	207
16.1.3	DocPoem文書を再印刷する .....	208

16.1.4	ログをエクスポートする.....	208
16.1.5	ログビューワーを終了する.....	209
16.1.6	その他の操作.....	209
16.2	画面の説明.....	210
16.2.1	[ログビューワーメイン] 画面.....	210
16.2.2	[環境設定] ダイアログ.....	221
16.2.3	[ユーザー設定] ダイアログ.....	230
<b>17</b>	<b>ACEL DocPoem Image Driver .....</b>	<b>232</b>
17.1	画面の説明.....	232
17.1.1	[基本] タブ.....	234
17.1.2	[詳細設定] タブ.....	240
<b>18</b>	<b>注意/制限事項 .....</b>	<b>243</b>
18.1	使用可能なプリンタ.....	243
18.2	ACEL DocPoem Image Driverに関する注意事項.....	243
18.3	ユーザー定義用紙サイズの使用に関する注意事項.....	243
18.4	使用するプリンタの事前確認.....	243
18.5	ネットワークプリンタ、サポート対象外機種についての機能制限事項.....	244
18.6	プリンタデバイスの性能と印刷設定に関する制限事項.....	245
18.7	白紙印刷に関する制限事項.....	245
18.8	文書ファイルの取り込みについて.....	246
18.9	印刷結果に関する制限事項.....	247
18.10	セキュリティプリントと認証情報の設定に関する制限事項.....	248
18.11	64ビットOSで使用する場合の制限事項.....	249

---

---

## はじめに.....

---

---

DocPoem Professional は、簡単操作で、オフィスユーザーの印刷コストの低減、出力作業の生産性向上、効率化を支援します。このマニュアルを使用して、DocPoem Professional の使い方、機能を習得できます。

なお、本書の一部において、DocPoem Professional を DocPoem と略記しています。

---

# 1. 特長

---

DocPoem の特長について説明します。

## (1) 自由な文書構成

- ① ページの並べ替えや不要なページの削除を、ツリービューで全体の文書構成を確認しながら、プレビューでレイアウトを確認しながら自由に行えます。不要なページは印刷しなくて済むので、用紙の無駄がなくなります。
- ② DocuWorks、Word、PowerPoint、Excel など、多彩なフォーマットの文書ファイルを 1 つの DocPoem 文書に束ねて出力することができます。

## (2) プレビュー画面で出力イメージを把握

- ① プレビュー画面で出力イメージを確認しながらレイアウトの編集を行うことができます。
- ② 小冊子、ホチキス、パンチ、紙折りなども簡単に設定でき、出力後のイメージを事前に確認できます。
- ③ ページごとにカラー／モノクロ出力を選択できます。必要なページだけをカラーで出力し、プリントコストの削減をお手伝いします。
- ④ プリンタドライバからはできなかった 2up での中綴じ小冊子印刷も可能で、用紙を節約することができます。

---

## 2. 動作環境

---

DocPoem の動作環境について説明します。

(1) ハードウェア/OS 環境

OS (※1)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Microsoft Windows 10 64 ビット版</li><li>・ Microsoft Windows 11 64 ビット版</li><li>・ Microsoft Windows Server 2016 Datacenter / Standard</li><li>・ Microsoft Windows Server 2019 Datacenter / Standard</li><li>・ Microsoft Windows Server 2022 Datacenter / Standard</li><li>・ Microsoft Windows Server 2025 Datacenter / Standard</li></ul>
CPU	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1GHz 以上 (※2)</li></ul>
メモリ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1GB 以上 (※2)</li></ul>
HDD	<ul style="list-style-type: none"><li>・ インストール時：50MB 以上の空き容量</li><li>・ データ保存フォルダとして別途 100MB 以上の空き容量を推奨</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ CD-ROM ドライブ</li><li>・ 800×600 ピクセル以上のディスプレイ (※3) (1024×768 ピクセル以上を推奨)</li><li>・ Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX 以上</li><li>・ マウス</li></ul>

(※1) WOW64 環境上での動作は保証いたしません。

(※2) 使用するOS側の制限により必要なCPUやメモリが変更になる場合があります。

(※3) DocPoem Professionalの場合、1024×768ピクセル以上のディスプレイが必要です。

(2) 推奨するプリンタ環境

機種	富士フイルムビジネスイノベーション社製プリンタを推奨
プリンタドライバ	ART EX プリンタドライバを推奨
その他	Windows にて使用するプリンタオブジェクトを作成しておくことが必要

(3) その他

アプリケーション	アプリケーション文書を取り込む場合、実行する文書ファイルに印刷が関連付けられたアプリケーションが必要
圧縮文書の解凍	<ul style="list-style-type: none"><li>• UNLHA32.DLL が必要 (LZH 形式の圧縮)</li><li>• UNZIP32.DLL が必要 (ZIP 形式の圧縮)</li></ul>

---

## 3. インストール

---

インストール方法を説明します。

インストールの前に「2. 動作環境」の章を参照してインストールの準備が整っているかどうか確認しておいてください。

インストール用のファイルは圧縮されています。そのままの状態ではご使用になれません。必ずインストーラーから実行してください。

---

### 3.1 新規インストール

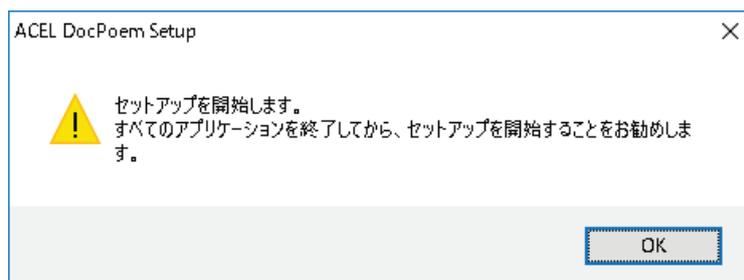
---

DocPoem をインストールする前に、起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了してください。

インストールを途中で終了した場合、DocPoem は正しく動作いたしません。再度インストールを実行してください。

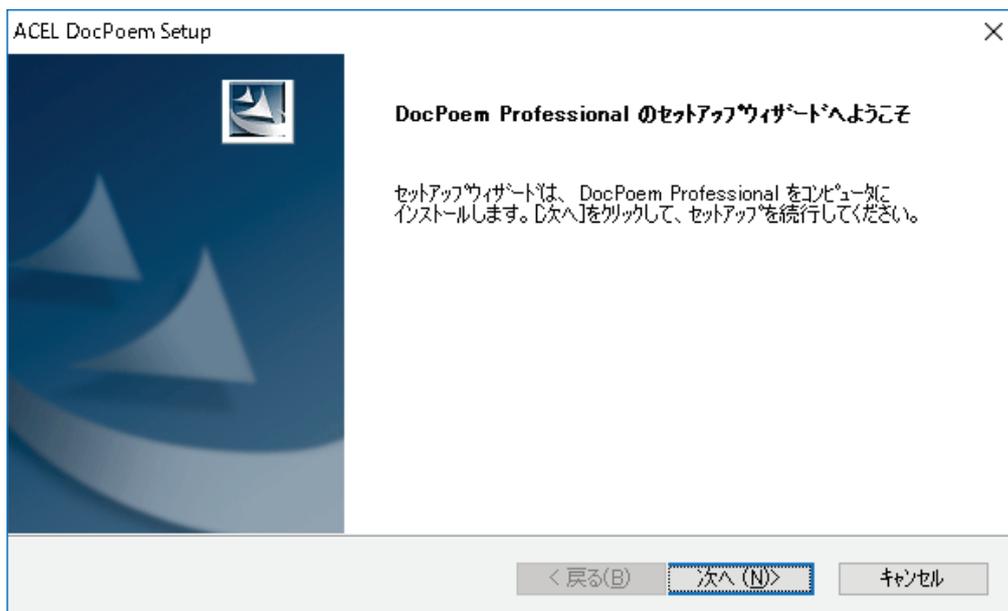
操作1. CD-ROM をドライブに挿入します。画面の説明に従い、インストーラーを起動してください。セットアップの警告メッセージを表示した後、「ようこそ画面」が表示されます。

図 3.1-1 警告メッセージ



<OK>ボタンをクリックしてください。「ようこそ画面」が表示されます。

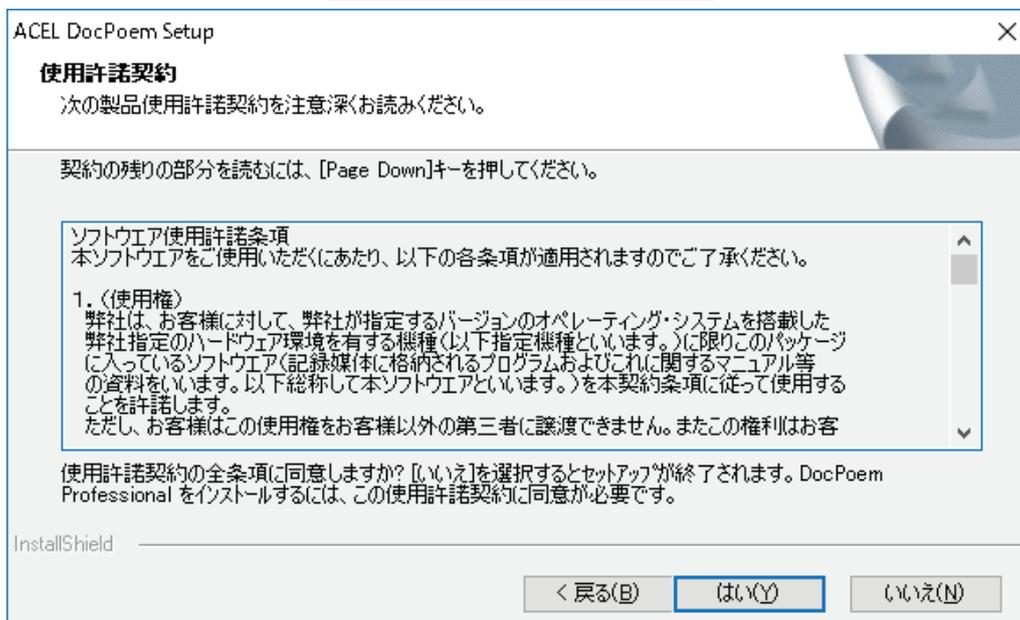
図 3.1-2 ようこそ画面



<次へ>ボタンをクリックしてください。「製品使用許諾契約」が表示されます。  
<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

操作 2. 製品の使用許諾契約の内容を読んで製品のライセンスに同意してください。ライセンスに同意しない場合はインストールを続行することはできません。

図 3.1-3 製品使用許諾契約画面



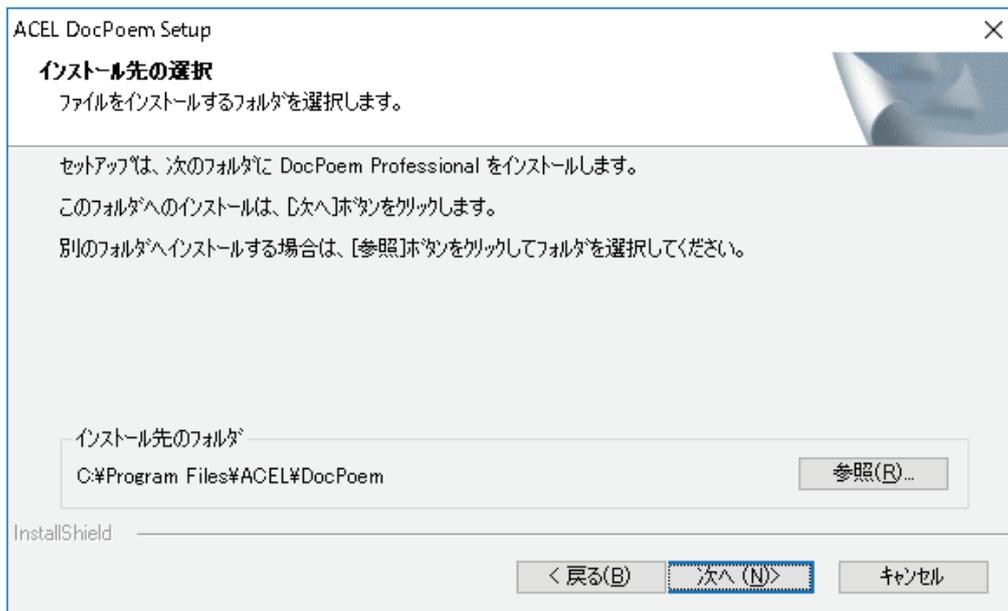
<はい>ボタンをクリックしてください。「インストール先の選択画面」が表示されます。

<戻る>ボタン           ひとつ前の画面に戻ります。

<キャンセル>ボタン   インストールを中止します。

操作3. インストール先のフォルダを指定してください。

図 3.1-4 インストール先の選択画面



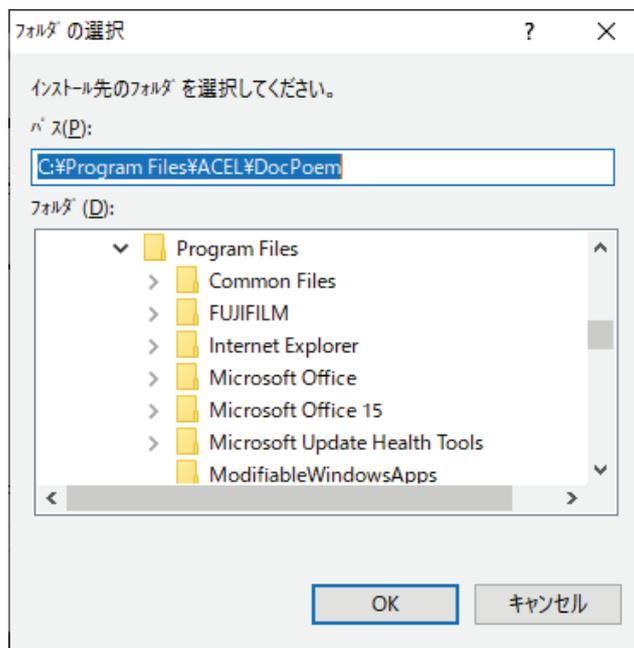
<次へ>ボタンをクリックしてください。「プログラムフォルダの選択画面」が表示されます。

<戻る>ボタン           ひとつ前の画面に戻ります。

<キャンセル>ボタン   インストールを中止します。

初期設定のフォルダ以外のフォルダにインストールを行う場合は、<参照>ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを指定してください。

図 3.1-5 ディレクトリの選択画面

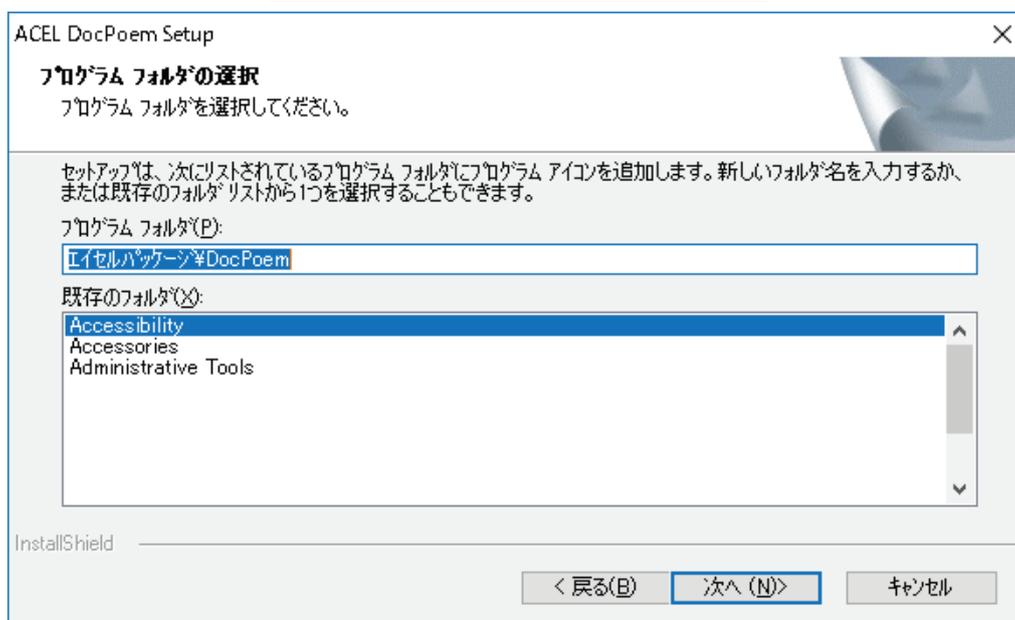


- <OK>ボタン インストール先のフォルダを設定します。
- <キャンセル>ボタン ディレクトリ選択を中止します。

操作 4. プログラムフォルダを選択してください。

初期設定は“エイセルパッケージ¥DocPoem”になっています。

図 3.1-6 プログラムフォルダの選択画面



<次へ>ボタンをクリックしてください。インストールを開始します。

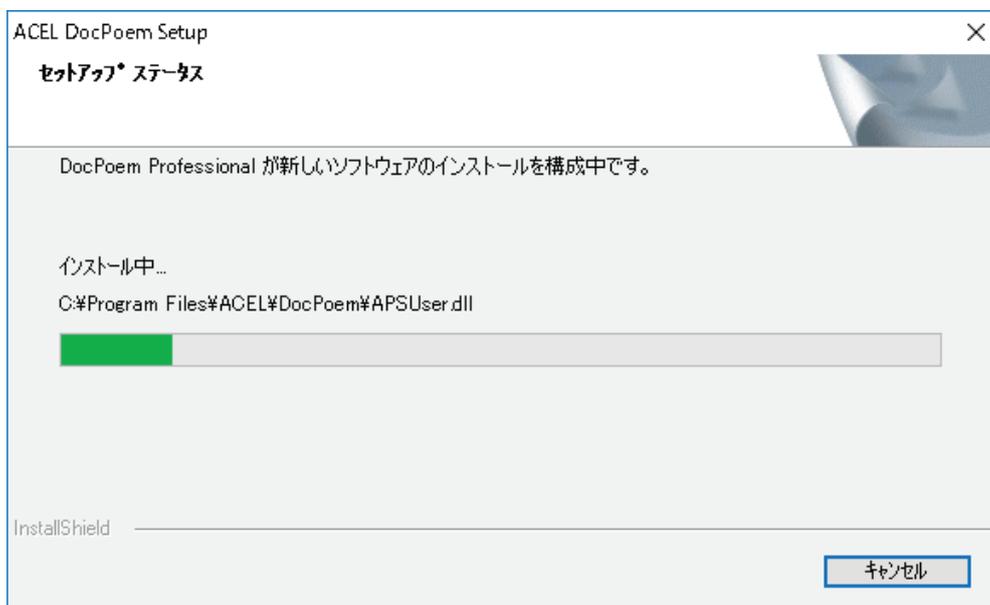
<戻る>ボタン           ひとつ前の画面に戻ります。

<キャンセル>ボタン   インストールを中止します。

初期設定のプログラムフォルダ以外のフォルダを設定する場合には、下にある既存のフォルダの一覧から選択してください。

操作5. セットアップの状態を表示します。

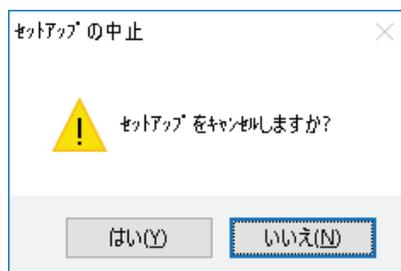
図 3.1-7 セットアップステータス画面



<キャンセル>ボタン 「セットアップの中止画面」が表示されます。

インストールの継続、または中止を指定してください。

図 3.1-8 セットアップの中止画面

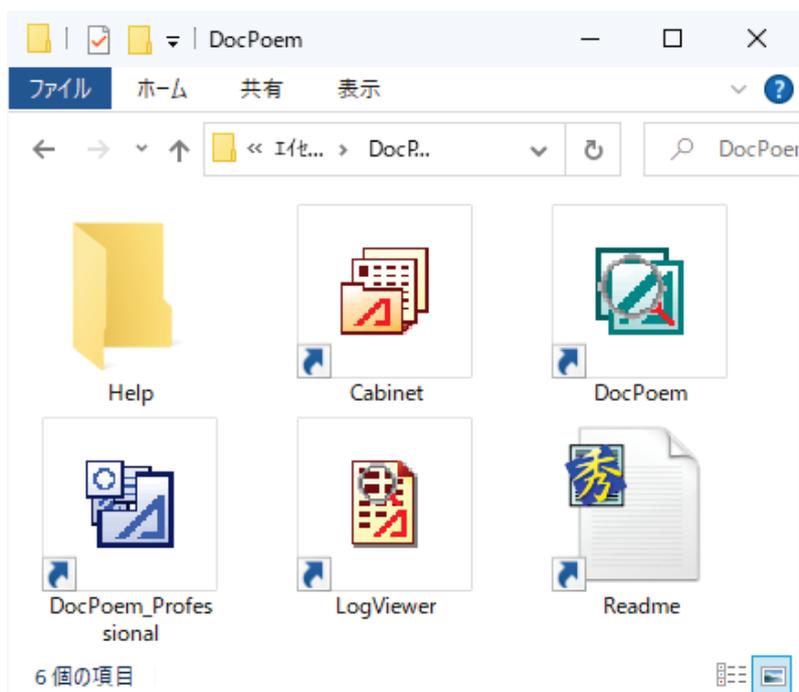


<はい>ボタン           インストールを中止します。

<いいえ>ボタン       インストールを継続します。

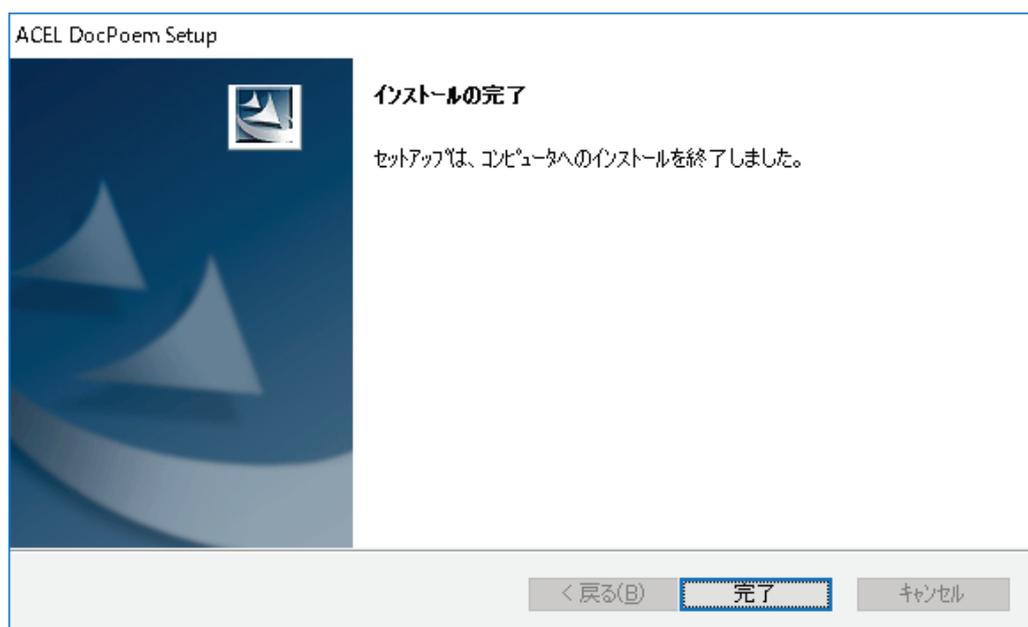
操作6. インストールが終了すると、「プログラムフォルダ画面」が表示されますので、内容を確認後、画面を閉じてください。

図 3.1-9 プログラムフォルダ画面



操作7. 「インストールの完了画面」が表示されます。

図 3.1-10 インストールの完了画面



<完了>ボタンをクリックしてください。DocPoem のインストールが終了します。

---

## 3.2 上書きインストール

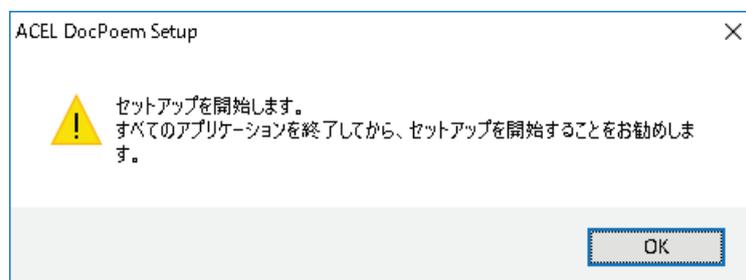
---

DocPoem を上書きインストールする方法について説明します。

上書きインストール前に、起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了してください。

操作 1. CD-ROM をドライブに挿入します。画面の説明に従い、インストーラーを起動してください。セットアップの警告メッセージを表示した後、「ようこそ画面」が表示されます。

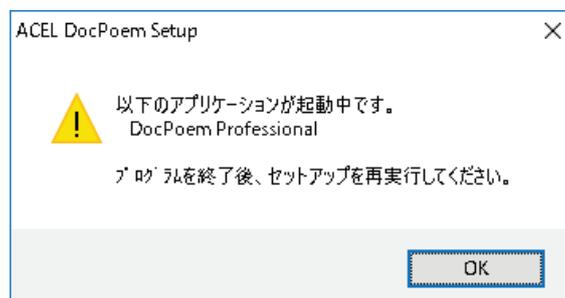
図 3.2-1 警告メッセージ



<OK> ボタンをクリックしてください。「ようこそ画面」が表示されます。

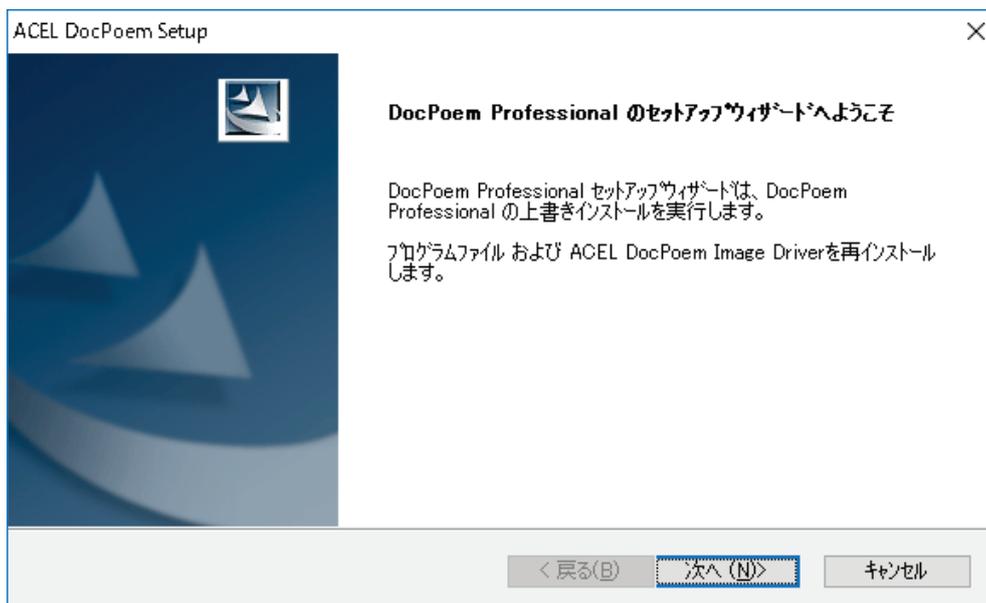
上書きインストールの際に、DocPoem が起動していると以下の警告メッセージが表示されます。画面の指示に従い、プログラムを終了後、再度上書きインストールを実行してください。

図 3.2-2 警告メッセージ



<OK> ボタン 上書きインストールを中止します。

図 3.2-3 ようこそ画面

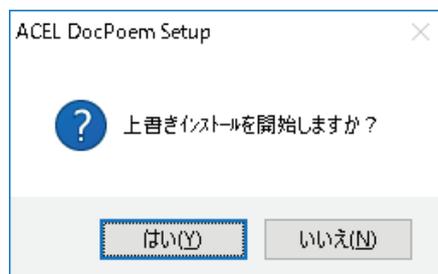


<次へ>ボタンをクリックしてください。上書きインストールの確認メッセージが表示されます。

<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

操作2. 上書きインストールを行うかどうかを指定します。

図 3.2-4 確認メッセージ

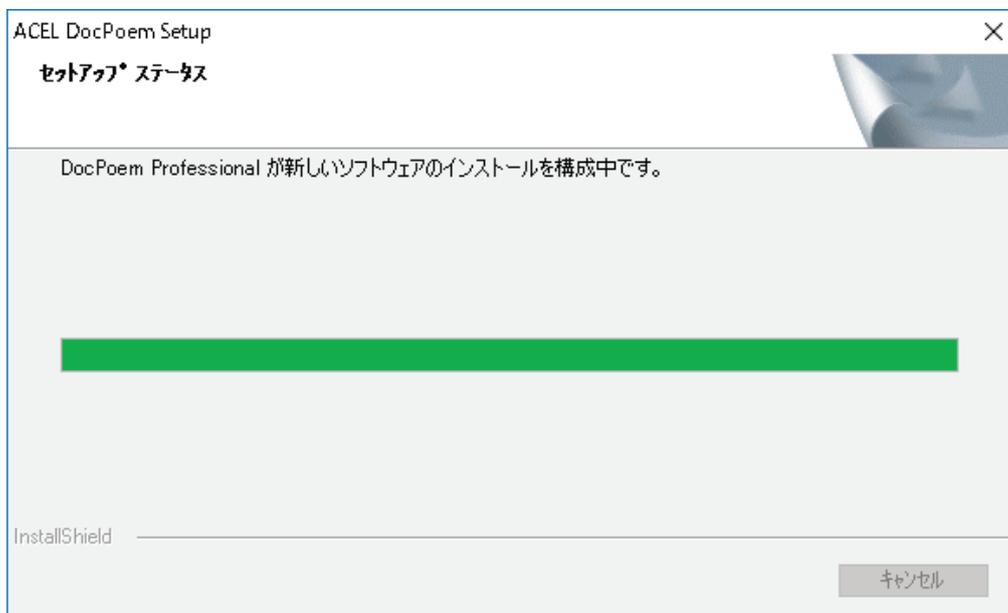


<はい>ボタンをクリックしてください。上書きインストールを開始します。

<いいえ>ボタン 上書きインストールを中止し、前の画面に戻ります。

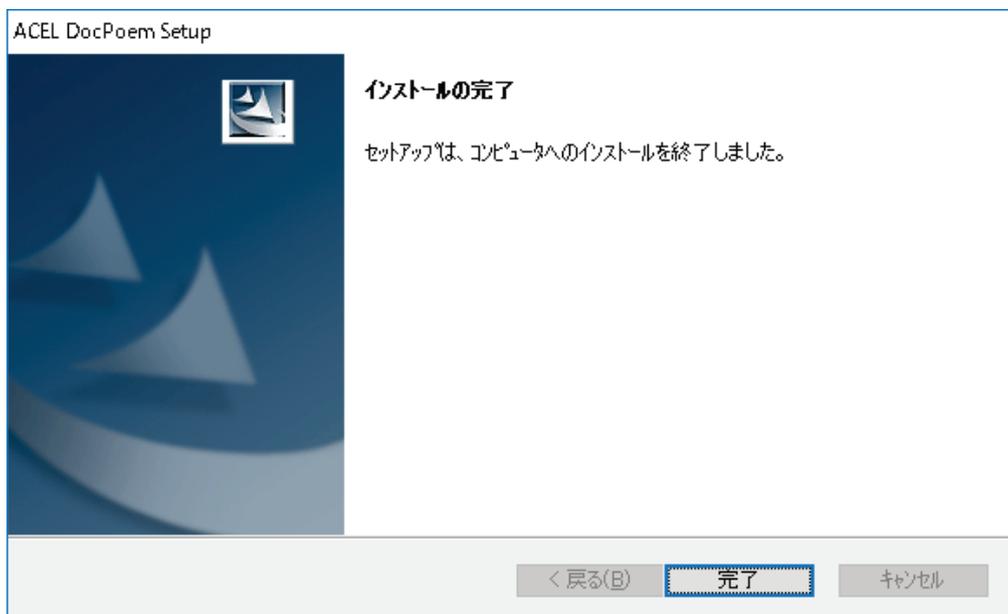
操作3. セットアップの状態を表示します。

図 3.2-5 セットアップステータス画面



操作4. 「インストールの完了画面」が表示されます。

図 3.2-6 インストールの完了画面



<完了>ボタンをクリックしてください。DocPoem のインストールが終了します。

---

---

## 4. アンインストール

---

---

アンインストールの方法を説明します。

アンインストール前に、起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了してください。

操作1.

**Windows 10 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 の場合**

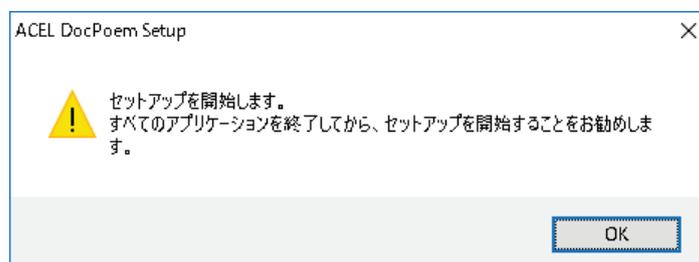
[スタート] メニューから [コントロールパネル] → [プログラムと機能] をクリックします。

「プログラムと機能」画面が表示されます。

[プログラムのアンインストールまたは変更] から“ACEL DocPoem Professional 2.0” のアプリケーションを選択して、<アンインストール> ボタンをクリックしてください。

セットアップの警告メッセージを表示した後、「ようこそ画面」が表示されます。

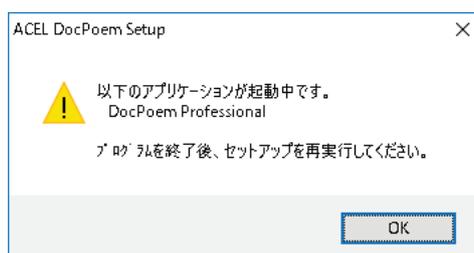
図 4-1 警告メッセージ



<OK>ボタンをクリックしてください。「ファイル削除の確認画面」が表示されます。

アンインストールの際に、DocPoem が起動していると以下の警告メッセージが表示されます。画面の指示に従い、プログラムを終了後、再度アンインストールを実行してください。

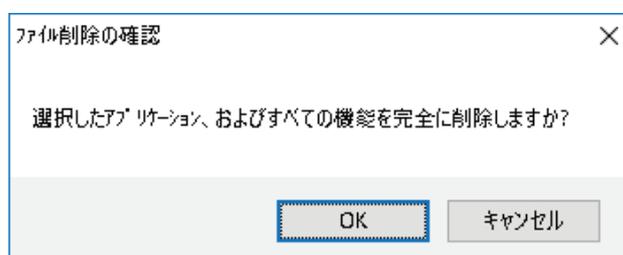
図 4.2 警告メッセージ



<OK>ボタン アンインストールを中止します。

操作 2. 「ファイル削除の確認画面」が表示されます。

図 4-3 ファイル削除の確認画面

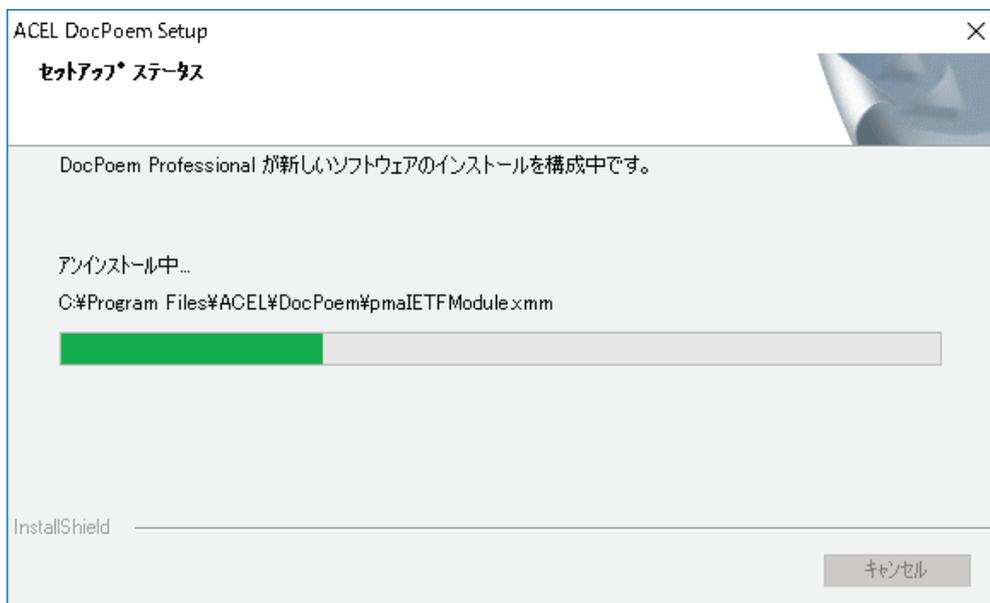


<OK>ボタンをクリックしてください。アンインストールを開始します。

<キャンセル>ボタン アンインストールを中止し、前の画面に戻ります。

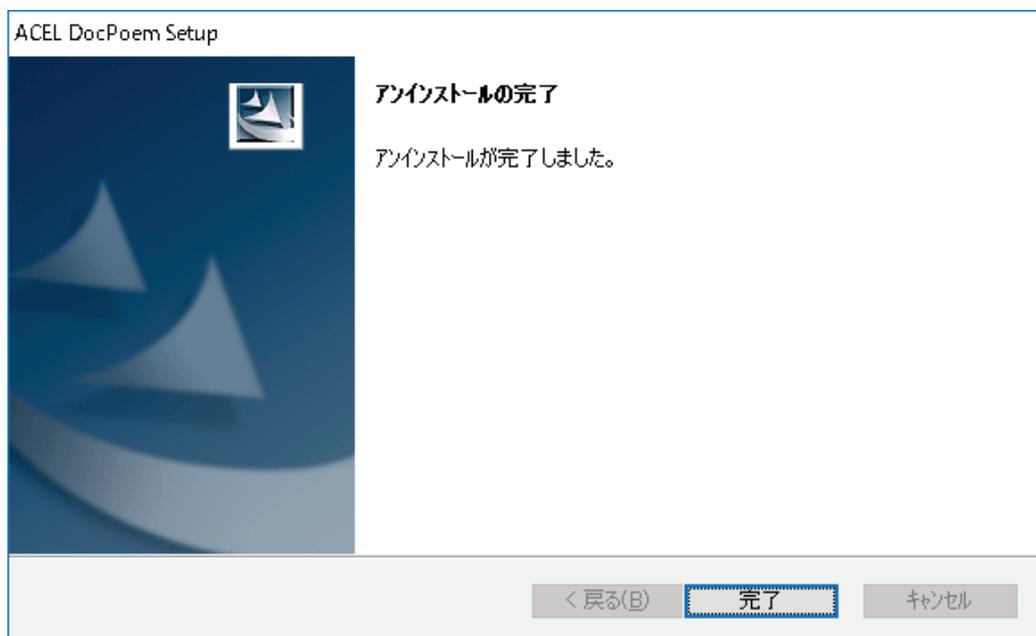
操作3. セットアップの状態を表示します。

図 4-4 セットアップステータス画面



操作4. 「アンインストールの完了画面」が表示されます。

図 4-5 アンインストールの完了画面



<完了>ボタン DocPoem のアンインストールが終了します。

---

## 5. 基本操作

---

DocPoem の基本操作について説明します。

---

### 5.1 起動方法

---

DocPoem は以下のいずれかの方法で起動します。

初回起動時、使用可能なプリンタに関する情報を作成するため、起動までに時間がかかる場合があります。

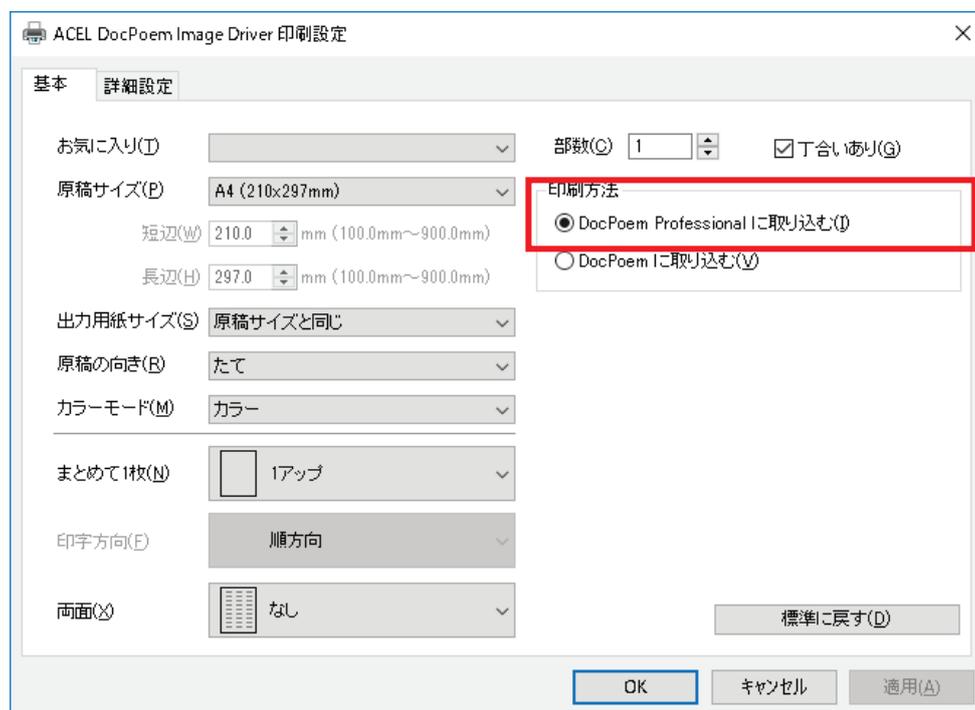
(1) スタートメニュー

- ① [スタート]メニューから、[プログラム] – [エイセルパッケージ] – [DocPoem]メニューを選択し、「DocPoem Professional」のショートカットアイコンをクリックします。

(2) “ACEL DocPoem Image Driver” から起動

- ① アプリケーションからの印刷時に、出力するプリンタとして “ACEL DocPoem Image Driver” を選択します。
- ② ドライバのプロパティで、出力先に「DocPoem Professional に取り込む」を選択し、印刷を実行します。
- ③ DocPoem が起動し、アプリケーションからの印刷イメージが DocPoem に取り込まれます。

図 5.1 [ACEL DocPoem Image Driver のプロパティ]ダイアログ



## 5.2 レイアウト編集操作

DocPoemに取り込んだ文書の基本的なレイアウト編集を行う操作について説明します。

### 5.2.1 選択操作

各種編集作業の対象となる「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」を切り替える操作について説明します。

#### 5.2.1.1 文書選択

##### 機能

- ・現在の選択の単位を「文書」に変更します。

##### 操作

- ・メニューバーから[表示] - [選択] - [文書]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[選択] - [文書]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[選択変更]ボタンをボタンのイメージがに変わるまでクリックします。
- ・ツリービューで「文書」ノードの項目を選択します。

### 5.2.1.2 セクション選択

---

#### 機能

- ・現在の選択の単位を「セクション」に変更します。

#### 操作

- ・メニューバーから[表示]－[選択]－[セクション]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[選択]－[セクション]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[選択変更]ボタンをボタンのイメージが  に変わるまでクリックします。
- ・ツリービューで「セクション」ノードの項目を選択します。

### 5.2.1.3 用紙選択

---

#### 機能

- ・現在の選択の単位を「用紙」に変更します。

#### 操作

- ・メニューバーから[表示]－[選択]－[用紙]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[選択]－[用紙]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[選択変更]ボタンをボタンのイメージが  に変わるまでクリックします。
- ・ツリービューで「用紙」ノードの項目を選択します。

### 5.2.1.4 面選択

---

#### 機能

- ・現在の選択の単位を「面」に変更します。

#### 操作

- ・メニューバーから[表示]－[選択]－[面]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[選択]－[面]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[選択変更]ボタンをボタンのイメージが  に変わるまでクリックします。
- ・ツリービューで「面」ノードの項目を選択します。

### 5.2.1.5 原稿選択

---

#### 機能

- ・現在の選択の単位を「原稿」に変更します。

#### 操作

- ・メニューバーから[表示]－[選択]－[原稿]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[選択]－[原稿]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[選択変更]ボタンをボタンのイメージが  に変わるまでクリックします。
- ・ツリービューで「原稿」ノードの項目を選択します。

### 5.2.1.6 先頭ページへ移動

---

#### 機能

- ・現在のページを先頭に移動します。
- ・移動の単位は現在の選択の単位に準じます。
- ・「文書」が選択されている場合の移動の単位は、「印刷原稿」ビューを表示している場合は「原稿」、「用紙イメージ」ビューを表示している場合は「用紙」、「仕上がりイメージ」ビューを表示している場合は「面」になります。

#### 操作

- ・メニューバーから[表示]－[先頭のページ]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[先頭のページ]ボタンをクリックします。
- ・Home キーを押します。

### 5.2.1.7 前のページへ移動

---

#### 機能

- ・現在のページを前のページに移動します。
- ・移動の単位は現在の選択の単位に準じます。
- ・「文書」が選択されている場合の移動の単位は、「印刷原稿」ビューを表示している場合は「原稿」、「用紙イメージ」ビューを表示している場合は「用紙」、「仕上がりイメージ」ビューを表示している場合は「面」になります。

#### 操作

- ・メニューバーから[表示]－[前のページ]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[前のページ]ボタンをクリックします。

#### 5.2.1.8 次のページへ移動

---

##### 機能

- ・現在のページを次のページに移動します。
- ・移動の単位は現在の選択の単位に準じます。
- ・「文書」が選択されている場合の移動の単位は、「印刷原稿」ビューを表示している場合は「原稿」、「用紙イメージ」ビューを表示している場合は「用紙」、「仕上がりイメージ」ビューを表示している場合は「面」になります。

##### 操作

- ・メニューバーから[表示]－[次のページ]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[次のページ]ボタンをクリックします。

#### 5.2.1.9 最終のページへ移動

---

##### 機能

- ・現在のページを最終に移動します。
- ・移動の単位は現在の選択の単位に準じます。
- ・「文書」が選択されている場合の移動の単位は、「印刷原稿」ビューを表示している場合は「原稿」、「用紙イメージ」ビューを表示している場合は「用紙」、「仕上がりイメージ」ビューを表示している場合は「面」になります。

##### 操作

- ・メニューバーから[表示]－[最終のページ]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[最終のページ]ボタンをクリックします。
- ・End キーを押します。

#### 5.2.1.10 指定ページへ移動

---

##### 機能

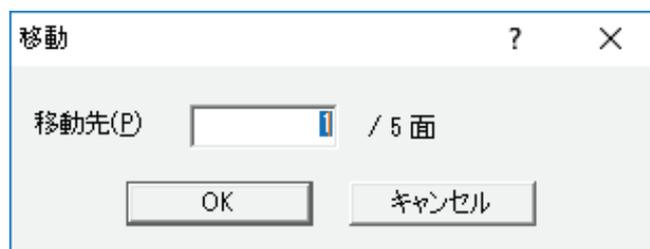
- ・現在のページを指定したページに移動します。
- ・移動の単位は現在の選択の単位に準じます。
- ・「文書」が選択されている場合の移動の単位は、「印刷原稿」ビューを表示している場合は「原稿」、「用紙イメージ」ビューを表示している場合は「用紙」、「仕上がりイメージ」ビューを表示している場合は「面」になります。

##### 操作

- ・メニューバーから[表示]－[ページ指定]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[ページ指定]ボタンをクリックします。

- ・Ctrl + J キーを押します。
- ・「移動」ダイアログが表示されます。

図 5.2.1.10 [移動]ダイアログ



---

## 5.2.2 編集共通操作

---

文書構成、印刷属性の編集に共通した操作について説明します。

### 5.2.2.1 元に戻す

---

#### 機能

- ・前に行った操作を元に戻します。
- ・ファイル保存が行われた場合、操作の履歴はクリアされます。

#### 操作

- ・メニューバーから[編集] - [元に戻す]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[元に戻す]メニューを選択します。
- ・標準ツールバーの[元に戻す]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + Z キーを押します。

### 5.2.2.2 やり直し

---

#### 機能

- ・元に戻した処理をやり直します。
- ・ファイル保存が行われた場合、操作の履歴はクリアされます。

#### 操作

- ・メニューバーから[編集] - [やり直し]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[やり直し]メニューを選択します。
- ・標準ツールバーの[やり直し]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + Y キーを押します。

---

## 5.2.3 文書構成操作

---

「セクション」、「面」、「原稿」の並び順変更や、挿入、削除による文書構成の操作について説明します。

### 5.2.3.1 切り取り

---

#### 機能

- ・現在選択されている「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」を切り取り、クリップボードに保存します。

#### 条件

- ・「文書」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[編集]－[切り取り]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[切り取り]メニューを選択します。
- ・標準ツールバーの[切り取り]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + X キーを押します。

### 5.2.3.2 コピー

---

#### 機能

- ・現在選択されている「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」をコピーし、クリップボードに保存します。

#### 条件

- ・「文書」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[編集]－[コピー]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[コピー]メニューを選択します。
- ・標準ツールバーの[コピー]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + C キーを押します。

### 5.2.3.3 貼り付け

---

#### 機能

- ・クリップボードに保存されている内容を現在の位置に貼り付けます。

#### 条件

- ・クリップボードに保存されている内容によって、貼り付け可能な位置が異なります。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[編集]－[貼り付け]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[貼り付け]メニューを選択します。
- ・標準ツールバーの[貼り付け]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + V キーを押します。

### 5.2.3.4 削除

---

#### 機能

- ・現在選択されている「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」を削除します。

#### 条件

- ・「文書」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[編集]－[削除]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[削除]メニューを選択します。
- ・標準ツールバーの[削除]ボタンをクリックします。
- ・Delete キーを押します。

### 5.2.3.5 改ページ挿入

---

#### 機能

- ・現在選択されている「原稿」以下を新しい面に面付けします。
- ・すでに改ページ設定されている場合は、改ページの解除を行います。

#### 条件

- ・「原稿」以外が選択されている場合は操作できません。
- ・複数の「原稿」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[挿入]－[改ページ]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[挿入]－[改ページ]メニューを選択します。

### 5.2.3.6 原稿挿入

---

#### 機能

- ・現在選択されている「原稿」の前に白紙原稿を挿入します。
- ・挿入される白紙原稿のサイズは、挿入元として選択された原稿と同じサイズになります。

#### 条件

- ・「原稿」以外が選択されている場合は操作できません。
- ・複数の「原稿」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[挿入]－[原稿]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[挿入]－[原稿]メニューを選択します。

### 5.2.3.7 用紙挿入

---

#### 機能

- ・現在選択されている「用紙」の前に白紙を挿入します。

#### 条件

- ・「用紙」以外が選択されている場合は操作できません。
- ・複数の「用紙」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[挿入]－[用紙]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[挿入]－[用紙]メニューを選択します。

### 5.2.3.8 セクション挿入

---

#### 機能

- ・現在の位置に、新しいセクションを挿入します。

#### 条件

- ・「文書」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[挿入]－[セクション]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[挿入]－[セクション]メニューを選択します。

#### 5.2.3.9 セクション削除

---

##### 機能

- ・現在選択されているセクションを削除して、配下の項目を前のセクション(先頭のセクションに対する操作の場合は次のセクション)に結合します。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

##### 条件

- ・「セクション」以外が選択されている場合は操作できません。
- ・1つの「セクション」しか存在しない場合は操作できません。

##### 操作

- ・右マウスメニューから[セクション削除]メニューを選択します。

#### 5.2.3.10 名前の変更

---

##### 機能

- ・現在の位置にある[文書]または、[セクション]の名前を変更します。

##### 条件

- ・「文書」、「セクション」以外が選択されている場合は操作できません。

##### 操作

- ・右マウスメニューから[名前の変更]メニューを選択します。

### 5.2.4 印刷属性操作

---

印刷属性の基本的な操作について説明します。

#### 5.2.4.1 両面/片面

---

##### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」の両面に印刷するか、片面に印刷するかを指定します。
- ・「文書」、「セクション」選択時に操作された場合、配下の用紙全てに設定が適用されます。

##### 条件

- ・「面」、「原稿」が選択されている場合は操作できません。

- ・「小冊子印刷」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[両面]－[する]/[しない]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[両面]－[する]/[しない]メニューを選択します。
- ・用紙編集操作ツールバーの[両面/片面]ボタンをクリックします。両面設定されている場合は  ボタンイメージ、片面設定されている場合は  ボタンイメージが表示されます。

### 5.2.4.2 長辺とじ/短辺とじ

---

#### 機能

- ・文書のとじ方向を長辺とじにするか、短辺とじにするかを指定します。

#### 条件

- ・「小冊子印刷」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[両面]－[長辺とじ]/[短辺とじ]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[両面]－[長辺とじ]/[短辺とじ]メニューを選択します。
- ・用紙編集操作ツールバーの[長辺とじ/短辺とじ]ボタンをクリックします。長辺とじに設定されている場合は  ボタンイメージ、短辺とじに設定されている場合は  ボタンイメージが表示されます。

### 5.2.4.3 まとめて1枚のレイアウト (1 ページ～32 ページ)

---

#### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」の1面に割り付ける原稿の数を[1 ページ]、[2 ページ]、[4 ページ]、[8 ページ]、[16 ページ]、[32 ページ]の中から指定します。
- ・「文書」、「セクション」、「用紙」選択時に操作された場合、配下の面全てに設定が適用されます。

#### 条件

- ・「原稿」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[まとめて1枚]－[1 ページ]/[2 ページ]/[4 ページ]/[8 ページ]/[16 ページ]/[32 ページ]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[まとめて1枚]－[1 ページ]/[2 ページ]/[4 ページ]/[8 ページ]/[16 ページ]/[32 ページ]メニューを選択します。
- ・用紙編集操作ツールバーの[まとめて一枚]ボタンをクリックします。よく使われるレイアウトとして

[1 ページ] 、[2 ページ] 、[4 ページ] を選択できます。

#### 5.2.4.4 まとめて 1 枚のレイアウト (ユーザ定義)

---

##### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」の 1 面に割り付ける原稿のレイアウトをユーザ任意の分割数で指定します。
- ・「文書」、「セクション」、「用紙」選択時に操作された場合、配下の面全てに設定が適用されます。

##### 条件

- ・「原稿」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

##### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[まとめて 1 枚]－[ユーザ定義]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[まとめて 1 枚]－[ユーザ定義]メニューを選択します。
- ・「ユーザ定義」ダイアログが表示されます。

#### 5.2.4.5 まとめて 1 枚のレイアウト (拡張割り付け)

---

##### 機能

- ・現在の面で選択されている原稿の割り付け領域を結合し、変形レイアウトを作成します。

##### 条件

- ・「原稿」以外が選択されている場合は操作できません。
- ・「印刷原稿」ビューを表示している場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

##### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[まとめて 1 枚]－[拡張割り付け]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[まとめて 1 枚]－[拡張割り付け]メニューを選択します。

#### 5.2.4.6 まとめて 1 枚の割り付け順 (定型)

---

##### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」の 1 面への原稿割り付け順を[順横方向]、[順縦方向]、[逆横方向]、[逆縦方向]の中から指定します。
- ・[順横方向]の場合、面の左上から右下に向かって横並びに原稿を割り付けていきます。
- ・[順縦方向]の場合、面の左上から右下に向かって縦並びに原稿を割り付けていきます。

- ・[逆横方向]の場合、面の右上から左下に向かって横並びに原稿を割り付けていきます。
- ・[逆縦方向]の場合、面の右上から左下に向かって縦並びに原稿を割り付けていきます。
- ・「文書」、「セクション」、「用紙」選択時に操作された場合、配下の面全てに設定が適用されます。

#### 条件

- ・「原稿」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[まとめて1枚]－[順横方向]/[順縦方向]/[逆横方向]/[逆縦方向]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[まとめて1枚]－[順横方向]/[順縦方向]/[逆横方向]/[逆縦方向]メニューを選択します。

### 5.2.4.7 まとめて1枚の割り付け順（ユーザ定義）

---

#### 機能

- ・現在の面の1面への原稿割り付け順を、ユーザ任意の順番で指定します。

#### 条件

- ・「原稿」以外が選択されている場合は操作できません。
- ・「印刷原稿」ビューを表示している場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[まとめて1枚]－[ユーザ定義]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[まとめて1枚]－[ユーザ定義]メニューを選択します。
- ・「用紙イメージ」ビューまたは「仕上がりイメージビュー」が割り付け順の編集モードになったら、原稿を割り付けたい順番に領域をクリックしていきます。

### 5.2.4.8 枠線をつける

---

#### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」の原稿が割り付けられる領域に枠線を付けます。
- ・「文書」、「セクション」、「用紙」選択時に操作された場合、配下の面全てに設定が適用されます。

#### 条件

- ・「原稿」が選択されている場合は操作できません。

- ・「小冊子印刷」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[枠線をつける]メニューを選択します。
- ・用紙編集操作ツールバーの[枠線をつける]ボタンをクリックします。

### 5.2.4.9 用紙サイズ

---

#### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」の出力用紙サイズを[原稿サイズと同じ]、[A3 (297x420mm)]、[A4 (210x297mm)]、[A5 (148x210mm)]、[B4 (257x364mm)]、[B5 (182x257mm)]、[8.5x11" (レター)]、[8.5x14" (リーガル)]、[8.5x13" (ガバメントリーガル)]、[11x17" (ダブルレター)]の中から指定します。
- ・「文書」、「セクション」選択時に操作された場合、配下の用紙全てに設定が適用されます。

#### 条件

- ・「面」、「原稿」が選択されている場合は操作できません。
- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」、「小冊子印刷」、「カタログ印刷」が設定されている場合は「文書」単位でしか操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[用紙サイズ]－[原稿サイズと同じ]/[A3 (297x420mm)]/[A4 (210x297mm)]/[A5 (148x210mm)]/[B4 (257x364mm)]/[B5 (182x257mm)]/[8.5x11" (レター)]/[8.5x14" (リーガル)]/[8.5x13" (ガバメントリーガル)]/[11x17" (ダブルレター)]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[用紙サイズ]－[原稿サイズと同じ]/[A3 (297x420mm)]/[A4 (210x297mm)]/[A5 (148x210mm)]/[B4 (257x364mm)]/[B5 (182x257mm)]/[8.5x11" (レター)]/[8.5x14" (リーガル)]/[8.5x13" (ガバメントリーガル)]/[11x17" (ダブルレター)]メニューを選択します。

### 5.2.4.10 給紙トレイ

---

#### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」の用紙を給紙するトレイを[自動]、[トレイ 1]、[トレイ 2]、[トレイ 3]、[トレイ 4]、[トレイ 5]、[トレイ 6]、[トレイ 7]、[手差しトレイ]の中から指定します。
- ・「文書」、「セクション」選択時に操作された場合、配下の用紙全てに設定が適用されます。

#### 条件

- ・「面」、「原稿」が選択されている場合は操作できません。

- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」、「小冊子印刷」、「カタログ印刷」が設定されている場合は「文書」単位でしか操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[給紙トレイ]－[自動]/[トレイ 1]/[トレイ 2]/[トレイ 3]/[トレイ 4]/[トレイ 5]/[トレイ 6]/[トレイ 7]/[手差しトレイ]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[給紙トレイ]－[自動]/[トレイ 1]/[トレイ 2]/[トレイ 3]/[トレイ 4]/[トレイ 5]/[トレイ 6]/[トレイ 7]/[手差しトレイ]メニューを選択します。

### 5.2.4.11 部数

---

#### 機能

- ・文書を出力する部数を指定します。

#### 条件

- ・1～999 部まで指定可能です。

#### 操作

- ・仕上がり編集操作ツールバーの[部数]入力ボックスに部数を入力します。

### 5.2.4.12 ソート

---

#### 機能

- ・文書の部単位でのソート ON/OFF を切り替えます。
- ・ソートする場合、部単位で出力されます。

#### 条件

- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」、「小冊子印刷」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・仕上がり編集操作ツールバーの[ソート]ボタンをクリックします。ソートする場合は  ボタンイメージ、ソートしない場合は  ボタンイメージが表示されます。

### 5.2.4.13 カラーモード

---

#### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」をカラーデータとして出力するか、モノクロデータとして出力するかを指定します。
- ・「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」選択時に操作された場合、配下の原稿全てに設定が適用されます。

### 操作

- ・仕上がり編集操作ツールバーの[カラーモード]ボタンをクリックします。カラーの場合は  ボタンイメージ、モノクロの場合は  ボタンイメージが表示されます。

#### 5.2.4.14 オフセット排出

---

### 機能

- ・文書のオフセット排出 ON/OFF を切り替えます。
- ・オフセット排出する場合、プリンタの能力に応じて「ジョブ単位」または「セット単位」でオフセット排出されます。

### 操作

- ・仕上がり編集操作ツールバーの[オフセット排出]ボタンをクリックします。オフセット排出する場合は  ボタンイメージ、オフセット排出しない場合は  ボタンイメージが表示されます。

#### 5.2.4.15 ホチキス

---

### 機能

- ・文書のホチキス留め設定を[しない]、[左 2 カ所]、[左上 1 カ所]、[上 2 カ所]、[右上 1 カ所]、[右 2 カ所]、[右下 1 カ所]、[下 2 カ所]、[左下 1 カ所]、[中とじ]の中から指定します。

### 条件

- ・「用紙サイズ」、「パンチ」、「紙折り」、「小冊子印刷」、「カタログ印刷」との組み合わせで設定可能な項目が制限されます。

### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]→[ホチキス]→[しない]/[左 2 カ所]/[左上 1 カ所]/[上 2 カ所]/[右上 1 カ所]/[右 2 カ所]/[右下 1 カ所]/[下 2 カ所]/[左下 1 カ所]/[中とじ]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[ホチキス]→[しない]/[左 2 カ所]/[左上 1 カ所]/[上 2 カ所]/[右上 1 カ所]/[右 2 カ所]/[右下 1 カ所]/[下 2 カ所]/[左下 1 カ所]/[中とじ]メニューを選択します。
- ・仕上がり編集操作ツールバーの[ホチキス]ボタンをクリックします。
- ・「仕上げ」ダイアログが表示されます。

#### 5.2.4.16 パンチ

---

### 機能

- ・文書のパンチ穴空け設定を[しない]、[左]、[上]、[右]、[下]の中から指定します。

### 条件

- ・「用紙サイズ」、「ホチキス」、「紙折り」との組み合わせで設定可能な項目が制限されます。
- ・「小冊子印刷」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[パンチ]－[しない]/[左]/[上]/[右]/[下]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[パンチ]－[しない]/[左]/[上]/[右]/[下]メニューを選択します。
- ・仕上がり編集操作ツールバーの[パンチ]ボタンをクリックします。
- ・「仕上げ」ダイアログが表示されます。

### 5.2.4.17 パンチ穴数

---

#### 機能

- ・パンチ穴空け時の穴の数を[2 穴]、[3 穴]、[4 穴]の中から指定します。

#### 条件

- ・「用紙サイズ」との組み合わせで設定可能な項目が制限されます。
- ・「小冊子印刷」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[パンチ]－[2 穴]/[3 穴]/[4 穴]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[パンチ]－[2 穴]/[3 穴]/[4 穴]メニューを選択します。
- ・仕上がり編集操作ツールバーの[パンチ]ボタンをクリックします。
- ・「仕上げ」ダイアログが表示されます。

### 5.2.4.18 紙折り

---

#### 機能

- ・文書の紙折り設定を[しない]、[Z 折り]、[外三つ折り]、[内三つ折り]、[二つ折り]の中から指定します。

#### 条件

- ・「用紙サイズ」、「ホチキス」、「パンチ」、「小冊子印刷」、「カタログ印刷」との組み合わせで設定可能な項目が制限されます。

#### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[紙折り]－[しない]/[Z 折り]/[外三つ折り]/[内三つ折り]、[二つ折り]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[紙折り]－[しない]/[Z 折り]/[外三つ折り]/[内三つ折り]、[二つ折り]メニューを選択します。
- ・仕上がり編集操作ツールバーの[紙折り]ボタンをクリックします。

- ・「仕上げ」ダイアログが表示されます。

#### 5.2.4.19 小冊子印刷

---

##### 機能

- ・文書の小冊子印刷設定 ON/OFF を切り替えます。

##### 条件

- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

##### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[小冊子印刷]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[小冊子印刷]メニューを選択します。
- ・仕上がり編集操作ツールバーの[小冊子印刷]ボタンをクリックします。

#### 5.2.4.20 ダブルコピー

---

##### 機能

- ・文書のダブルコピー設定 ON/OFF を切り替えます。

##### 条件

- ・「コピー印刷」、「小冊子印刷」、「カタログ印刷」が設定されている場合は操作できません。

##### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[ダブルコピー]メニューを選択します。
- ・仕上がり編集操作ツールバーの[ダブルコピー]ボタンをクリックします。

#### 5.2.4.21 カタログ印刷

---

##### 機能

- ・文書のカタログ印刷設定 ON/OFF を切り替えます。

##### 条件

- ・「コピー印刷」、「ダブルコピー」、「小冊子印刷」が設定されている場合は操作できません。

##### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[カタログ印刷]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[カタログ印刷]メニューを選択します。
- ・仕上がり編集操作ツールバーの[カタログ印刷]ボタンをクリックします。

#### 5.2.4.22 プロパティ

---

##### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」の印刷属性を表示および、変更します。

##### 操作

- ・メニューバーから[イメージ]－[プロパティ]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[プロパティ]メニューを選択します。
- ・選択単位に応じた「印刷属性」ダイアログが表示されます。

#### 5.2.4.23 罫線補正

---

##### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」のイメージに含まれている罫線を、補正して描画するか、オリジナルのまま描画するかを指定します。
- ・「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」選択時に操作された場合、配下の原稿全てに設定が適用されます。

##### 操作

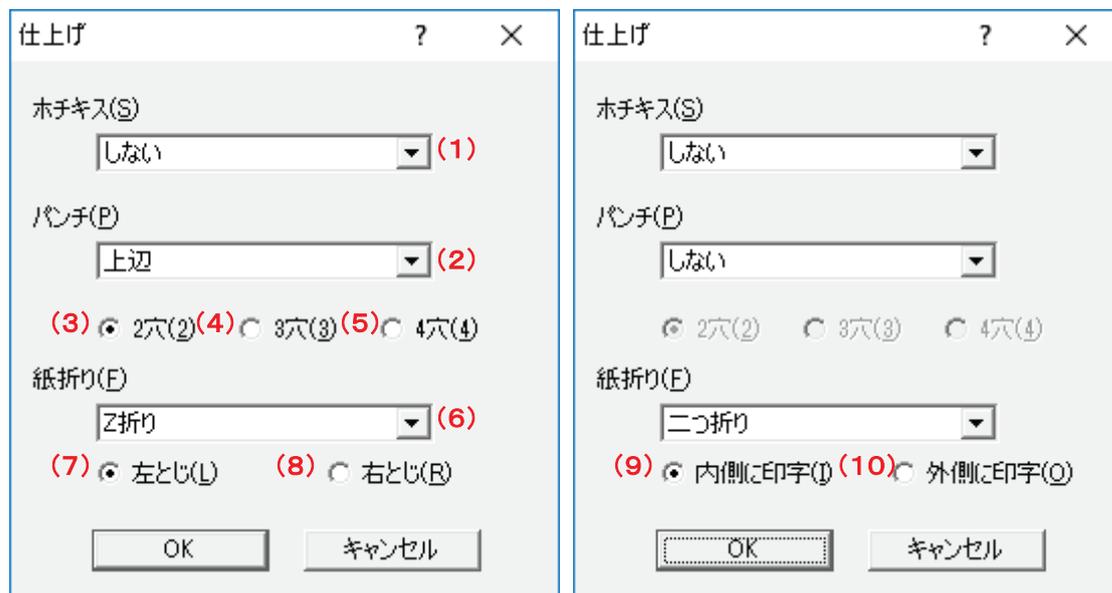
- ・メニューバーから[イメージ]－[罫線補正]メニューを選択します。
- ・用紙編集操作ツールバーの[罫線補正]ボタンをクリックします。

#### 5.2.4.24 [仕上げ] ダイアログ

---

[仕上げ] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.2.4.24 [仕上げ]ダイアログ



(1) [ホチキス]コンボボックス

機能

- ・ホチキス止めの位置を選択します。

操作

- ・初期値は、[しない]になっています。

(2) [パンチ]コンボボックス

機能

- ・パンチの穴あけ位置を選択します。

操作

- ・初期値は、[しない]になっています。
- ・[しない]以外を選択した場合、パンチ穴の数が指定可能になります。

(3) [2 穴]ラジオボタン

(4) [3 穴]ラジオボタン

(5) [4 穴]ラジオボタン

機能

- ・[パンチ]コンボボックスにてパンチの穴あけ位置を選択した場合、パンチ穴の数を指定します。
- ・[2 穴]、[3 穴]、[4 穴]が選択できます。

操作

- ・[パンチ]コンボボックスにて[しない]以外を選択した場合に表示します。

- ・初期値は、[2 穴]になっています。

(6) [紙折り]コンボボックス

機能

- ・紙の折り方を選択します。

操作

- ・初期値は、[しない]になっています。

(7) [左とじ]ラジオボタン

(8) [右とじ]ラジオボタン

機能

- ・[紙折り]コンボボックスにて[Z 折り]を選択した場合、とじ位置を指定します。
- ・[左とじ]を選択した場合、とじ位置が左側になるように紙を折ります。
- ・[右とじ]を選択した場合、とじ位置が右側になるように紙を折ります。

操作

- ・初期値は、[左とじ]になっています。

(9) [内側に印字]コンボボックス

(10) [外側に印字]コンボボックス

機能

- ・[紙折り]コンボボックスにて[外三つ折り]、[内三つ折り]、[二つ折り]を選択した場合、印刷面を指定します。
- ・[内側に印字]を選択した場合、印刷面が内側になるように紙を折ります。
- ・[外側に印字]を選択した場合、印刷面が外側になるように紙を折ります。
- ・出力するプリンタに印字面の選択機能がない場合、本項目の設定に関わらずプリンタの折り方に従います。

操作

- ・初期値は、[内側に印字]になっています。

---

## 5.3 印刷操作

---

DocPoem からの印刷は、プリンタビューに表示されているプリンタアイコンをクリックすることによって行います。

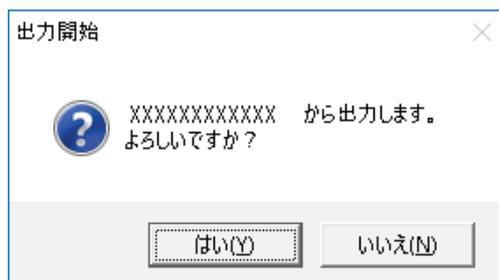
設定された印刷属性で出力可能なプリンタのみ選択可能になりますが、プリンタアイコンをクリックすると、プリンタの状態に応じて以下のいずれかのメッセージを表示して印

刷実行の意思を確認します。

#### (1) プリンタ正常時

選択されたプリンタから印刷を開始します。

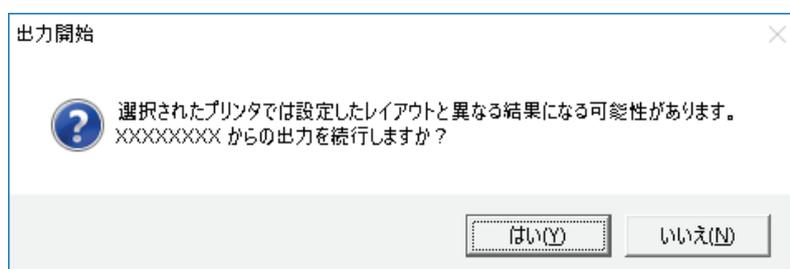
図 5.3 - (1) [出力開始]メッセージ



#### (2) 未サポートプリンタ時

DocPoemがサポートしていないプリンタからの出力を行う場合、使用するプリンタの能力やプリンタドライバ既定の設定内容によっては、設定した印刷属性と異なる出力結果が得られる可能性を注意します。

図 5.3 - (2) [出力開始]メッセージ



---

## 5.4 環境設定

---

DocuPoem の動作環境を設定します。

メニューバーの [ツール] - [オプション] メニューを選択するか、標準ツールバーの [オプション] ボタンをクリックして「オプション」ダイアログを開きます。

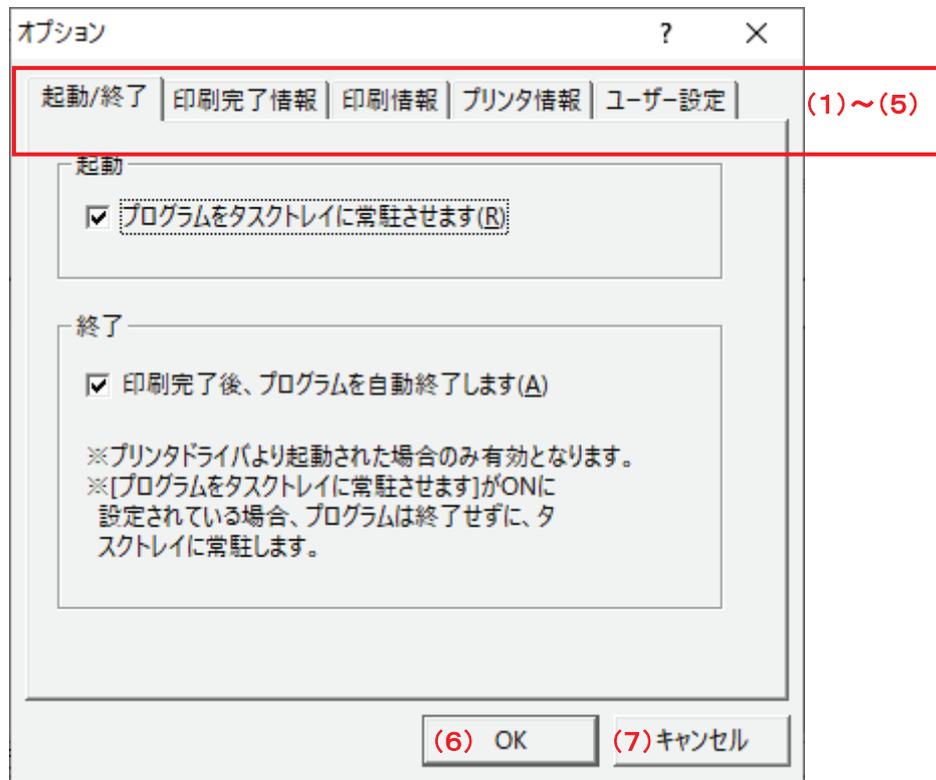
---

### 5.4.1 [オプション] ダイアログ

---

[オプション] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.4.1 [オプション]ダイアログ



(1) [起動／終了]タブ

(2) [印刷完了情報]タブ

(3) [印刷情報]タブ

(4) [プリンタ情報]タブ

(5) [ユーザー設定]タブ

(6) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(7) [キャンセル] ボタン

機能

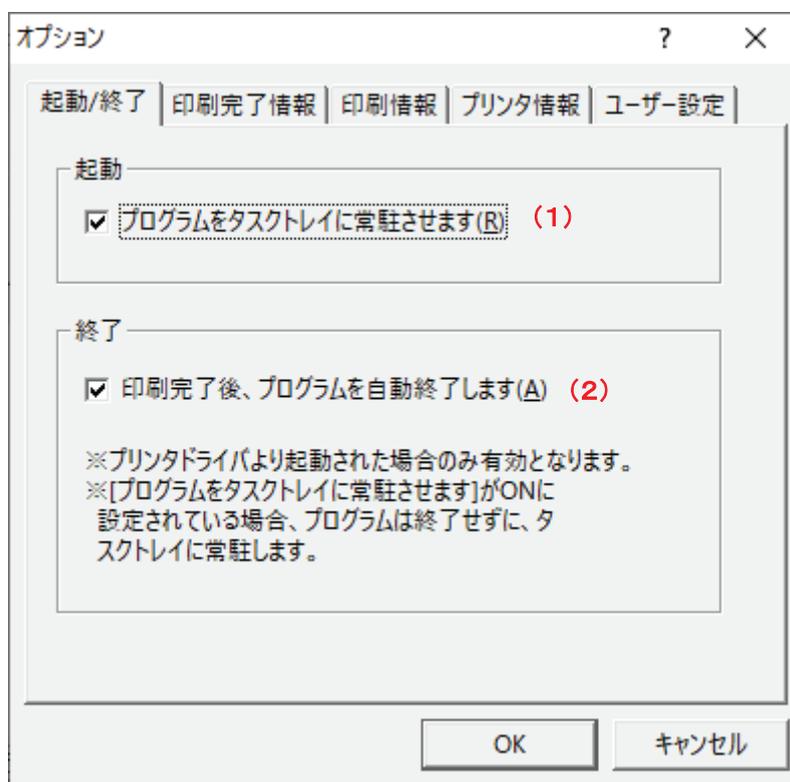
- ・処理を中断し画面を閉じます。

### 5.4.1.1 [起動/終了] タブ

---

[オプション] ダイアログ [起動/終了] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.4.1.1 [起動/終了]タブ



(1) [プログラムをタスクトレイに常駐させます] チェックボックス

機能

- ・プログラムをタスクトレイに常駐するかどうかを指定します。

操作

- ・タスクトレイに常駐する場合にチェックします。

(2) [印刷完了後、プログラムを自動終了します] チェックボックス

機能

- ・印刷が完了した場合、プログラムを自動終了するかどうかを指定します。
- ・プリンタドライバより起動された場合のみ有効となります。
- ・[プログラムをタスクトレイに常駐させます]が ON に設定されている場合、プログラムは終了せずに、タスクトレイに常駐します。

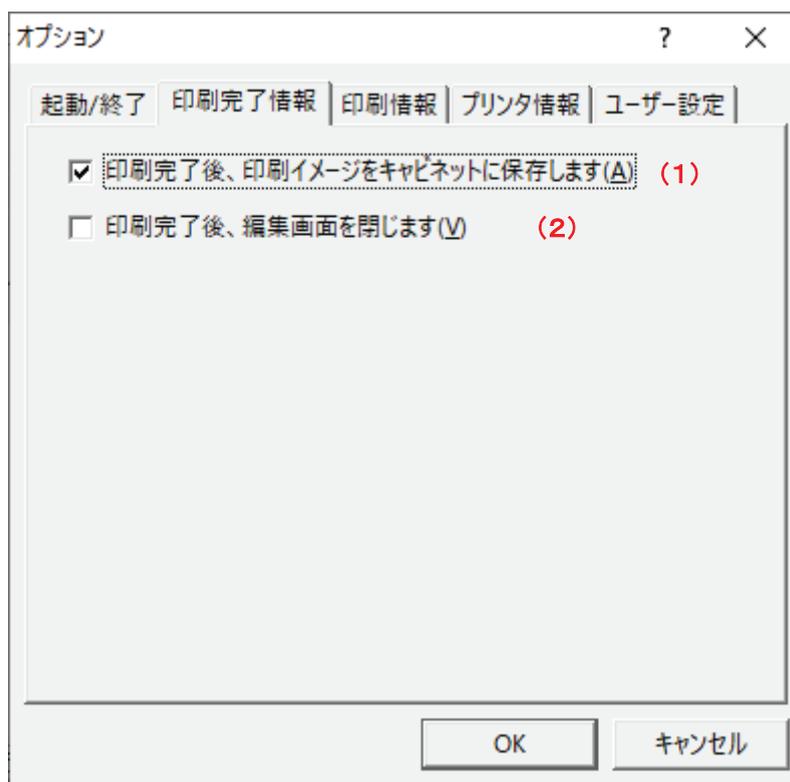
#### 操作

- ・プログラムを自動終了する場合にチェックします。

### 5.4.1.2 [印刷完了情報] タブ

[オプション] ダイアログ [印刷完了情報] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.4.1.2 [印刷完了情報]タブ



(1) [印刷完了後、印刷イメージをキャビネットに保存します]チェックボックス

#### 機能

- ・印刷が完了した場合、印刷イメージをキャビネットに保存するかどうかを指定します。

#### 操作

- ・キャビネットに保存する場合にチェックします。

(2) [印刷完了後、編集画面を閉じます]チェックボックス

機能

- ・印刷が完了した場合、編集画面を閉じるかどうかを指定します。

操作

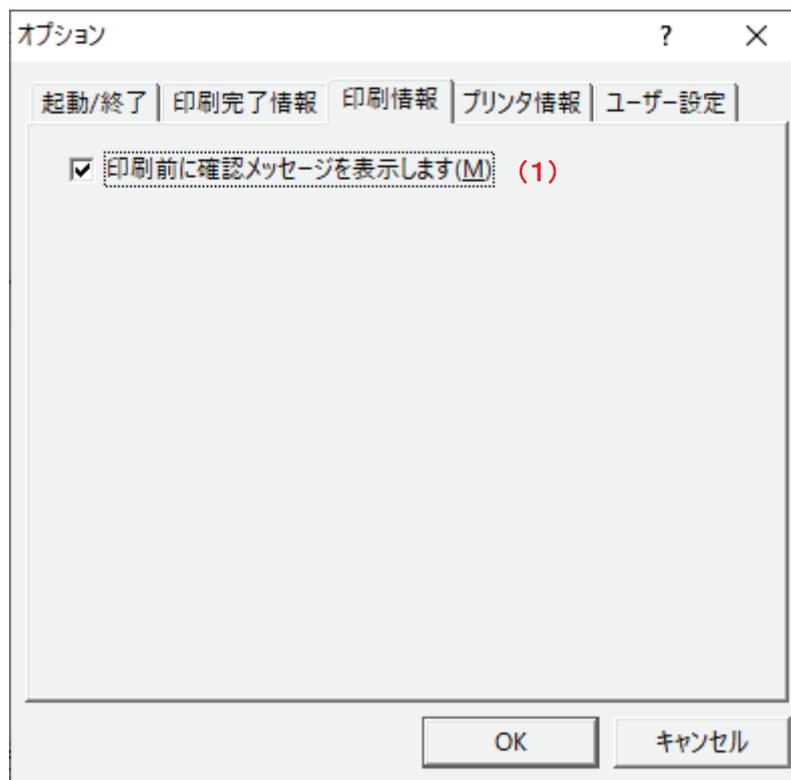
- ・編集画面を閉じる場合にチェックします。

### 5.4.1.3 [印刷情報] タブ

---

[オプション] ダイアログ [印刷情報] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.4.1.3 [印刷情報]タブ



(1) [印刷前に確認メッセージを表示します]チェックボックス

機能

- ・印刷を開始する前に確認メッセージを表示するかどうかを指定します。

操作

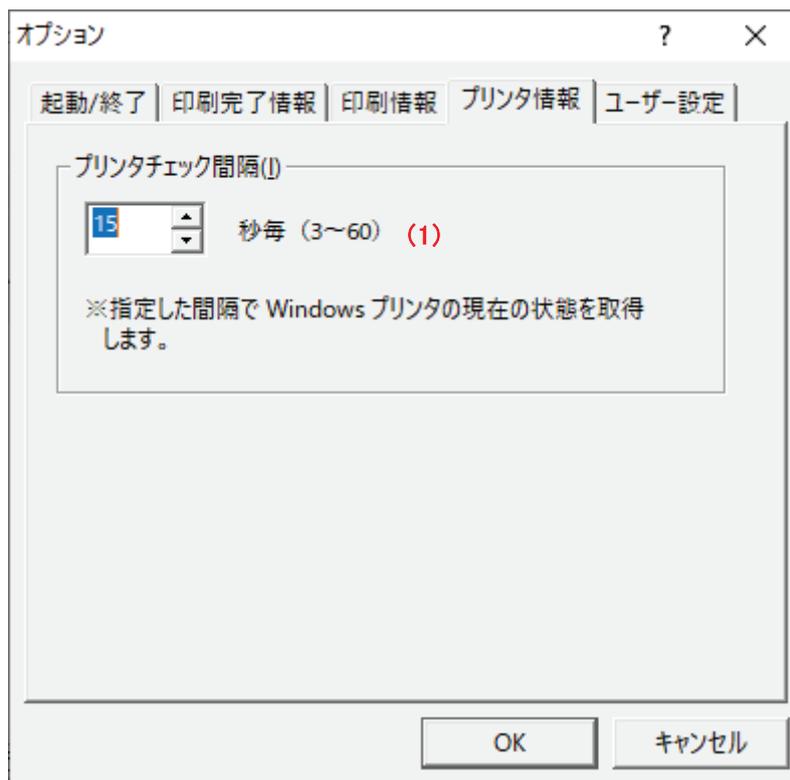
- ・確認メッセージを表示する場合にチェックします。

#### 5.4.1.4 [プリンタ情報] タブ

---

[オプション] ダイアログ [プリンタ情報] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.4.1.4 [プリンタ情報]タブ



##### (1) [プリンタチェック間隔] 入力ボックス

###### 機能

- ・ここで指定した間隔で Windows プリンタの現在の状態を取得します。

###### 操作

- ・3～60 の半角数字で指定します。1 秒単位で指定できます。
- ・キーまたは、スピンボタンで入力します。
- ・推奨値は 15 秒です。

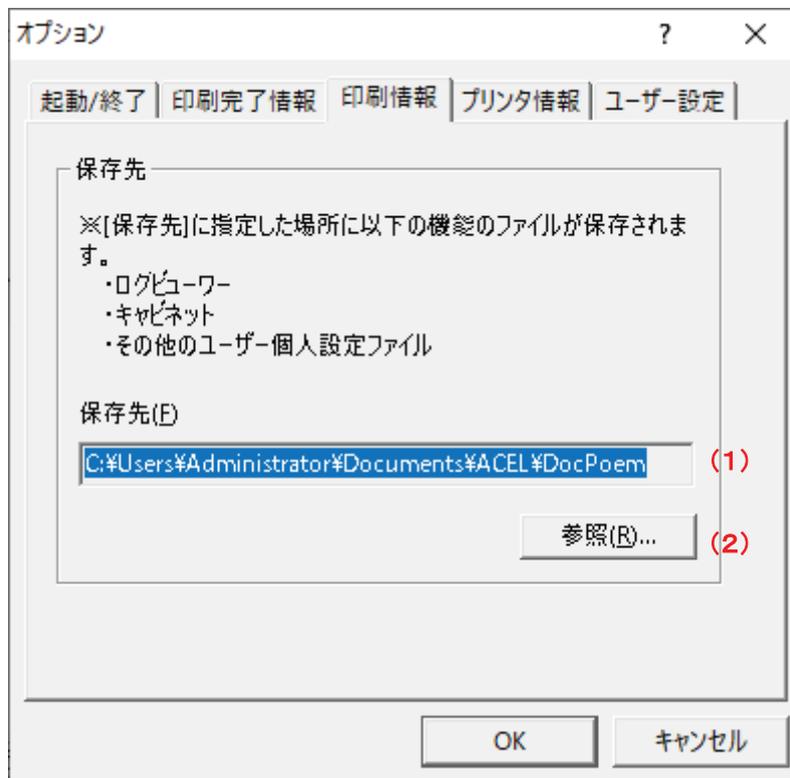
#### 5.4.1.5 [ユーザー設定] タブ

---

[オプション] ダイアログ [ユーザー設定] タブの画面体裁、および操作について説明

します。

図 5.4.1.5 [ユーザー設定]タブ



(1) [保存先]入力ボックス

機能

- ・指定した保存先に、印刷後のログファイルやイメージファイル、またその他のユーザー個人設定ファイルが保存されます。

操作

- ・[参照]ボタンから保存先を指定します。

(2) [参照]ボタン

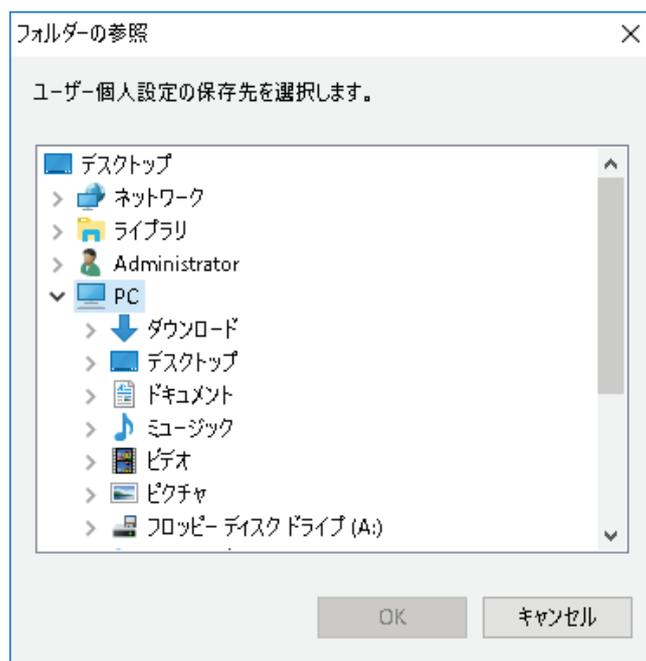
機能

- ・保存先を参照します。

操作

- ・Windows の[フォルダの参照]ダイアログを表示します。

図 5.4.1.6 - (2) [フォルダの参照]ダイアログ



---

## 5.5 終了方法

---

DocPoem は、以下のいずれかの方法で終了します。

DocPoem の環境設定で、タスクトレイへの常駐機能が ON になっている場合、終了操作を行うと Windows のタスクトレイに収められます。

(1) メニューバー

メニューバーから [ファイル] - [終了] メニューを選択します。

(2) ツールバー

標準ツールバーの [プログラムの終了] ボタンをクリックします。

(3) 自動終了

DocPoem の環境設定で、印刷完了後の自動終了機能が ON になっている場合、“ACEL DocPoem Image Driver” から起動した DocPoem は印刷後に自動終了します。

(4) タスクトレイメニュー

DocPoem がタスクトレイに常駐している場合、タスクトレイメニューの [終了] メニューを選択することによってプログラムは完全に終了します。

---

---

## 6. プレビュー画面操作

---

---

レイアウトビューは、[印刷原稿]、[用紙イメージ]、[仕上がりイメージ] の3種類のプレビュー画面で構成しています。

各画面の操作方法について説明します。

---

### 6.1 共通の操作

---

3種類のプレビュー画面共通の操作について説明します。

#### (1) 選択単位の切り替え

[ページ操作]ツールバーの[選択変更]ボタンで、選択単位の切り替えることができます。

選択単位の切り替えるごとにプレビュー内の選択枠の色が、灰色（文書）→朱色（セクション）→黄色（用紙）→緑色（面）→水色（原稿）→灰色（文書）と変化します。

#### (2) 編集対象の選択

プレビュー内の表示内容を左クリックすると、選択単位に応じた編集対象を選択することができます。

#### (3) 右マウスメニュー

プレビュー内の表示内容を右クリックすると、選択されている内容に応じた右マウスメニューが表示され、印刷属性等を変更することができます。

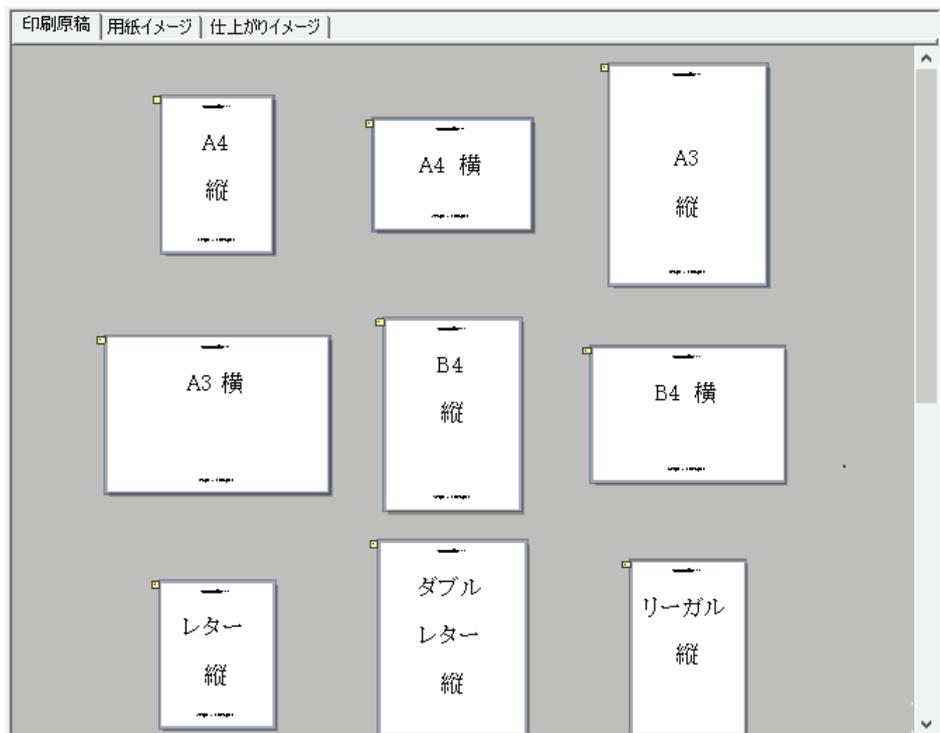
---

## 6.2 [印刷原稿] ビュー

---

DocPoemへ取り込んだ原稿そのものへのレイアウト編集が行えます。  
取り込んだ原稿のサイズ／向き／内容を、視覚的にわかり易く表示します。

図 6.2 [印刷原稿]ビュー



---

### 6.2.1 原稿への操作

---

ここでは、以下の操作が行えます。

- (1) 原稿の単独／複数選択
- (2) クリップボード操作
- (3) 属性プロパティの設定
- (4) 改ページ指定
- (5) 白紙原稿の挿入
- (6) 用紙の挿入

(7) セクションの挿入／削除

---

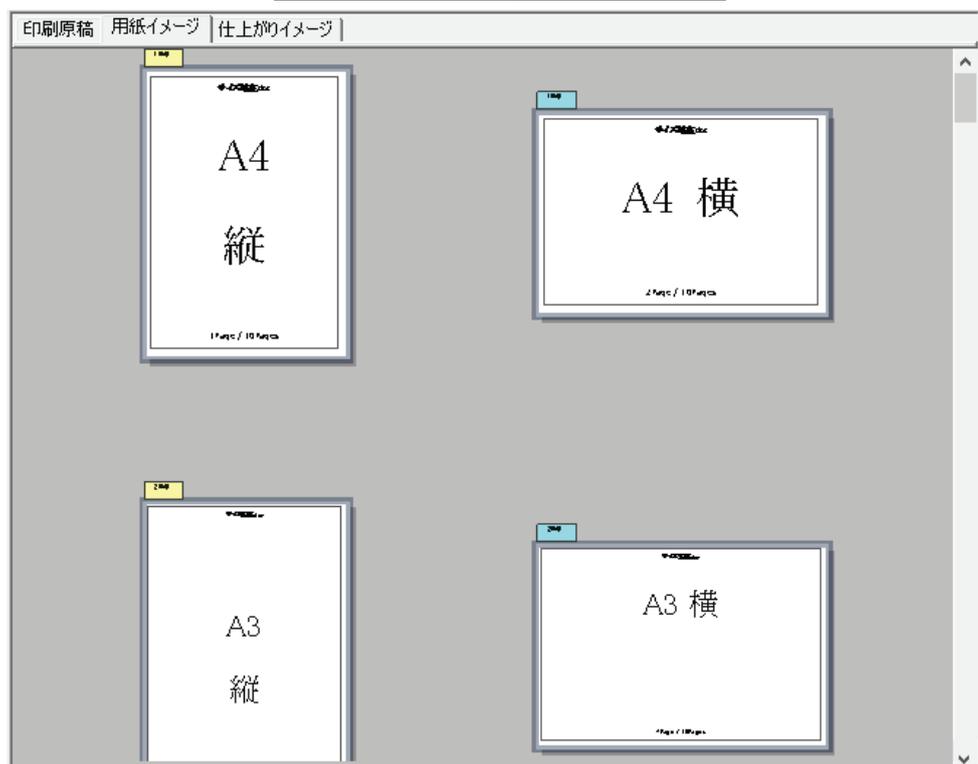
## 6.3 [用紙イメージ] ビュー

---

レイアウト編集結果をプリンタへ出力する用紙ごとのイメージで表示します。

「まとめて1枚」の並び順変更や割り付け変更などの面付け操作を行うことができます。  
表示内容を以下に説明します。

図 6.3 [用紙イメージ]ビュー(連続表示)



---

### 6.3.1 単一表示

---

出力用紙1枚ごとに内容を表示します。

---

### 6.3.2 連続表示

---

すべての出力用紙を並べて表示します。

---

### 6.3.3 用紙イメージでの操作

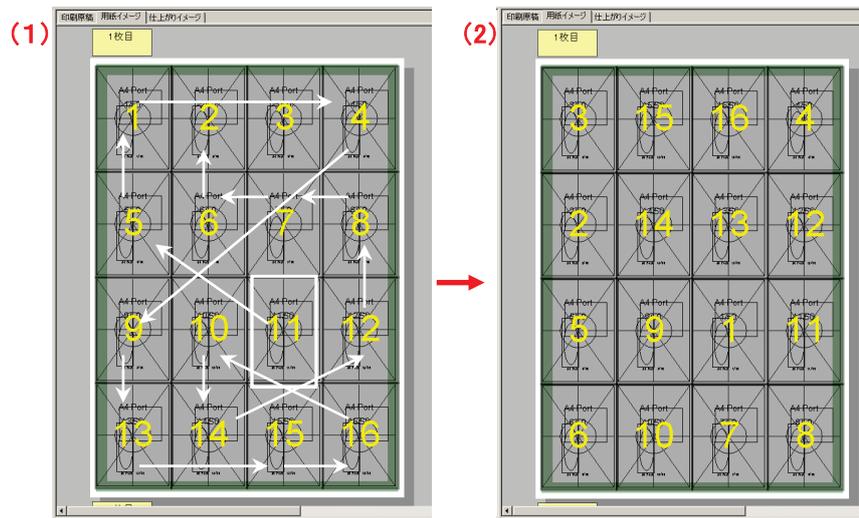
---

ここでは、共通の操作に加えて以下の操作が行えます。

### 6.3.3.1 「まとめて1枚」での並び順変更

以下の手順で「まとめて1枚」での原稿の並びを、任意の順序に変更できます。

図 6.3.3.1 「まとめて1枚」での並び順変更



(1) 右クリックメニューの[まとめて1枚(N)]-[ユーザー定義(O)]を選択します。

(2) 対象の面が灰色の半透明で表示され、含まれる原稿に重ねて現在の設定順序が黄色で表示されます。(※ (1) の状態)

(3) 変更したい順序で黄色の数字の部分をクリックすると、その位置の原稿が置き換わります。(※ (2) の状態)

上図の例は「11」の位置からクリックを始めて、白矢印の順にクリックを繰り返した結果です。

(4) すべての並び順をクリックし終わるか、他の操作（表示のスクロールなど）を行うと並び順の変更を終了します。

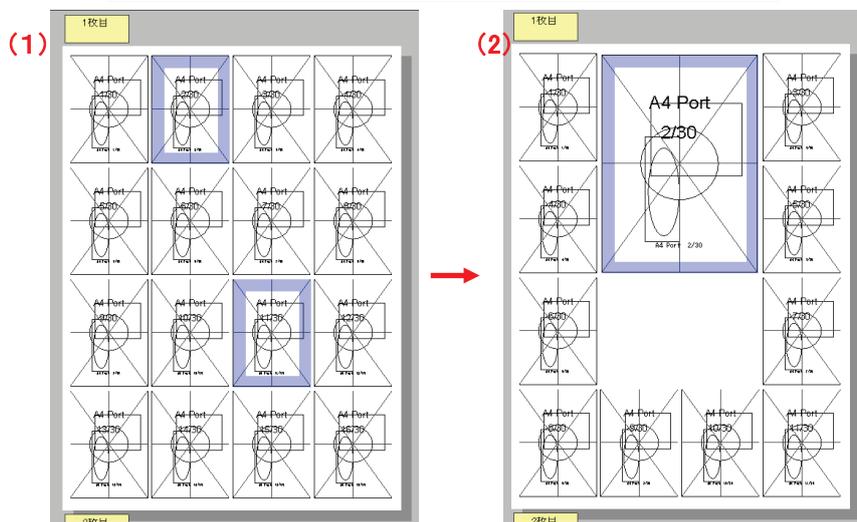
並び順を変更した後でも、割り付けの変更は可能です。

順横方向 (Z順) / 順縦方向 (逆N順) / 逆横方向 (逆Z順) / 逆縦方向 (N順) についてはメニューから直接変更することができます。

### 6.3.3.2 「まとめて1枚」での原稿の割り付け変更（面付け）

以下の手順で「まとめて1枚」での原稿の割り付けの形を、任意の形に変更できます。

図 6.3.3.2 「まとめて1枚」での原稿の割り付け変更（面付け）



- (1) 「ページ操作ツールバー」で選択対象を「原稿」（水色の枠）にします。
- (2) 割り付けを変更したい位置の原稿を2つ以上選択します。（※ (1) の状態）
- (3) 右クリックメニューの[まとめて1枚(N)]-[拡張割り付け(E)]を選択します。
- (4) 選択されていた原稿をすべて含む矩形が1つの領域として変更され、面に収まりきらなくなった原稿は次の面へ追い出されます。（※ (2) の状態）

拡張割り付けをやめる場合は、「まとめて1枚」を再設定してください。

拡張割り付けを設定した後でも、並び順の変更は可能です。

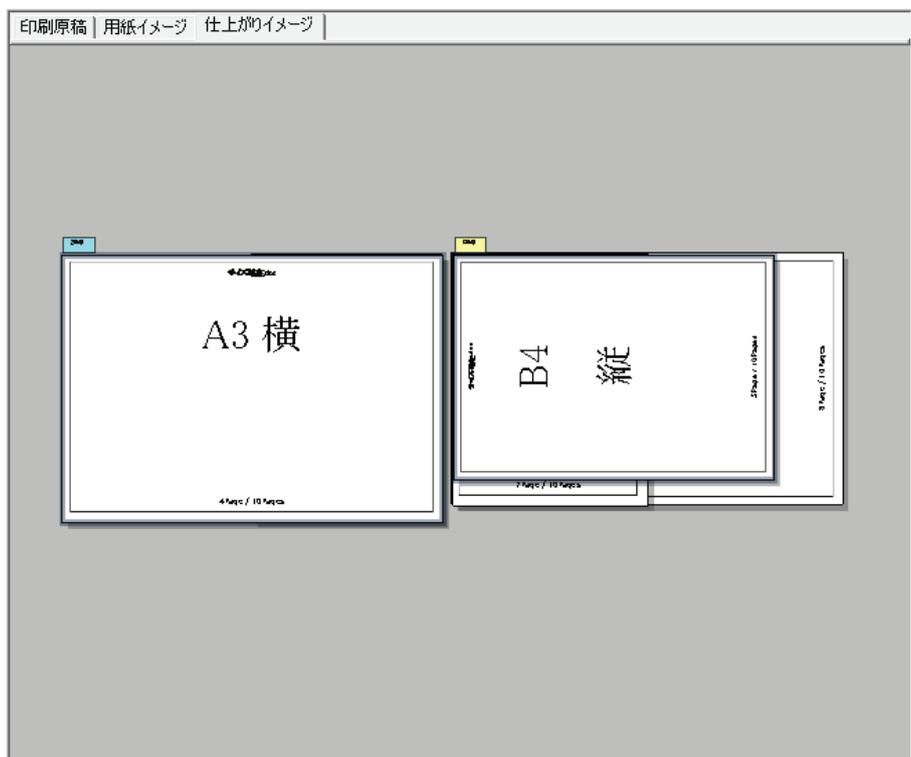
---

## 6.4 [仕上がりイメージ] ビュー

---

レイアウト編集結果を、プリンタへの出力結果として画面上で表示します。  
また、ホチキス／パンチ／紙折りを、画面上のイメージで位置を確認できます。  
「まとめて1枚」の並び順変更や割り付け変更などの面付け操作を行うことができます。  
表示内容を以下に説明します。

図 6.4 [仕上がりイメージ]ビュー(見開き表示)



---

### 6.4.1 片面表示

---

出力結果が片面のみの場合、常におもて面のみを表示します。

---

### 6.4.2 見開き表示

---

出力結果を両面見開きのイメージで表示します。

---

### 6.4.3 冊子表示

---

「小冊子印刷」もしくは「カタログ印刷」が指定されている場合、常にこの表示になります。

---

### 6.4.4 仕上がりイメージでの操作

---

仕上がりイメージで行える操作について説明します。

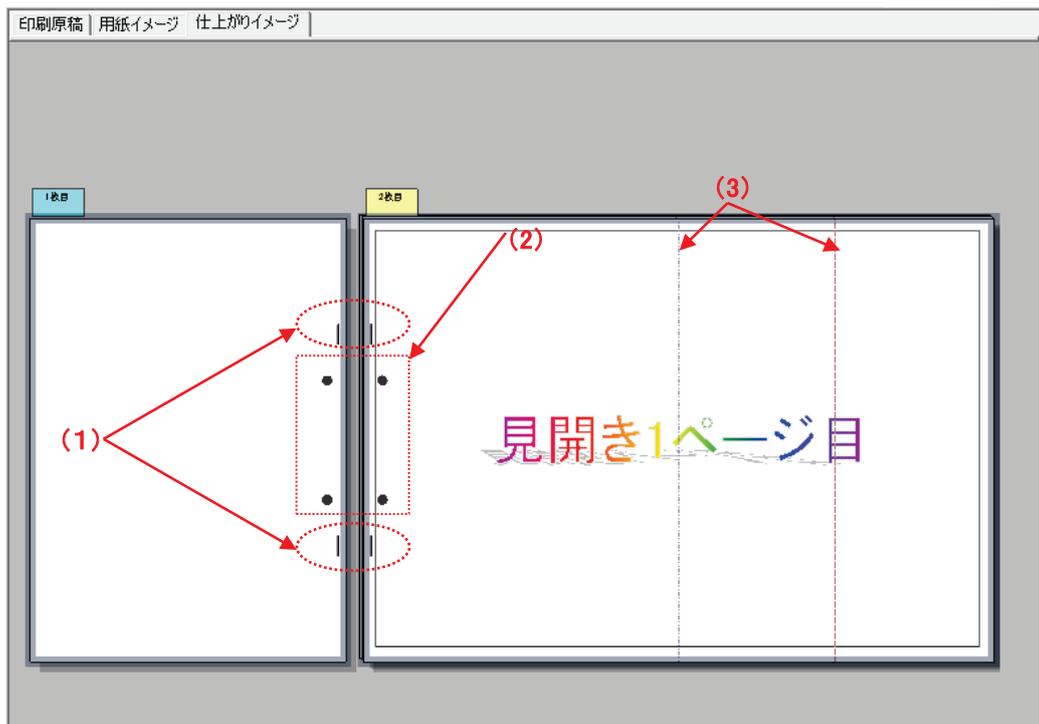
---

#### 6.4.4.1 ホチキス／パンチ／紙折りの指定

---

ツールバー、メニューなどでホチキス／パンチ／紙折りの設定を行うと、設定の結果を画面上で確認できます。

図 6.4.4.1 ホチキス／パンチ／紙折りの設定



(1)ホチキス（上図の例は「左2箇所」）

(2)パンチ（上図の例は「左2穴」）

(3)紙折り（上図の例は「Z折り」）

- ・青線・・・谷折り
- ・赤線・・・山折り

#### 6.4.4.2 「まとめて1枚」での並び順変更

---

「6.3.3.1 「まとめて1枚」での並び順変更」を参照してください。

#### 6.4.4.3 「まとめて1枚」での原稿の割り付け変更（面付け）

---

「6.3.3.2 「まとめて1枚」での原稿の割り付け変更（面付け）」を参照してください。

### 6.5 プレビューメニュー

---

プレビュー画面で表示される右マウスメニューのメニュー構成および、操作について説明します。

(1) [切り取り]

「5.2.3.1 切り取り」を参照してください。

(2) [コピー]

「5.2.3.2 コピー」を参照してください。

(3) [貼り付け]

「5.2.3.3 貼り付け」を参照してください。

(4) [削除]

「5.2.3.4 削除」を参照してください。

(5) [元に戻す]

「5.2.2.1 元に戻す」を参照してください。

(6) [やり直し]

「5.2.2.2 やり直し」を参照してください。

(7) [選択]

「5.2.1.1 文書選択」、

「5.2.1.2 セクション選択」、

「5.2.1.3 用紙選択」、  
「5.2.1.4 面選択」、  
「5.2.1.5 原稿選択」を参照してください。

(8) [挿入]－[改ページ]

「5.2.3.5 改ページ挿入」を参照してください。

(9) [挿入]－[原稿]

「5.2.3.6 原稿挿入」を参照してください。

(10) [挿入]－[用紙]

「5.2.3.7 用紙挿入」を参照してください。

(11) [挿入]－[セクション]

「5.2.3.8 セクション挿入」を参照してください。

(12) [セクション削除]

「5.2.3.9 セクション削除」を参照してください。

(13) [両面]

「5.2.4.1 両面/片面」、  
「5.2.4.2 長辺とじ/短辺とじ」を参照してください。

(14) [まとめて1枚]

「5.2.4.3 まとめて1枚のレイアウト(1ページ～32ページ)」、  
「5.2.4.4 まとめて1枚のレイアウト(ユーザ定義)」、  
「5.2.4.5 まとめて1枚のレイアウト(拡張割り付け)」、  
「5.2.4.6 まとめて1枚の割り付け順(定型)」、  
「5.2.4.7 まとめて1枚の割り付け順(ユーザ定義)」を参照してください。

(15) [用紙サイズ]

「5.2.4.9 用紙サイズ」を参照してください。

(16) [給紙トレイ]

「5.2.4.10 給紙トレイ」を参照してください。

(17) [ホチキス]

「5.2.4.15 ホチキス」を参照してください。

(18) [パンチ]

「5.2.4.16 パンチ」、

「5.2.4.17 パンチ穴数」を参照してください。

(19) [紙折り]

「5.2.4.18 紙折り」を参照してください。

(20) [小冊子印刷]

「5.2.4.19 小冊子印刷」を参照してください。

(21) [カタログ印刷]

「5.2.4.21 カタログ印刷」を参照してください。

(22) [名前の変更]

「5.2.3.10 名前の変更」を参照してください。

(23) [プロパティ]

「5.2.4.22 プロパティ」を参照してください。

---

## 7. ツリービュー画面操作

---

ツリービューでは「全ての構成を表示」と「縮小版表示」の2種類の表示形式で編集操作を行うことができます。

各画面の操作方法について説明します。

---

### 7.1 ツリービュー画面

---

ツリービューの画面について説明します。

---

#### 7.1.1 アイコン

---

ツリービューでは各ノードを以下のアイコンで表示します。

アイコン	階層	状態	説明
	文書	—	文書を表示します
	セクション	—	セクションを表示します
	用紙	通常	通常用の紙を表示します
		合紙	セクションの先頭に挿入される合紙を表示します
		白紙	任意の位置に挿入できる白紙を表示します
	面	通常(おもて)	おもて面を表示します
		通常(うら)	うら面を表示します
		ヘッダ・フッタ(おもて)	面ヘッダ・フッタが設定されている状態のおもて面を表示します
		ヘッダ・フッタ(うら)	面ヘッダ・フッタが設定されている状態のうら面を表示します
	原稿	通常	原稿を表示します
		ヘッダ・フッタ	原稿ヘッダ・フッタが設定されている状態の原稿を表示します
		白紙原稿	任意の位置に挿入できる白紙原稿を表示します

---

## 7.1.2 ノードの名称

---

ツリービューでは各ノードの名称は以下のように表示します。

階層	状態	説明
文書	文書なし(起動直後)	「DocPoem 文書」と表示されます。
	取り込み直後	アプリケーションで指定された文書の印刷名称が表示されます。
	名称変更後	ユーザーが任意に指定した文字列が表示されます。
セクション	取り込み直後	文書名と同じ名称が表示されます。
	挿入されたセクション	「セクション-n」の形式で名称が連番表示されます。
	名称変更後	ユーザーが任意に指定した文字列が表示されます。
用紙	通常	文書先頭からの用紙の連番が[00001]と表示されます。
	合紙	「合紙」と表示されます。
	白紙	「白紙」と表示されます。
面	通常(おもて)	「おもて」と表示されます。
	通常(うら)	「うら」と表示されます。
原稿	通常	文書先頭からの原稿の連番が[00001]と表示されます。
	白紙原稿	「白紙原稿」と表示されます。
	コピー原稿	連番が[00001-Copy]と表示されます。

---

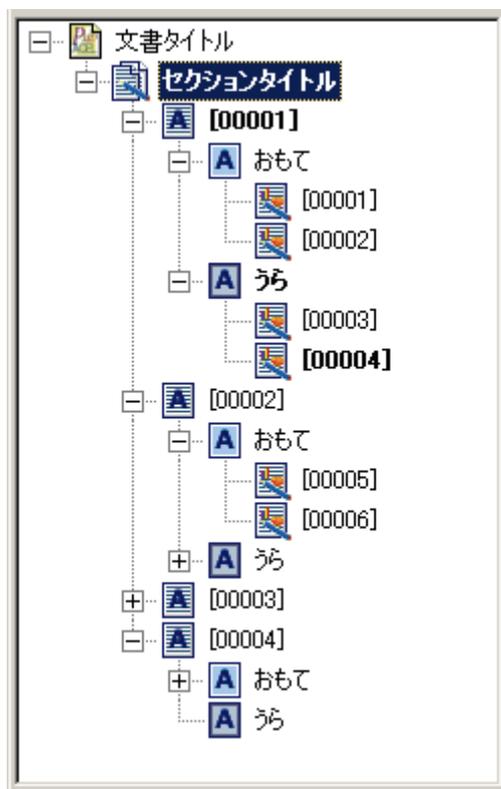
## 7.1.3 「全ての構成を表示」 ツリー

---

「全ての構成を表示」するツリーでは、印刷レイアウトを以下の5つの階層を持つツリー形式で表示します。

文書／セクション／用紙／面／原稿

図 7.1.3 [全ての構成を表示]ツリー



---

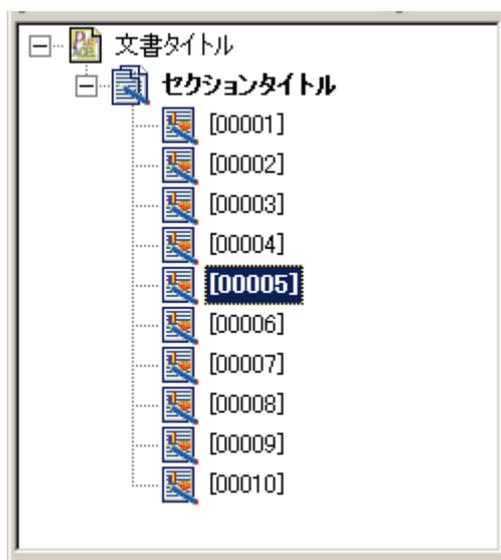
#### 7.1.4 「縮小版表示」 ツリー

---

「縮小版表示」するツリーでは、印刷レイアウトを以下の3つの階層を持つツリー形式で表示します。

文書／セクション／原稿

図 7.1.4 [縮小版表示]ツリー



---

## 7.2 基本操作

---

ツリービューの基本操作について説明します。

---

### 7.2.1 ノードの選択

---

ツリーノードの選択方法について説明します。

---

#### 7.2.1.1 単一選択

---

個々のノードはそれぞれ単独で選択することができます。

セクションの先頭に挿入される「合紙」は選択できません。

コピー印刷の場合、オリジナルとそのコピー全てが同時に選択されます。

---

#### 7.2.1.2 複数選択

---

複数選択の場合、同じ階層同士しか選択できません。

カーソルキーの上下で選択を行うと、対象のツリーノードが畳まれている場合は自動で展開されます。

### 7.2.1.3 複数連続選択

---

複数連続選択の場合、同じ階層同士しか選択できません。

カーソルキーの上下で選択を行うと、対象のツリーノードが畳まれている場合は自動で展開されます。

---

## 7.2.2 クリップボード

---

ツリービューでのクリップボード操作について説明します。

DocPoemでは独自のクリップボードを使用している為、オペレーティングシステム標準のクリップボードの内容は変更されません。

### 7.2.2.1 コピー

---

選択済みのノードをコピーできます。

コピー操作には以下の条件があります。

- (1) 文書の階層はコピーできません。
- (2) セクションの先頭に自動的に挿入される「合紙」はコピーできません。

### 7.2.2.2 切り取り

---

選択済みのノードを切り取り、クリップボードに保存します。

切り取られたノードはアイコンの色が薄く表示されます。

[Esc]キーを押すと切り取りを解除できますが、クリップボードには切り取ったノードが保存されたままになっています。

切り取り操作には以下の条件があります。

- (1) 文書の階層は切り取れません。
- (2) セクションの先頭に自動的に挿入される「合紙」は切り取れません。

### 7.2.2.3 貼り付け

---

クリップボード中のノードをツリーに貼り付けます。

畳まれたノード上でしばらくの間ドラッグ状態を維持したまま待つと、ツリーノードが展開されます。

貼り付け操作には以下の条件があります。

(1) 貼り付け先の「まとめて1枚」／「両面」／「改ページ」の設定によっては、貼り付け後の位置が変わってしまうことがあります。

(2) 貼り付け先の対象となるのは、クリップボードに保存されているノードと同じノードもしくは親のノードです。

貼り付け先が文書・・・セクションが貼り付けできます。

貼り付け先がセクション・・・セクション／用紙が貼り付けできます。

貼り付け先が用紙・・・用紙／面が貼り付けできます。

貼り付け先が面・・・面／原稿が貼り付けできます。

貼り付け先が原稿・・・原稿が貼り付けできます。

#### 7.2.2.4 移動

---

ドラッグアンドドロップ操作でノードの移動が簡単に行えます。

移動操作には以下の条件があります。

(1) 文書の階層は移動できません。

(2) セクションの先頭に自動的に挿入される「合紙」は移動できません。

(3) 移動先の「まとめて1枚」／「両面」／「改ページ」の設定によっては、移動後の位置が変わってしまうことがあります。

(4) 移動先の対象となるのは、クリップボードに保存されているノードと同じノードもしくは親のノードです。

移動先が文書・・・セクションが移動できます。

移動先がセクション・・・セクション／用紙が移動できます。

移動先が用紙・・・用紙／面が移動できます。

移動先が面・・・面／原稿が移動できます。

移動先が原稿・・・原稿が移動できます。

#### 7.2.2.5 削除

---

削除操作を行うと、選択されているノードがすべて削除され、イメージプロパティの設定値を元に削除されなかったノードの並び替えが自動的行われます。

---

### 7.2.3 挿入可能なアイテム

---

DocPoemでは、元原稿に含まれていないアイテムを文書中に挿入することができます。各挿入アイテムを以下に説明します。

#### 7.2.3.1 合紙

---

セクションごとに先頭に合紙を挿入することができます。合紙には「用紙サイズ」と「給紙トレイ」が指定できます。合紙には面および原稿を追加することはできません。

#### 7.2.3.2 用紙

---

任意の位置に白紙の用紙を挿入することができます。用紙には「用紙サイズ」と「給紙トレイ」が指定できます。用紙には面および原稿を追加することはできませんが、その他においては通常の用紙と同じように扱うことができます。

#### 7.2.3.3 白紙原稿

---

任意の位置に白紙原稿を挿入することができます。挿入後の白紙原稿は、通常の前稿と同じように扱うことができます。

#### 7.2.3.4 改ページ

---

任意の前稿に改ページの指定をすることができます。改ページの指定されている前稿は、常に面の先頭前稿として扱われるようになります。

#### 7.2.3.5 セクション

---

任意の位置にセクションを挿入し、文書を複数のセクションで区切ることができます。新しいセクションを挿入するたびに、「セクション - 1」・「セクション - 2」・・・「セクション - n」と連番での名称が付けられます。セクションの先頭に自動的に挿入される「合紙」が設定されている場合は、挿入されたセクションにも「合紙」が追加されます。セクションを挿入する際の選択ノードにより、以下のような規則で処理が行われます。

①選択ノードが「セクション」

選択中のセクションの手前に空のセクションが挿入されます。

②選択ノードが「用紙」

選択中の用紙の手前で既存のセクションが分割され、選択中の用紙以降が挿入したセクションの子ノードとして処理されます。

③選択ノードが「面」

選択中の面の手前で既存のセクションが分割され、選択中の面以降が挿入したセクションの子ノードとして処理されます。

その際、選択中の面の親ノードとして新たに「用紙」ノードが作成されます。

④選択ノードが「原稿」

選択中の原稿の手前で既存のセクションが分割され、選択中の原稿以降が挿入したセクションの子ノードとして処理されます。

その際、選択中の原稿の親ノードとして新たに「用紙」ノードおよび「面」ノードが作成されます。

---

## 7.3 ツリービューメニュー

---

ツリービューで表示される右マウスメニューの構成および、操作について説明します。

---

### 7.3.1 ツリービューメニュー

---

ツリービューのツリーノード外の領域で表示される右マウスメニューのメニュー構成および、操作について説明します。

(1) [全ての構成をツリー表示]

**機能**

- ・ツリービューを「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」の5階層で表示します。

(2) [縮小版ツリー表示]

**機能**

- ・ツリービューを「文書」、「セクション」、「原稿」の3階層で表示します。

---

## 7.3.2 ツリーノードメニュー

---

ツリービューのツリーノードで表示される右マウスメニューのメニュー構成および、操作について説明します。

(1) [切り取り]

「5.2.3.1 切り取り」を参照してください。

(2) [コピー]

「5.2.3.2 コピー」を参照してください。

(3) [貼り付け]

「5.2.3.3 貼り付け」を参照してください。

(4) [削除]

「5.2.3.4 削除」を参照してください。

(5) [元に戻す]

「5.2.2.1 元に戻す」を参照してください。

(6) [やり直し]

「5.2.2.2 やり直し」を参照してください。

(7) [選択]

「5.2.1.1 文書選択」、

「5.2.1.2 セクション選択」、

「5.2.1.3 用紙選択」、

「5.2.1.4 面選択」、

「5.2.1.5 原稿選択」を参照してください。

(8) [挿入]－[改ページ]

「5.2.3.5 改ページ挿入」を参照してください。

(9) [挿入]－[原稿]

「5.2.3.6 原稿挿入」を参照してください。

(10) [挿入]－[用紙]

「5.2.3.7 用紙挿入」を参照してください。

(11) [挿入]－[セクション]

「5.2.3.8 セクション挿入」を参照してください。

(12) [セクション削除]

「5.2.3.9 セクション削除」を参照してください。

(13) [両面]

「5.2.4.1 両面/片面」、

「5.2.4.2 長辺とじ/短辺とじ」を参照してください。

(14) [まとめて1枚]

「5.2.4.3 まとめて1枚のレイアウト(1ページ～32ページ)」、

「5.2.4.4 まとめて1枚のレイアウト(ユーザ定義)」、

「5.2.4.5 まとめて1枚のレイアウト(拡張割り付け)」、

「5.2.4.6 まとめて1枚の割り付け順(定型)」、

「5.2.4.7 まとめて1枚の割り付け順(ユーザ定義)」を参照してください。

(15) [用紙サイズ]

「5.2.4.9 用紙サイズ」を参照してください。

(16) [給紙トレイ]

「5.2.4.10 給紙トレイ」を参照してください。

(17) [ホチキス]

「5.2.4.15 ホチキス」を参照してください。

(18) [パンチ]

「5.2.4.16 パンチ」、

「5.2.4.17 パンチ穴数」を参照してください。

(19) [紙折り]

「5.2.4.18 紙折り」を参照してください。

(20) [小冊子印刷]

「5.2.4.19 小冊子印刷」を参照してください。

(21) [カタログ印刷]

「5.2.4.21 カタログ印刷」を参照してください。

(22) [名前の変更]

「5.2.3.10 名前の変更」を参照してください。

(23) [プロパティ]

「5.2.4.22 プロパティ」を参照してください。

(24) [表示] – [全ての構成をツリー表示]

「7.3.1 ツリービューメニュー」の「(1) [全ての構成をツリー表示]」を参照してください。

(25) [表示] – [縮小版ツリー表示]

「7.3.1 ツリービューメニュー」の「(2) [縮小版ツリー表示]」を参照してください。

---

## 8. 原稿／面／用紙のレイアウト

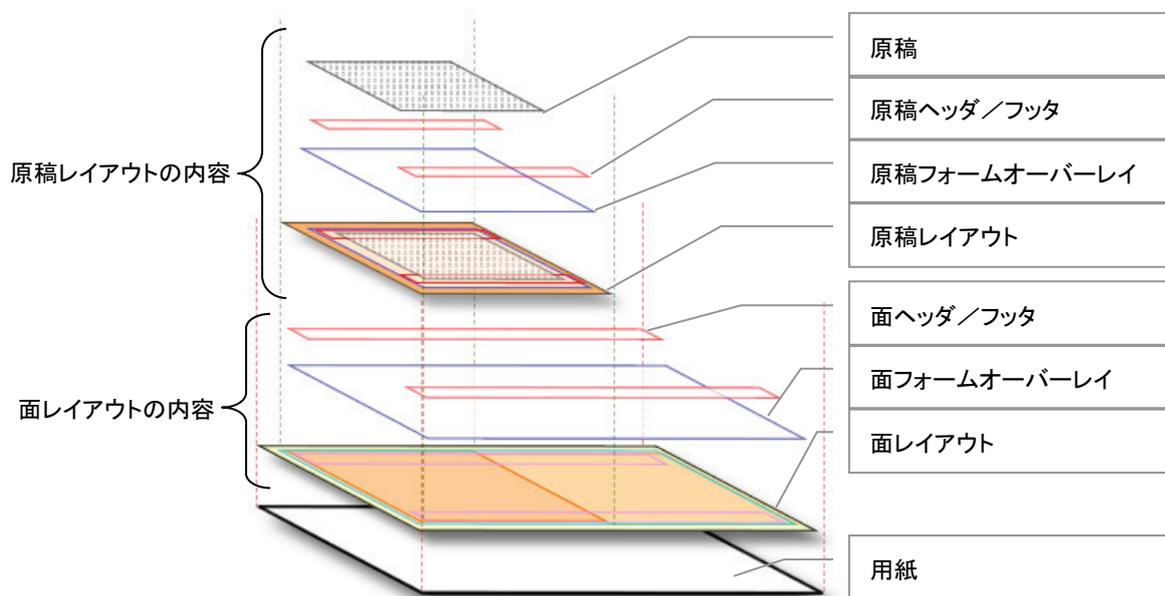
---

DocPoemでは印刷位置の基準として原稿レイアウト・面レイアウト・出力用紙サイズの3種類があります。

それぞれのサイズ／位置を変更することで、印刷結果の細かな調整を行うことができます。

上層に配置される内容は、下層に配置される内容の領域外には描画されません。

図8 原稿／面／用紙のレイアウト



---

### 8.1 原稿レイアウト

---

アプリケーションからDocPoemへの出力結果の1ページ分（元原稿）を表します。

倍率指定により元原稿の拡大／縮小ができます。但し、原稿レイアウトのサイズは変更されず、原稿レイアウトからはみ出す部分は描画されません。

レイアウト内の上下左右に余白を指定できます。

レイアウトのスライドにより描画位置を移動できます。

また、何れの操作を行っても元原稿の縦横比は変更されません。

---

### 8.1.1 原稿余白

---

原稿余白を設定することで、原稿レイアウトと元原稿との間に余白を指定することができます。

---

### 8.1.2 原稿スライド／プリント位置指定

---

原稿スライド／プリント位置指定を設定することで、元原稿の描画原点を移動できます。

---

### 8.1.3 原稿倍率

---

原稿倍率を設定することで、元原稿を常に指定した拡大縮小率で描画することができます。

---

## 8.2 面レイアウト

---

おもて面／うら面を表します。

1つ以上の原稿レイアウトを含み、「まとめて1枚」や「コピー印刷」が指定されている場合は複数の原稿レイアウトを含みます。

レイアウト内の上下左右に余白を指定できます。

レイアウトのスライドにより描画位置を移動できます。

おもて面を基準としたとじしろが指定でき、うら面は両面のとじ方向に合わせてとじしろが自動設定されます。

---

### 8.2.1 面余白

---

面余白を設定することで、用紙の端と面レイアウトとの間に余白を指定することができます。

原稿レイアウトは、面レイアウトの領域内に納められます。

「まとめて1枚」または「コピー印刷」の「割り付け方法」が「2ページ」以上である場合は、面レイアウトの領域を等分割したものが原稿レイアウトとなります。

「コピー印刷」が「サイズ指定」である場合は、面レイアウト領域を上回らない範囲で指定されたサイズの原稿レイアウトをタイル状に配置します。

---

## 8.2.2 面スライド／プリント位置指定

---

面スライド／プリント位置指定を設定することで、原稿レイアウトの描画原点を移動できます。

---

## 8.2.3 とじしろ

---

とじしろを設定することで、面レイアウトをとじ位置と重ならないようにすることができます。

とじしろは両面のとじ方向／用紙方向をもとに、おもて面うら面で矛盾のない位置に自動的に設定されます。

とじしろは面余白の外側に設定され、用紙の端から面レイアウト端までのサイズは「とじしろ」＋「面余白」となります。

---

## 8.3 出力用紙サイズ

---

プリンタに出力する際の物理的な用紙を表します。

通常、用紙サイズと面レイアウトのサイズは一致しますが、「小冊子印刷」または「カタログ印刷」が指定されている場合は、出力用紙の片面を半分に区切った各々が面レイアウトとなります。

面レイアウトのとじしろや余白は、用紙サイズをもとに計算されます。

出力用紙サイズが「原稿サイズと同じ」と指定されている場合は、一つ目の原稿レイアウトの元原稿サイズをもとに用紙サイズが決定されます。

出力用紙の向きは、一つ目の原稿レイアウトの向きにより決定されます。

---

---

## 9. [印刷属性] ダイアログ

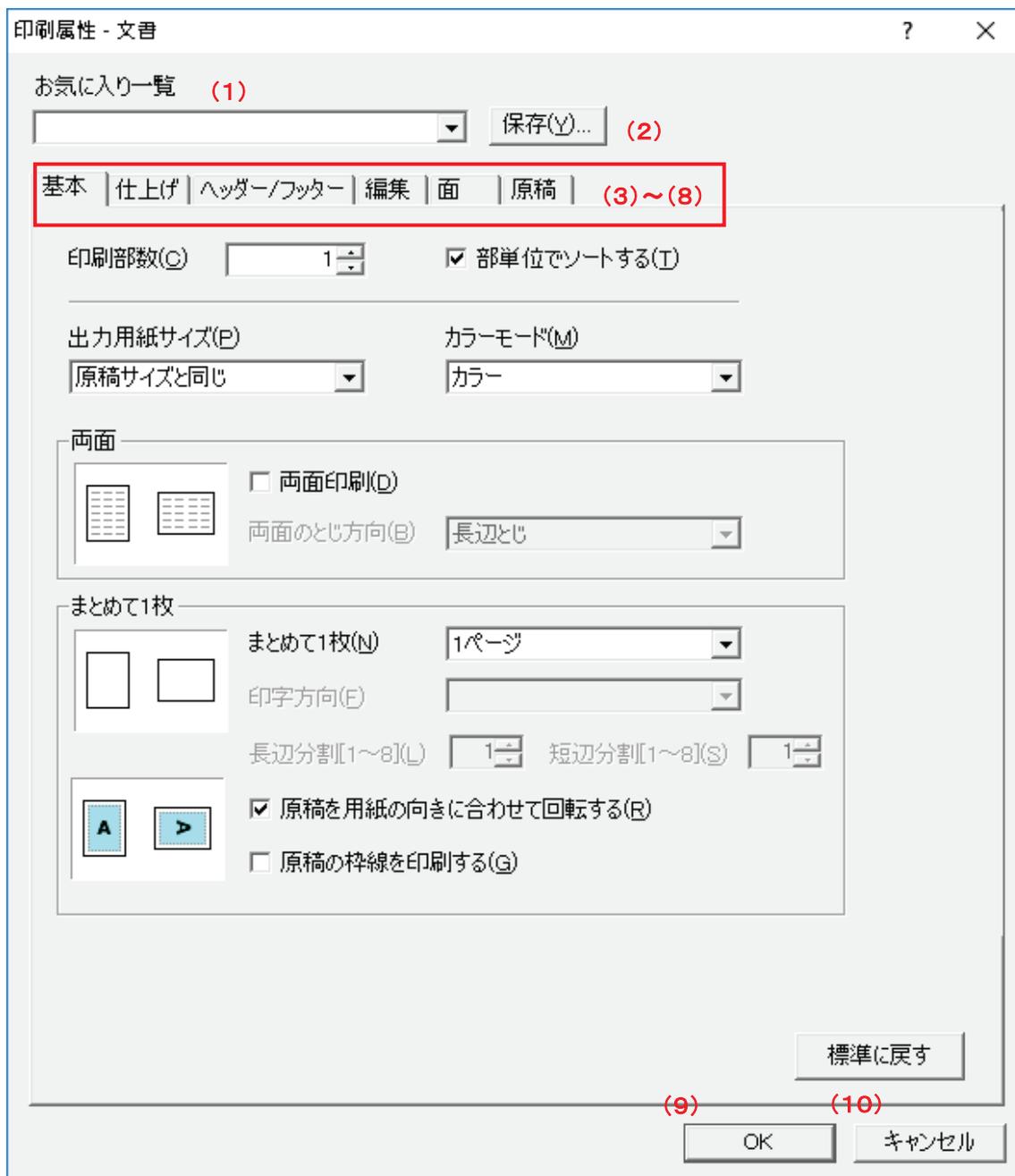
---

---

[印刷属性] ダイアログは、DocPoemに取り込んだ文書の印刷属性を変更するためのダイアログです。「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」の選択単位によって設定可能な項目が異なります。また、上位の選択単位は下位の選択単位で設定可能な項目を包含します。

ここでは、全ての項目が変更可能な「文書」での [印刷属性] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 9 [印刷属性]ダイアログ



(1) [お気に入り一覧]コンボボックス

機能

- ・[お気に入り]で登録されている項目を一覧表示します。
- ・良く使用する印刷属性の各設定値をあらかじめ[お気に入り]として登録し、メニューバーや[お気に入り一覧]から登録した項目を選択することで、簡単に印刷属性が設定できます。

操作

- ・一覧から設定したい[お気に入り]を選択してください。
- ・基本設定として、[標準]を提供しています。

(2) [保存]ボタン

機能

- ・現在の印刷属性の各設定内容を[お気に入り]に登録します。

操作

- ・[お気に入りの作成]ダイアログを表示します。

(3) [基本]タブ

(4) [仕上げ]タブ

(5) [ヘッダー／フッター]タブ

(6) [編集]タブ

(7) [面]タブ

(8) [原稿]タブ

(9) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(10) [キャンセル]ボタン

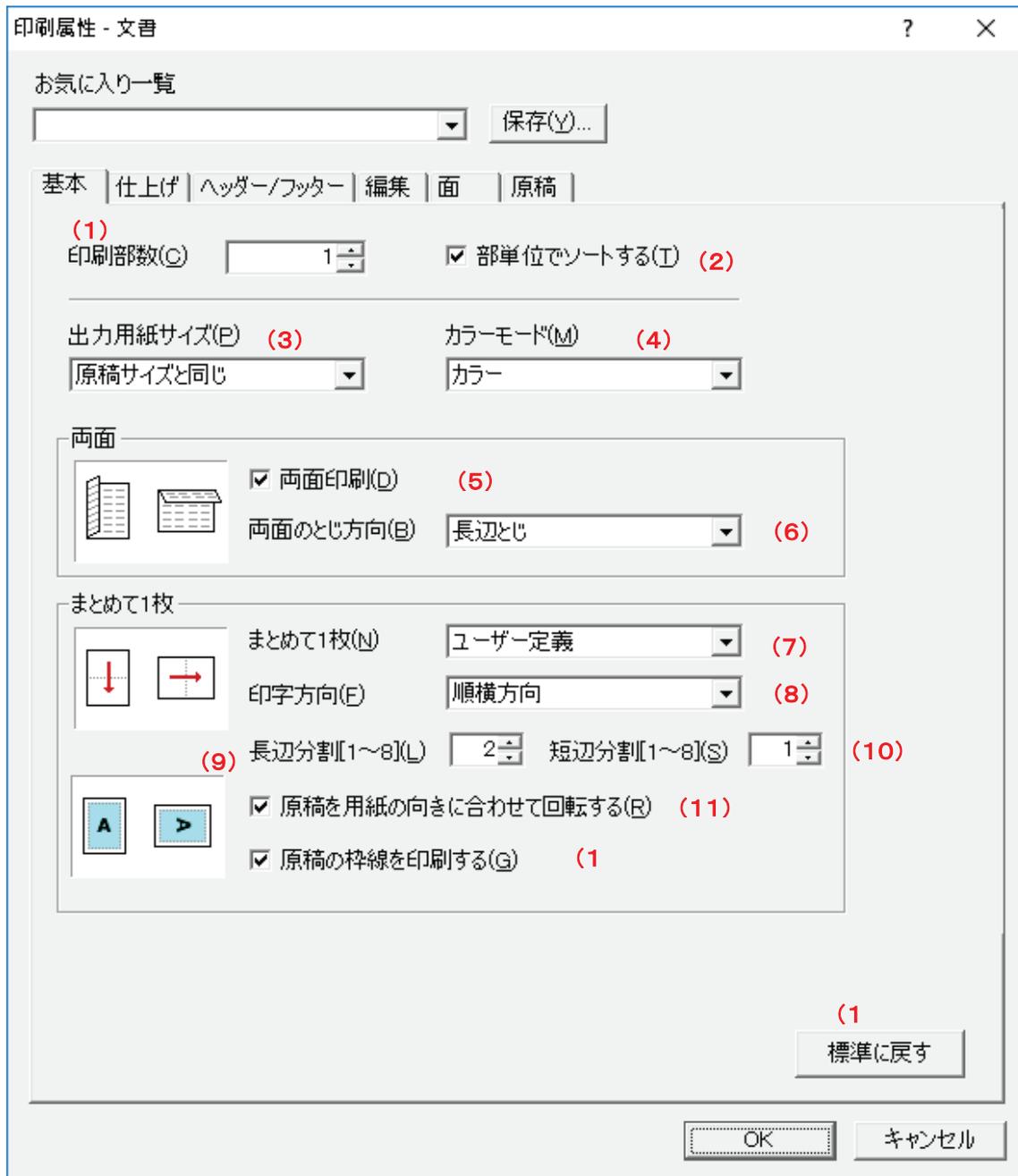
機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

## 9.1 [基本] タブ

[印刷属性] ダイアログ [基本] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.1 [基本]タブ



(1) [印刷部数]入力ボックス

機能

- ・印刷部数を指定します。

操作

- ・1～999の半角数字で指定します。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピントタンで指定します。
- ・初期値は、“1”部になっています。

(2) [部単位でソートする]チェックボックス

機能

- ・複数ページからなる文書を部単位でソートして印刷するかどうかを指定します。

操作

- ・部単位でソートして印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“ソートする”(ON)になっています。

(3) [出力用紙サイズ]コンボボックス

機能

- ・印刷で使用する用紙サイズを選択します。

操作

- ・以下の出力用紙サイズが選択できます。
  - 原稿サイズと同じ
  - A3
  - A4
  - A5
  - B4
  - B5
  - レター
  - リーガル
  - ガバメントリーガル
  - ダブルレター
- ・初期値は、[原稿サイズと同じ]になっています。

(4) [カラーモード]コンボボックス

機能

- ・カラーモードを選択します。

- ・[カラー]を選択した場合、カラー原稿は、カラーイメージで印刷を指示します。
- ・[モノクロ]を選択した場合、カラー原稿を白黒に変換し印刷を指示します。

#### 操作

- ・以下のカラーモードが選択できます。
  - カラー
  - モノクロ
- ・初期値は、[カラー]になっています。

### (5) [両面印刷]チェックボックス

#### 機能

- ・両面印刷を行うかどうかを指定します。

#### 操作

- ・両面印刷を行う場合にチェックします。
- ・初期値は、“両面印刷しない”(OFF)になっています。

### (6) [両面のとじ方向]コンボボックス

#### 機能

- ・両面印刷には、[長辺とじ]、[短辺とじ]があります。[両面印刷する]チェックボックスを選択した場合に、とじる辺に合わせて、どちらかを選択します。
- ・[長辺とじ]は用紙の長辺、[短辺とじ]は用紙の短辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するように印刷されます。

#### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 長辺とじ
  - 短辺とじ
- ・初期値は、[長辺とじ]になっています。

### (7) [まとめて 1 枚]コンボボックス

#### 機能

- ・連続する原稿を1つの用紙にまとめて印刷するかどうか、およびまとめて印刷する枚数を選択します。
- ・[1 ページ]以外を選択した場合、[印字方向]コンボボックスから用紙の割り付け順序を指定できます。
- ・[ユーザー定義]を選択した場合、[長辺分割]、または[短辺分割]入力ボックスから、まとめて印刷する枚数を最大 64 ページまで任意に指定することができます。

#### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 1ページ
  - 2ページ
  - 4ページ
  - 8ページ
  - 16ページ
  - 32ページ
  - ユーザー定義
- ・初期値は、[1ページ]になっています。

#### (8) [印字方向]コンボボックス

##### 機能

- ・[まとめて 1 枚]コンボボックスにおいて、[1 ページ]以外を選択した場合、用紙の割り付け順序を選択します。
- ・この項目が、空白となっている場合、印字方向を指定しないことを意味します。この場合、レイアウトイメージ上の配置が有効となります。

##### 操作

- ・以下の印字方向が選択できます。
  - 印字方向を指定しない(空白となります。)
  - 順横方向
  - 順縦方向
  - 逆横方向
  - 逆縦方向
- ・初期値は、[印字方向を指定しない](空白)になっています。

#### (9) [長辺分割]入力ボックス

##### 機能

- ・[まとめて 1 枚]コンボボックスにおいて、[ユーザー定義]を選択した場合、まとめて印刷する枚数を指定します。
- ・用紙の長辺を軸に分割する数を指定します。

##### 操作

- ・1～8の半角数字で指定します。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンのボタンで指定します。
- ・初期値は、“1”になっています。

(10) [短辺分割]入力ボックス

機能

- ・[まとめて 1 枚]コンボボックスにおいて、[ユーザー定義]を選択した場合、まとめて印刷する枚数を指定します。
- ・用紙の短辺を軸に分割する数を指定します。

操作

- ・1～8の半角数字で指定します。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンドットで指定します。
- ・初期値は、“1”になっています。

(11) [原稿を用紙の向きに合わせて回転する]チェックボックス

機能

- ・連続する原稿を1つの用紙にまとめて印刷する場合、それぞれの原稿を用紙の向きに合わせて回転するかどうかを指定します。

操作

- ・用紙の向きに合わせて自動回転する場合にチェックします。
- ・初期値は、“回転する”(ON)になっています。

(12) [原稿の枠線を印刷する]チェックボックス

機能

- ・原稿の境界線(枠線)を印刷するかどうかを指定します。

操作

- ・枠線を印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“付けない”(OFF)になっています。

(13) [標準に戻す]ボタン

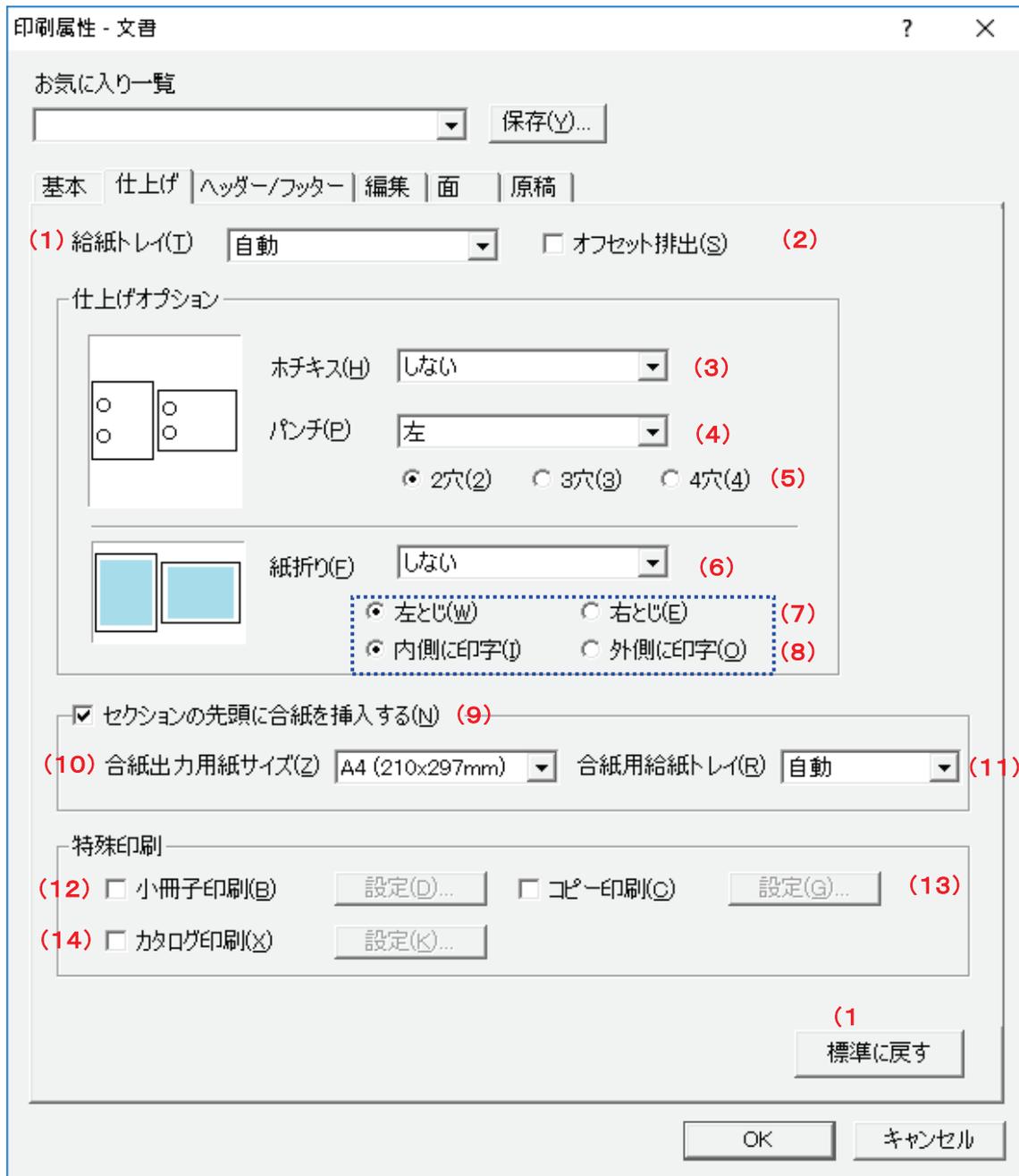
機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

## 9.2 [仕上げ] タブ

[印刷属性] ダイアログ [仕上げ] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.2 [仕上げ]タブ



(1) [給紙トレイ]コンボボックス

機能

- ・用紙の給紙トレイを選択します。

操作

- ・以下の給紙トレイが選択できます。

自動

トレイ1

トレイ2

トレイ3

トレイ4

トレイ5

トレイ6

トレイ7

手差しトレイ

- ・初期値は、[自動]になっています。

(2) [オフセット排出]チェックボックス

機能

- ・オフセット排出を行うかどうかを指定します。

操作

- ・部単位でソートして印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“オフセット排出しない”(OFF)になっています。

(3) [ホチキス]コンボボックス

機能

- ・ホチキス止めの位置を選択します。

操作

- ・以下の指定が選択できます。

しない

左2カ所

左上1カ所

上2カ所

右上1カ所

右2カ所

右下1カ所

下2カ所

左下1か所

中とじ

- ・初期値は、[しない]になっています。

#### (4) [パンチ]コンボボックス

##### 機能

- ・パンチの穴あけ位置を選択します。

##### 操作

- ・以下の指定が選択できます。

しない

左

上

右

下

- ・初期値は、[しない]になっています。

#### (5) [パンチ穴]ラジオボタン

##### 機能

- ・[パンチ]コンボボックスにてパンチの穴あけ位置を選択した場合、パンチ穴の数を指定します。
- ・[2穴]、[3穴]、[4穴]が選択できます。

##### 操作

- ・[パンチ]コンボボックスにて[しない]以外を選択した場合に表示します。
- ・初期値は、[2穴]になっています。

#### (6) [紙折り]コンボボックス

##### 機能

- ・紙の折り方を選択します。

##### 操作

- ・以下の指定が選択できます。

しない

Z折り

外三つ折り

内三つ折り

二つ折り

- ・初期値は、[しない]になっています。

(7) [とじ位置]ラジオボタン

機能

- ・ [紙折り]コンボボックスにて[Z折り]を選択した場合、とじ位置を指定します。
- ・ [左とじ]を選択した場合、とじ位置が左側になるように紙を折ります。
- ・ [右とじ]を選択した場合、とじ位置が右側になるように紙を折ります。

操作

- ・ [紙折り]コンボボックスにて[Z折り]を選択した場合に表示します。
- ・ 初期値は、[左とじ]になっています。

(8) [印刷面]ラジオボタン

機能

- ・ [紙折り]コンボボックスにて[外三つ折り]、[内三つ折り]、[二つ折り]を選択した場合、印刷面を指定します。
- ・ [内側に印字]を選択した場合、印刷面が内側になるように紙を折ります。
- ・ [外側に印字]を選択した場合、印刷面が外側になるように紙を折ります。

操作

- ・ [紙折り]コンボボックスにて[外三つ折り]、[内三つ折り]、[二つ折り]を選択した場合に表示します。
- ・ 初期値は、[内側に印字]になっています。

(9) [セクションの先頭に合紙を挿入する]チェックボックス

機能

- ・ 各セクションの先頭に合紙(白紙)を1枚自動挿入するかどうかを指定します。
- ・ 合紙の用紙サイズは[合紙出力用紙サイズ]コンボボックスで選択します。また、合紙用の給紙トレイは[合紙用給紙トレイ]コンボボックスで選択します。

操作

- ・ 各セクションの先頭に合紙(白紙)を1枚自動挿入する場合にチェックします。
- ・ 初期値は、“合紙を挿入しない”(OFF)になっています。

(10) [合紙出力用紙サイズ]コンボボックス

機能

- ・ [セクションの先頭に合紙を挿入する]チェックボックスを選択した場合に、合紙で使用する用紙サイズを選択します。

操作

- ・ 以下の出力サイズが選択できます。

A3

A4  
A5  
B4  
B5  
レター  
リーガル  
ガバメントリーガル  
ダブルレター

・初期値は、[A4]になっています。

#### (11) [合紙用給紙トレイ]コンボボックス

##### 機能

・[セクションの先頭に合紙を挿入する]チェックボックスを選択した場合に、合紙の給紙トレイを選択します。

##### 操作

・以下の給紙トレイが選択できます。

自動  
トレイ1  
トレイ2  
トレイ3  
トレイ4  
トレイ5  
トレイ6  
トレイ7  
手差しトレイ

・初期値は、[自動]になっています。

#### (12) [小冊子印刷]チェックボックス、[設定]ボタン

##### 機能

・小冊子印刷を行うかどうかを指定します。  
・“する”(ON)を選択すると、用紙を重ね合わせ、中とじ二つ折りの冊子(小冊子)になるように印刷します。  
・[ホチキス]—[中とじ]と組み合わせた場合、冊子の中央二つ折り部分にホチキス止めができます。

##### 操作

・[設定]ボタンを押すと[小冊子印刷]ダイアログを表示します。小冊子印刷に関する各種設

定を行うことができます。

- ・[コピー印刷]、[カタログ印刷]と同時に指定することはできません。
- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

#### (13) [コピー印刷]チェックボックス、[設定]ボタン

##### 機能

- ・コピー印刷を行うかどうかを指定します。
- ・“する”(ON)を選択すると、原稿を指定した回数分繰り返して印刷します。

##### 操作

- ・[設定]ボタンを押すと[コピー印刷]ダイアログを表示します。コピー印刷に関する各種設定を行うことができます。
- ・[小冊子印刷]、[カタログ印刷]と同時に指定することはできません。
- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

#### (14) [カタログ印刷]チェックボックス、[設定]ボタン

##### 機能

- ・カタログ印刷を行うかどうかを指定します。
- ・“する”(ON)を選択すると、元の原稿を中央で2つの原稿に分割し、カタログをめくるようなイメージで分割した各原稿を用紙に割り付けて印刷します。
- ・[紙折り]－[二つ折り]と組み合わせた場合、中とじ二つ折りの冊子で印刷できます。
- ・[ホチキス]－[中とじ]と組み合わせた場合、冊子の中央二つ折り部分にホチキス止めができます。

##### 操作

- ・[設定]ボタンを押すと[カタログ印刷]ダイアログを表示します。カタログ印刷に関する各種設定を行うことができます。
- ・[小冊子印刷]、[コピー印刷]と同時に指定することはできません。
- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

#### (15) [標準に戻す]ボタン

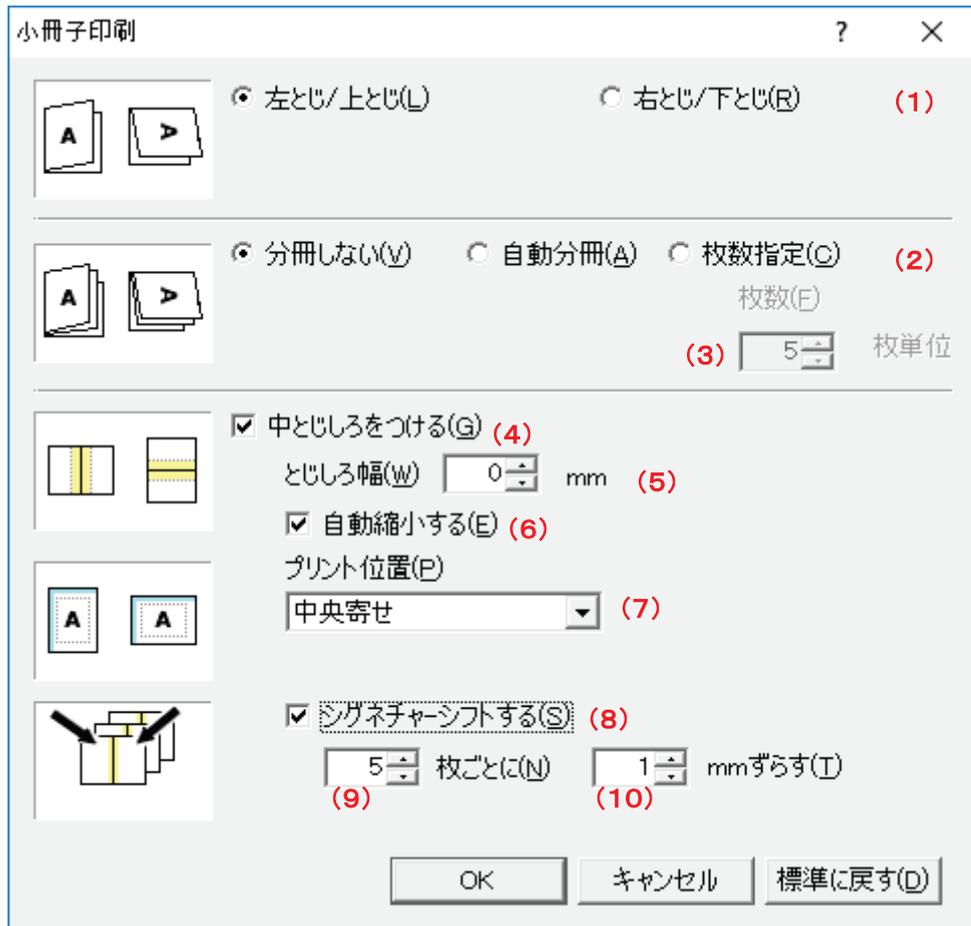
##### 機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

## 9.2.1 [小冊子印刷] ダイアログ

[小冊子印刷] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.2.1 [仕上げ]タブ-[小冊子印刷]ダイアログ



(1) [左とじ/上とじ]、[右とじ/下とじ]ラジオボタン

### 機能

- ・小冊子のとじ位置を指定します。
- ・[左とじ/上とじ]を選択した場合、原稿の向きがたてのときは左とじ(右開き)、よこのときは上とじ(下開き)になるようにページを割り付けます。
- ・[右とじ/下とじ]を選択した場合、原稿の向きがたてのときは右とじ(左開き)、よこのときは下とじ(上開き)になるようにページを割り付けます。

### 操作

- ・初期値は、[左とじ/上とじ]になっています。

(2) [分冊しない]、[自動分冊]、[枚数指定]ラジオボタン

機能

- ・小冊子の分冊方法を指定します。
- ・[分冊しない]を選択した場合、分冊せずに、印刷する用紙をすべて重ね合わせて中央で二つ折りにして、中とじ冊子(小冊子)になるように印刷します。
- ・[自動分冊]を選択した場合、二つ折りにする用紙の枚数の限度を15枚とし、分冊した枚数が均等になるように印刷します。
- ・[枚数指定]を選択した場合、指定した枚数ごとに、小冊子になるように印刷します。

操作

- ・初期値は、[分冊しない]になっています。

(3) [枚数]入力ボックス

機能

- ・[枚数指定]ラジオボタンを選択した場合に、二つ折りにする枚数を指定します。

操作

- ・1～50の半角数字で指定します。この項目は省略できません。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンドットで指定します。
- ・初期値は、“5”枚になっています。

(4) [中とじしろをつける]チェックボックス

機能

- ・チェックすると、二つ折りにしたとき、中とじ部分の印字が見えにくくなるのを防ぐために、用紙の中央に中とじしろを付けます。

操作

- ・中とじしろをつけて印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“付けない”(OFF)になっています。

(5) [とじしろ幅]入力ボックス

機能

- ・[中とじしろをつける]チェックボックスを選択した場合に、用紙の中央からのとじしろ幅を指定します。

操作

- ・0～50の半角数字で指定します。1ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンドットで指定します。

- ・初期値は、“0”ミリになっています。

#### (6) [自動縮小する]チェックボックス

##### 機能

- ・ [中とじしろをつける]チェックボックスを選択した場合に、中とじしろを付けて狭くなった印字領域内に印刷レイアウトが収まるように自動的に縮小するかどうかを指定します。
- ・ “しない”(OFF)を選択すると、印刷レイアウトの一部が印字領域内に収まらず欠けることがあります。

##### 操作

- ・ 印字領域内に印刷レイアウトが収まるように自動的に縮小して印刷する場合にチェックします。
- ・ 初期値は、“縮小する”(ON)になっています。

#### (7) [プリント位置]コンボボックス

##### 機能

- ・ [自動縮小する]チェックボックスを選択した場合に、用紙に対する自動縮小後の配置を指定します。
- ・ [上寄せ／右寄せ]を選択した場合、用紙の上辺、または右辺に寄せて配置します。
- ・ [下寄せ／左寄せ]を選択した場合、用紙の下辺、または左辺に寄せて配置します。
- ・ [中央寄せ]を選択した場合、用紙の中央に寄せて配置します。

##### 操作

- ・ 初期値は、[中央寄せ]になっています。

#### (8) [シグネチャーシフトする]チェックボックス

##### 機能

- ・ [中とじしろをつける]チェックボックスを選択した場合に、重なった用紙を二つ折りにしたとき、折る枚数が多いと中とじしろを付けても印字が見えにくくなるのを防ぐために、シグネチャーシフトします。
- ・ “しない”(OFF)を選択すると、印刷レイアウトの一部が印字領域内に収まらず欠けることがあります。

##### 操作

- ・ シグネチャーシフトして印刷する場合にチェックします。
- ・ 初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(9) シグネチャーシフトする[枚数]入力ボックス

機能

- ・[シグネチャーシフトする]チェックボックスを選択した場合に、シグネチャーシフトする枚数を指定します。

操作

- ・1～50の半角数字で指定します。1枚単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“5”枚になっています。

(10) シグネチャーシフトの[幅]入力ボックス

機能

- ・[中とじしろをつける]チェックボックスを選択した場合に、シグネチャーシフトの幅を指定します。

操作

- ・0～50の半角数字で指定します。1ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“1”ミリになっています。

(11) [標準に戻す]ボタン

機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

## 9.2.2 [コピー印刷] ダイアログ

[コピー印刷] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.2.2 [仕上げ]タブ-[コピー印刷]ダイアログ



### (1) [コピー枚数]入力ボックス

#### 機能

- ・コピー印刷する1枚あたりのコピー数を指定します。

#### 操作

- ・1～9999の半角数字で指定します。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“1”枚になっています。

### (2) [割り付け方法]コンボボックス

#### 機能

- ・コピーする原稿を1つの用紙にまとめて印刷するかどうか、およびまとめて印刷する枚数を選択します。
- ・[ユーザー定義]を選択した場合、[長辺分割]、または[短辺分割]入力ボックスから、まとめて印刷する枚数を最大 64 ページまで任意に指定することができます。

#### 操作

- ・以下の指定が選択できます。

1ページ

2ページ

4ページ

8ページ

16ページ

32ページ

ユーザー定義

- ・初期値は、[1ページ]になっています。

### (3) [長辺分割]入力ボックス

#### 機能

- ・[割り付け方法]コンボボックスにおいて、[ユーザー定義]を選択した場合、まとめて印刷する枚数を指定します。
- ・用紙の長辺を軸に分割する数を指定します。

#### 操作

- ・1～8の半角数字で指定します。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンのボタンで指定します。
- ・初期値は、“1”になっています。

### (4) [短辺分割]入力ボックス

#### 機能

- ・[割り付け方法]コンボボックスにおいて、[ユーザー定義]を選択した場合、まとめて印刷する枚数を指定します。
- ・用紙の短辺を軸に分割する数を指定します。

#### 操作

- ・1～8の半角数字で指定します。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンのボタンで指定します。
- ・初期値は、“1”になっています。

### (5) [改面する]チェックボックス

#### 機能

- ・コピーする原稿ごとに新しい面に印刷するかどうかを指定します。

#### 操作

- ・改面して印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(6) [サイズ指定する]チェックボックス

機能

- ・コピーする1枚あたりの原稿のサイズを指定します。

操作

- ・サイズを指定して印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(7) [たて]入力ボックス

機能

- ・[サイズ指定する]チェックボックスを選択した場合に、用紙のたての幅を指定します。

操作

- ・50.00～1000.00の半角数字で指定します。0.01ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“50.00”ミリになっています。

(8) [よこ]入力ボックス

機能

- ・[サイズ指定する]チェックボックスを選択した場合に、用紙のよこの幅を指定します。

操作

- ・50.00～1000.00の半角数字で指定します。0.01ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“50.00”ミリになっています。

(9) [線の種類]コンボボックス

機能

- ・原稿の境界線(枠線)を印刷するかどうかを指定します。

操作

- ・以下の線種が選択できます。

線なし

実線

点線

### 頂点マーク

- ・初期値は、“線なし”になっています。

### (10) [標準に戻す]ボタン

#### 機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

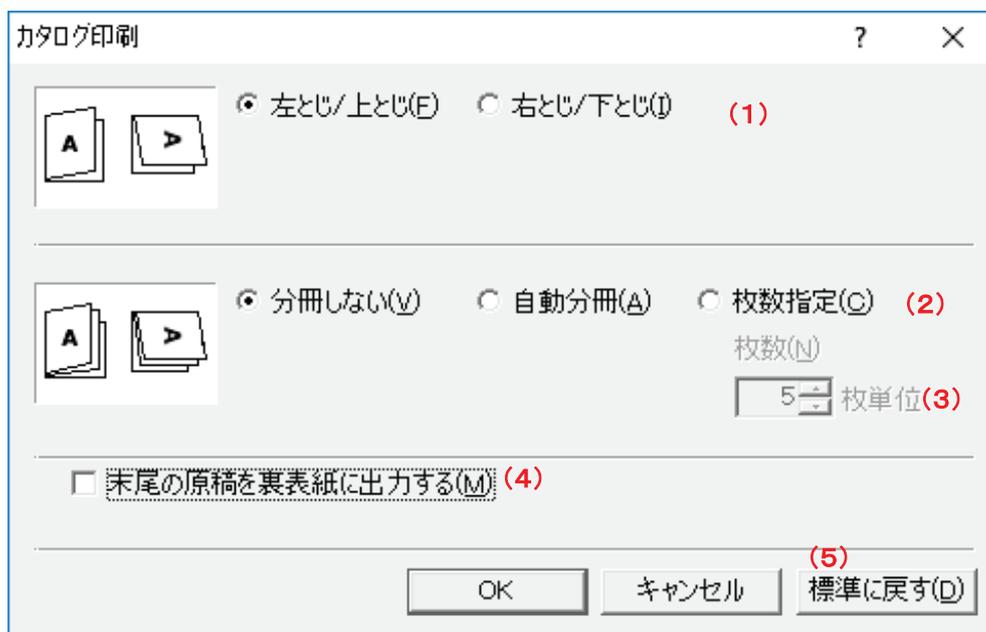
---

## 9.2.3 [カタログ印刷] ダイアログ

---

[カタログ印刷] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.2.3 [仕上げ]タブー[カタログ]ダイアログ



### (1) [左とじ/上とじ]、[右とじ/下とじ]ラジオボタン

#### 機能

- ・小冊子のとじ位置を指定します。
- ・[左とじ/上とじ]を選択した場合、原稿の向きがたてのときは左とじ(右開き)、よこのときは上とじ(下開き)になるようにページを割り付けます。
- ・[右とじ/下とじ]を選択した場合、原稿の向きがたてのときは右とじ(左開き)、よこのときは下とじ(上開き)になるようにページを割り付けます。

#### 操作

- ・初期値は、[左とじ/上とじ]になっています。

(2) [分冊しない]、[自動分冊]、[枚数指定]ラジオボタン

機能

- ・小冊子の分冊方法を指定します。
- ・[分冊しない]を選択した場合、分冊せずに、印刷する用紙をすべて重ね合わせて中央で二つ折りにして、中とじ冊子(小冊子)になるように印刷します。
- ・[自動分冊]を選択した場合、二つ折りにする用紙の枚数の限度を15枚とし、分冊した枚数が均等になるように印刷します。
- ・[枚数指定]を選択した場合、指定した枚数ごとに、小冊子になるように印刷します。

操作

- ・初期値は、[分冊しない]になっています。

(3) [枚数]入力ボックス

機能

- ・[枚数指定]ラジオボタンを選択した場合に、二つ折りにする枚数を指定します。

操作

- ・1～50の半角数字で指定します。この項目は省略できません。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンドットで指定します。
- ・初期値は、“5”枚単位になっています。

(4) [末尾の原稿を裏表紙に出力する]チェックボックス

機能

- ・裏表紙が白紙になるのを防ぐために、自動で末尾の原稿を裏表紙に印刷するかどうかを指定します。

操作

- ・末尾の原稿を裏表紙に印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“末尾の原稿を裏表紙に出力する”(ON)になっています。

(5) [標準に戻す]ボタン

機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

## 9.3 [ヘッダー/フッター] タブ

[印刷属性] ダイアログ [ヘッダー/フッター] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.3 [ヘッダー/フッター]タブ



(1)、(2)、(3)[原稿ヘッダー]入力ボックス

(4)、(5)、(6)[原稿フッター]入力ボックス

機能

- ・原稿に印刷するヘッダー、およびフッターの文字列を指定します。
- ・印刷位置として左側、中央、および右側に分けて指定することができます。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大半角で127文字の半角、または全角文字が指定可能です。
- ・文字書式を設定する場合、入力ボックスの文字を選択し、[フォント]ボタンを押します。
- ・背景色を設定する場合、入力ボックスにカーソルを移動し、[背景色]ボタンを押します。
- ・入力ボックスにカーソルを移動し、[ユーザー名]ボタン、[マシン名]ボタン、[日付]ボタン、[時刻]ボタン、または[ページ番号]ボタンを押すと、該当する項目を挿入します。

(7)原稿ヘッダー／フッター[位置指定]ボタン

機能

- ・ヘッダー、およびフッターの印字位置を微調整します。

操作

- ・[位置指定]ダイアログを表示します。

(8)[フォント]ボタン

機能

- ・選択した文字のフォント情報を指定します。

操作

- ・[フォント]ダイアログを表示します。

(9)[背景色]ボタン

機能

- ・背景色を指定します。

操作

- ・[背景色の設定]ダイアログを表示します。

(10)[ユーザー名]ボタン

機能

- ・入力ボックスのカーソル位置にログオンユーザー名を挿入します。

操作

- ・ボタンを押すと、入力ボックスに“&[User]”の文字列を表示します。

(11) [マシン名] ボタン

機能

- ・入力ボックスのカーソル位置にマシン名を挿入します。

操作

- ・ボタンを押すと、入力ボックスに “&[PCName]” の文字列を表示します。

(12) [日付] ボタン

機能

- ・入力ボックスのカーソル位置に日付を挿入します。

操作

- ・ボタンを押すと、入力ボックスに “&[Ldate]” の文字列を表示します。

(13) [時刻] ボタン

機能

- ・入力ボックスのカーソル位置に時刻を挿入します。

操作

- ・ボタンを押すと、入力ボックスに “&[Time]” の文字列を表示します。

(14) [ページ番号] ボタン

機能

- ・入力ボックスのカーソル位置にページ番号を挿入します。

操作

- ・ボタンを押すと、入力ボックスに “&[Page]” の文字列を表示します。

(15)、(16)、(17) [面ヘッダー] 入力ボックス

(18)、(19)、(20) [面フッター] 入力ボックス

機能

- ・用紙の表面、または裏面に印刷するヘッダー、およびフッターの文字列を指定します。
- ・印刷位置として左側、中央、および右側に分けて指定することができます。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大半角で127文字の半角、または全角文字が指定可能です。
- ・文字書式を設定する場合、入力ボックスの文字を選択し、[フォント] ボタンを押します。
- ・背景色を設定する場合、入力ボックスにカーソルを移動し、[背景色] ボタンを押します。
- ・入力ボックスにカーソルを移動し、[ユーザー名] ボタン、[マシン名] ボタン、[日付] ボタン、[時

刻]ボタン、または[ページ番号]ボタンを押すと、該当する項目を挿入します。

#### (21) 面ヘッダー／フッター[位置指定]ボタン

##### 機能

- ・ヘッダー、およびフッターの印字位置を微調整します。

##### 操作

- ・[ヘッダー／フッター—位置指定]ダイアログを表示します。

#### (22) [標準に戻す]ボタン

##### 機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

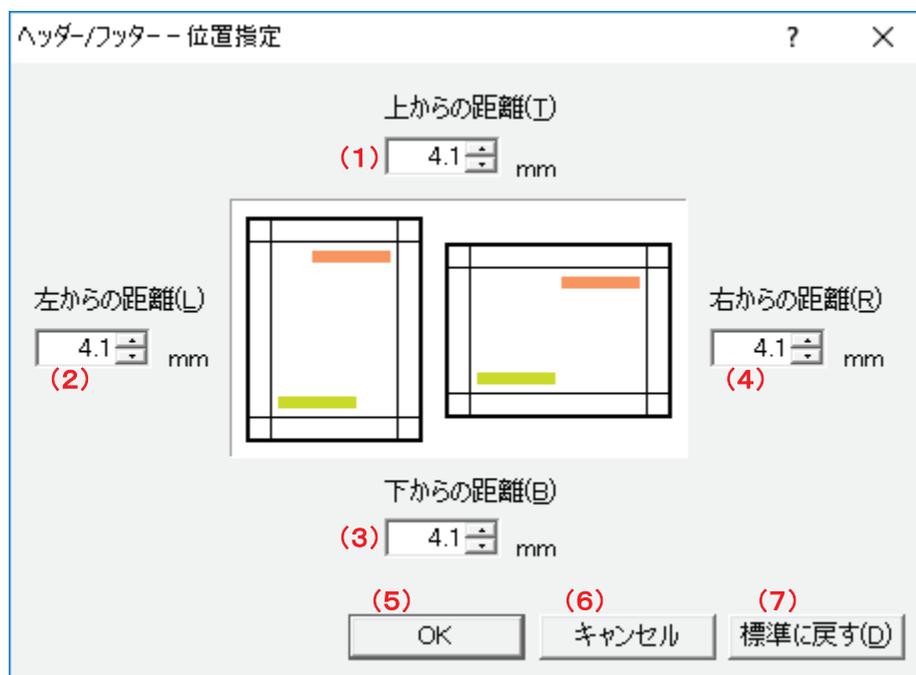
---

### 9.3.1 [ヘッダー／フッター—位置指定] ダイアログ

---

[ヘッダー／フッター—位置指定] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.3.1 [ヘッダー／フッター]タブ—[ヘッダー／フッター—位置指定]ダイアログ



(1)、(2)、(3)、(4) [印刷位置]入力ボックス

##### 機能

- ・ヘッダー／フッターの印字位置を指定します。
- ・面、または原稿の上端、左端、下端、右端からのそれぞれの距離で指定します。
- ・ヘッダーの印字位置は、上端、左端、右端の値で決定します。
- ・フッターの印字位置は、下端、左端、右端の値で決定します。

#### 操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンプタンで指定します。
- ・初期値は、“4.1”ミリになっています。

#### (5) [OK] ボタン

##### 機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

#### (6) [キャンセル] ボタン

##### 機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

#### (7) [標準に戻す] ボタン

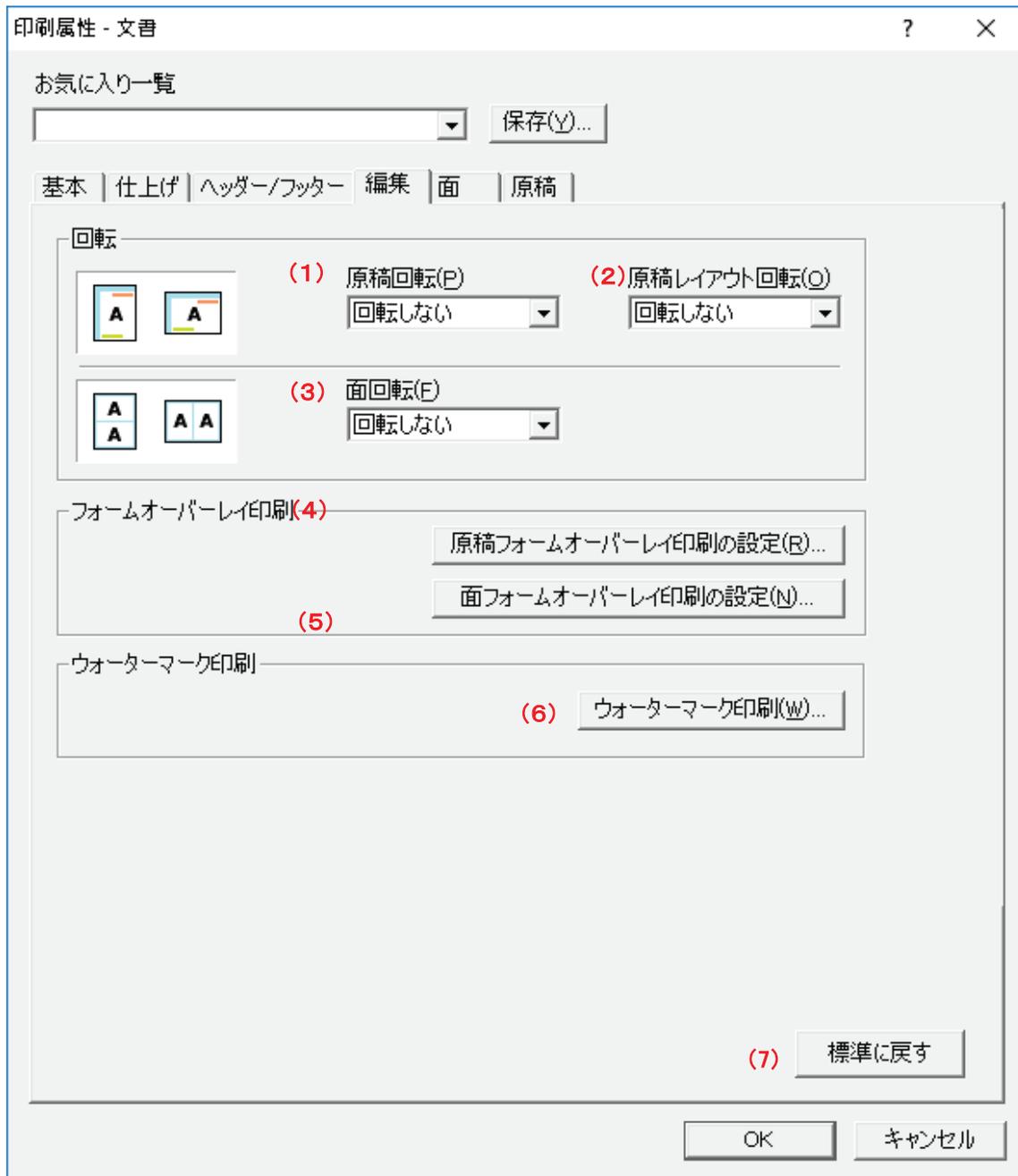
##### 機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

## 9.4 [編集] タブ

[印刷属性] ダイアログ [編集] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.4 [編集]タブ



(1) [原稿回転]コンボボックス

機能

- ・原稿の向きを回転します。
- ・向きは90度ずつ回転できます。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 回転しない
  - 右90度
  - 180度
  - 左90度
- ・初期値は、[回転しない]になっています。

(2) [原稿レイアウト回転]コンボボックス

機能

- ・ヘッダー／フッター、フォームオーバーレイ、余白などの原稿に対する印刷レイアウトの向き(配置)を回転します。
- ・原稿の向きは回転の対象としません。原稿の向きを回転するには、[原稿回転]コンボボックスで指定します。
- ・向きは90度ずつ回転できます。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 回転しない
  - 右90度
  - 180度
  - 左90度
- ・初期値は、[回転しない]になっています。

(3) [面回転]コンボボックス

機能

- ・用紙の表面、または裏面の向きを回転します。
- ・向きは90度ずつ回転できます。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 回転しない
  - 右90度
  - 180度

#### 左90度

- ・初期値は、[回転しない]になっています。

#### (4) [原稿フォームオーバーレイ印刷の設定] ボタン

##### 機能

- ・原稿に対するフォームオーバーレイ印刷の設定を行います。

##### 操作

- ・[フォームオーバーレイ印刷]ダイアログを表示します。

#### (5) [面フォームオーバーレイ印刷の設定] ボタン

##### 機能

- ・用紙の表面、または裏面に対するフォームオーバーレイ印刷の設定を行います。

##### 操作

- ・[フォームオーバーレイ印刷]ダイアログを表示します。

#### (6) [ウォーターマーク印刷の設定] ボタン

##### 機能

- ・用紙の表面、または裏面に対するウォーターマーク印刷の設定を行います。

##### 操作

- ・[ウォーターマーク印刷]ダイアログを表示します。

#### (7) [標準に戻す] ボタン

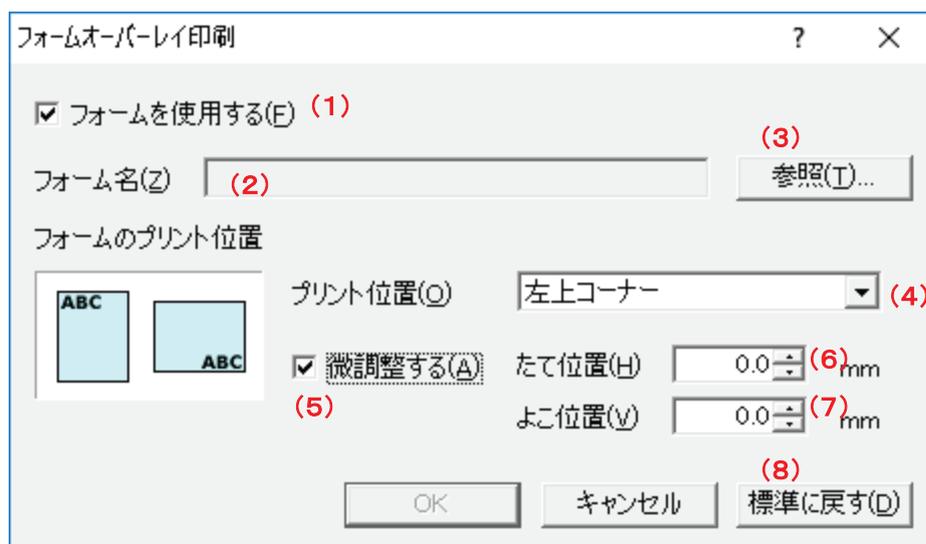
##### 機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

## 9.4.1 [フォームオーバーレイ印刷] ダイアログ

[フォームオーバーレイ印刷] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.4.1 [編集]タブ-[フォームオーバーレイ印刷]ダイアログ



### (1) [フォームを使用する]チェックボックス

#### 機能

- ・フォームオーバーレイ印刷を行うかどうかを指定します。

#### 操作

- ・フォームオーバーレイ印刷を行う場合にチェックします。
- ・初期値は、“フォームを使用しない”(OFF)になっています。

### (2) [フォーム名]エディットボックス

#### 機能

- ・使用するフォームの名前を表示します。

### (3) [参照]ボタン

#### 機能

- ・使用するフォームを選択します。

#### 操作

- ・[フォームファイルを選択]ダイアログを表示します。

### (4) [プリント位置]コンボボックス

#### 機能

- ・フォームの配置(コーナー、または中央)を指定します。
- ・[左上コーナー]、[右上コーナー]、[左下コーナー]、[右下コーナー]を選択した場合、各コーナーに寄せて配置します。
- ・[中央寄せ]を選択した場合、中央に寄せて配置します。

#### 操作

- ・初期値は、[左上コーナー]になっています。

### (5) [微調整する]チェックボックス

#### 機能

- ・フォームのプリント位置の微調整を行うかどうかを指定します。

#### 操作

- ・フォームのプリント位置の微調整を行う場合にチェックします。
- ・初期値は、“微調整しない”(OFF)になっています。

### (6) [たて位置]入力ボックス

#### 機能

- ・[微調整する]チェックボックスを選択した場合に、指定したプリント位置からのたて方向の移動量を指定します。

#### 操作

- ・-50.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“0.0”ミリになっています。

### (7) [よこ位置]入力ボックス

#### 機能

- ・[微調整する]チェックボックスを選択した場合に、指定したプリント位置からのよこ方向の移動量を指定します。

#### 操作

- ・-50.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“0.0”ミリになっています。

### (8) [標準に戻す]ボタン

#### 機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

---

## 9.4.2 「フォームファイルを選択」ダイアログ

---

「フォームファイルを選択」ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.4.2 「編集」タブ-「フォームファイルを選択」ダイアログ



### (1) 「フォームファイル一覧」リストボックス

#### 機能

- ・使用可能なフォームを一覧表示します。

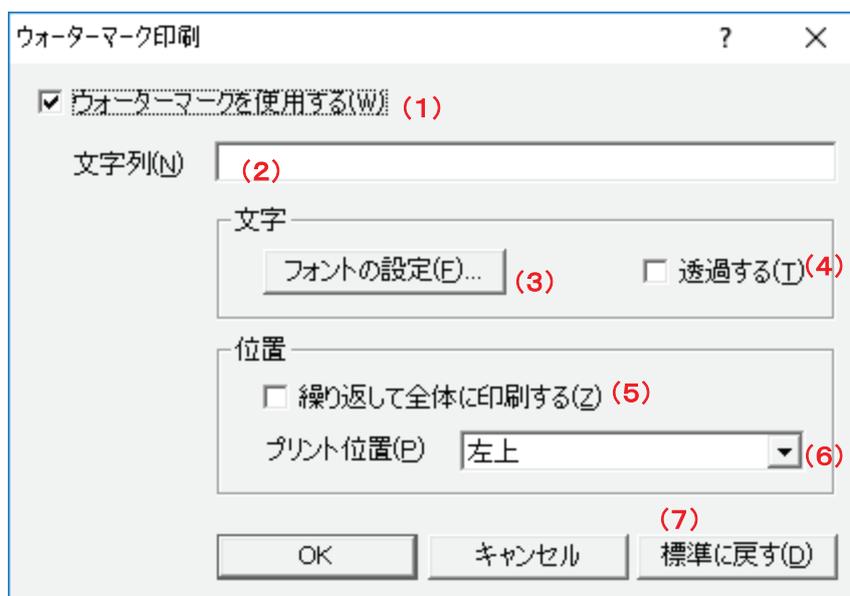
#### 操作

- ・使用するフォームを一覧から選択します。

### 9.4.3 [ウォーターマーク印刷] ダイアログ

[ウォーターマーク印刷] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.4.3 [編集]タブ-[ウォーターマーク印刷]ダイアログ



#### (1) [ウォーターマークを使用する]チェックボックス

##### 機能

- ・ウォーターマーク印刷を行うかどうかを指定します。

##### 操作

- ・ウォーターマーク印刷を行う場合にチェックします。
- ・初期値は、“ウォーターマークを使用しない”(OFF)になっています。

#### (2) [文字列]入力ボックス

##### 機能

- ・ウォーターマークに使用する文字列を指定します。

##### 操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大半角で64文字の半角、または全角文字が指定可能です。

#### (3) [フォントの設定]ボタン

##### 機能

- ・ウォーターマークのフォント情報を設定します。

### 操作

- ・[フォント]ダイアログを表示します。

#### (4) [透過する]チェックボックス

##### 機能

- ・ウォーターマークを透過させるかどうかを指定します。

##### 操作

- ・ウォーターマークを透過させる場合にチェックします。
- ・初期値は、“透過しない”(OFF)になっています。

#### (5) [繰り返して全体に印刷する]チェックボックス

##### 機能

- ・ウォーターマークを面全体に繰り返して印刷するかどうかを指定します。

##### 操作

- ・ウォーターマークを繰り返して印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“繰り返して全体に印刷しない”(OFF)になっています。

#### (6) [プリント位置]コンボボックス

##### 機能

- ・[繰り返して全体に印刷する]チェックボックスが OFF の場合に、ウォーターマークのプリント位置を設定します。
- ・[左上]を選択した場合、面の左上にウォーターマークが印刷されます。
- ・[中上]を選択した場合、面の中央上にウォーターマークが印刷されます。
- ・[右上]を選択した場合、面の右上にウォーターマークが印刷されます。
- ・[左中]を選択した場合、面の左中央にウォーターマークが印刷されます。
- ・[中央]を選択した場合、面の中央にウォーターマークが印刷されます。
- ・[右中]を選択した場合、面の右中央にウォーターマークが印刷されます。
- ・[左下]を選択した場合、面の左下にウォーターマークが印刷されます。
- ・[中下]を選択した場合、面の中央下にウォーターマークが印刷されます。
- ・[右下]を選択した場合、面の右下にウォーターマークが印刷されます。

##### 操作

- ・初期値は、[左上]になっています。

#### (7) [標準に戻す]ボタン

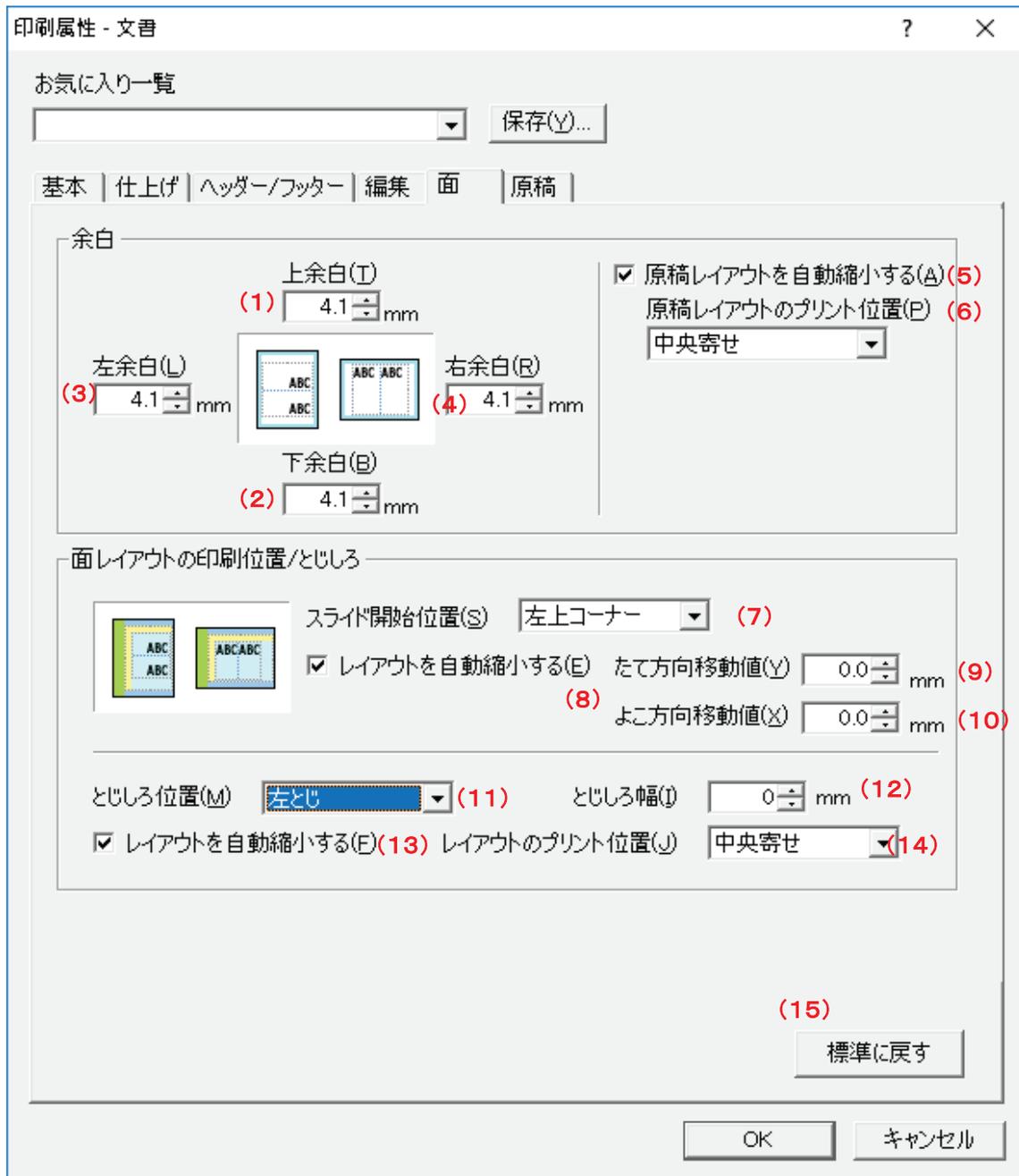
##### 機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

## 9.5 [面] タブ

[印刷属性] ダイアログ [面] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.5 [面]タブ



(1)、(2)、(3)、(4)[余白]入力ボックス

機能

- ・用紙の表面、または裏面の余白を指定します。

操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピントタンで指定します。
- ・初期値は、“4.1”ミリになっています。

(5)[原稿レイアウトを自動縮小する]チェックボックス

機能

- ・余白を指定した印字エリア内に、原稿レイアウトが収まるように自動的に縮小するかどうかを指定します。
- ・“する”(ON)を選択しても、以下の印刷設定については、余白を指定した印字エリア内に自動縮小しません。印字位置などの印字体裁は、各印刷項目の設定内容に依存します。

面フォームオーバーレイ印刷

ウォーターマーク印刷

- ・“しない”(OFF)を選択すると、原稿レイアウトの一部が印字エリア内に収まらず欠けることがあります。

操作

- ・印字エリア内に原稿レイアウトが収まるように自動的に縮小して印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“縮小する”(ON)になっています。

(6)[原稿レイアウトのプリント位置]コンボボックス

機能

- ・[原稿レイアウトを自動縮小する]チェックボックスを選択した場合に、原稿レイアウトの配置を指定します。
- ・[上寄せ／右寄せ]を選択した場合、面の上辺、または右辺に寄せて配置します。
- ・[下寄せ／左寄せ]を選択した場合、面の下辺、または左辺に寄せて配置します。
- ・[中央寄せ]を選択した場合、面の中央に寄せて配置します。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 上寄せ／右寄せ
  - 中央寄せ
  - 下寄せ／左寄せ
- ・初期値は、[中央寄せ]になっています。

(7) [スライド開始位置]コンボボックス

機能

- ・面レイアウト内の指定した位置を原点にしてレイアウト全体をずらします。原点となるレイアウト内の位置(コーナー)を指定します。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 左上コーナー
  - 右上コーナー
  - 左下コーナー
  - 右下コーナー
- ・初期値は、[左上コーナー]になっています。

(8) [レイアウトを自動縮小する]チェックボックス

機能

- ・印字エリア内に、面レイアウトが収まるように自動的に縮小するかどうかを指定します。
- ・“しない”(OFF)を選択すると、面レイアウトの一部が印字エリア内に収まらず欠けることがあります。

操作

- ・印字エリア内に面レイアウトが収まるように自動的に縮小して印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“縮小する”(ON)になっています。

(9) [たて方向移動置]入力ボックス

機能

- ・[スライド開始位置]コンボボックスにて指定した位置を原点として、たて方向(上、または下)に移動する値を指定します。

操作

- ・0.0~50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピントタンで指定します。
- ・初期値は、“0.0”ミリになっています。

(10) [よこ方向移動置]入力ボックス

機能

- ・[スライド開始位置]コンボボックスにて指定した位置を原点として、よこ方向(左、または右)に移動する値を指定します。

### 操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンドタンで指定します。
- ・初期値は、“0.0”ミリになっています。

## (11) [とじしろ位置]コンボボックス

### 機能

- ・とじしろの位置を指定します。

### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - なし
  - 左とじ
  - 上とじ
  - 右とじ
  - 下とじ
- ・初期値は、[なし]になっています。

## (12) [とじしろ幅]入力ボックス

### 機能

- ・[とじしろ位置]コンボボックスにてとじしろ位置を指定した場合に、とじしろの幅を指定します。

### 操作

- ・0～50の半角数字で指定します。1ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンドタンで指定します。
- ・初期値は、“0”ミリになっています。

## (13) [レイアウトを自動縮小する]チェックボックス

### 機能

- ・とじしろを指定した印字エリア内に、面レイアウトが収まるように自動的に縮小するかどうかを指定します。
- ・“しない”(OFF)を選択すると、面レイアウトの一部が印字エリア内に収まらず欠けることがあります。

### 操作

- ・印字エリア内に面レイアウトが収まるように自動的に縮小して印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“縮小する”(ON)になっています。

(14) [レイアウトのプリント位置]コンボボックス

機能

- ・[レイアウトを自動縮小する]チェックボックスを選択した場合に、面レイアウトの配置を指定します。
- ・[上寄せ／右寄せ]を選択した場合、用紙の上辺、または右辺に寄せて配置します。
- ・[下寄せ／左寄せ]を選択した場合、用紙の下辺、または左辺に寄せて配置します。
- ・[中央寄せ]を選択した場合、用紙の中央に寄せて配置します。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 上寄せ／右寄せ
  - 中央寄せ
  - 下寄せ／左寄せ
- ・初期値は、[中央寄せ]になっています。

(15) [標準に戻す]ボタン

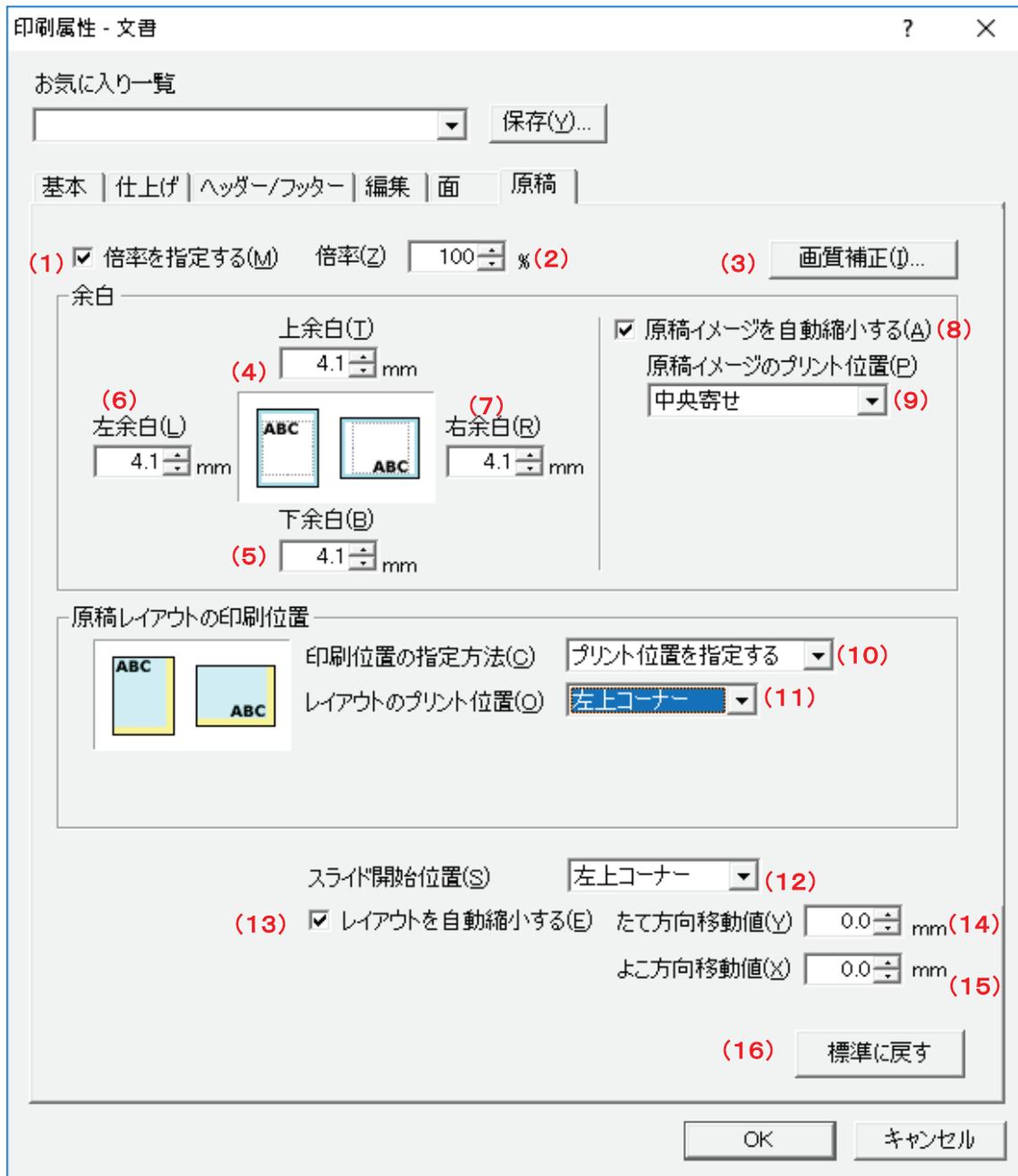
機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

## 9.6 [原稿] タブ

[印刷属性] ダイアログ [原稿] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.6 [原稿]タブ



(1) [倍率を指定する]チェックボックス

機能

- ・原稿に任意の倍率を指定して印刷するかどうかを指定します。
- ・倍率を指定しない(OFF)場合、用紙サイズ、まとめて1枚などの指定に合わせて自動的に拡大／縮小します。

操作

- ・原稿に任意の倍率を指定する場合にチェックします。
- ・初期値は、“指定する”(ON)になっています。

(2) [倍率]入力ボックス

機能

- ・[倍率を指定する]チェックボックス選択した場合に、原稿の倍率を指定します。

操作

- ・10～400の半角数字で指定します。1%単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“100”%になっています。

(3) [画質補正]ボタン

機能

- ・画質補正の設定内容を変更します。

操作

- ・[画質補正]ダイアログを表示します。

(4)、(5)、(6)、(7) [余白]入力ボックス

機能

- ・原稿の余白を指定します。

操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“4.1”ミリになっています。

(8) [原稿イメージを自動縮小する]チェックボックス

機能

- ・余白を指定した印字エリア内に、原稿イメージが収まるように自動的に縮小するかどうかを指定します。
- ・“する”(ON)を選択しても、以下の印刷設定については、余白を指定した印字エリア内に自

動縮小しません。印字位置などの印字体裁は、各印刷項目の設定内容に依存します。

- ・“しない”(OFF)を選択すると、原稿イメージの一部が印字エリア内に収まらず欠けることがあります。

#### 操作

- ・印字エリア内に原稿イメージが収まるように自動的に縮小して印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“縮小する”(ON)になっています。

### (9) [原稿イメージのプリント位置]コンボボックス

#### 機能

- ・[レイアウトを自動縮小する]チェックボックスを選択した場合に、原稿イメージの配置を指定します。
- ・[上寄せ／右寄せ]を選択した場合、原稿の上辺、または右辺に寄せて配置します。
- ・[下寄せ／左寄せ]を選択した場合、原稿の下辺、または左辺に寄せて配置します。
- ・[中央寄せ]を選択した場合、原稿の中央に寄せて配置します。

#### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 上寄せ／右寄せ
  - 中央寄せ
  - 下寄せ／左寄せ
- ・初期値は、[中央寄せ]になっています。

### (10) [印刷位置の指定方法]コンボボックス

#### 機能

- ・原稿レイアウト内における印刷位置の指定方式を選択します。
- ・[プリント位置を指定する]を選択した場合、原稿レイアウト内の配置(コーナー、または中央)を指定します。
- ・[レイアウトをスライドする]を選択した場合、原稿レイアウト内の指定した位置を原点にしてレイアウト全体をずらします。

#### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - プリント位置を指定する
  - レイアウトをスライドする
- ・初期値は、[プリント位置を指定する]になっています。

### (11) [レイアウトのプリント位置]コンボボックス

#### 機能

- ・[印刷位置の指定方法]コンボボックスにて、[プリント位置を指定する]を選択した場合に、原稿レイアウト内の配置(コーナー、または中央)を指定します。
- ・[左上コーナー]、[右上コーナー]、[左下コーナー]、[右下コーナー]を選択した場合、原稿の各コーナーに寄せて配置します。
- ・[中央寄せ]を選択した場合、原稿の中央に寄せて配置します。

#### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 左上コーナー
  - 右上コーナー
  - 左下コーナー
  - 右下コーナー
  - 中央寄せ
- ・初期値は、[左上コーナー]になっています。

### (12) [スライド開始位置]コンボボックス

#### 機能

- ・[印刷位置の指定方法]コンボボックスにて、[レイアウトをスライドする]を選択した場合、原稿レイアウト内の指定した位置を原点にしてレイアウト全体をずらします。原点となるレイアウト内の位置(コーナー)を指定します。

#### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 左上コーナー
  - 右上コーナー
  - 左下コーナー
  - 右下コーナー
- ・初期値は、[左上コーナー]になっています。

### (13) [レイアウトを自動縮小する]チェックボックス

#### 機能

- ・[印刷位置の指定方法]コンボボックスにて、[レイアウトをスライドする]を選択した場合、印字エリア内に、原稿レイアウトが収まるように自動的に縮小するかどうかを指定します。
- ・“しない”(OFF)を選択すると、原稿レイアウトの一部が印字エリア内に収まらず欠けることがあります。

#### 操作

- ・印字エリア内に原稿レイアウトが収まるように自動的に縮小して印刷する場合にチェックします。

- ・初期値は、“縮小する”(ON)になっています。

#### (14) [たて方向移動値] 入力ボックス

##### 機能

- ・[印刷位置の指定方法]コンボボックスにて、[レイアウトをスライドする]を選択した場合、[スライド開始位置]コンボボックスにて指定した位置を原点として、たて方向(上、または下)に移動する値を指定します。

##### 操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンプタンで指定します。
- ・初期値は、“0.0”ミリになっています。

#### (15) [よこ方向移動値] 入力ボックス

##### 機能

- ・[印刷位置の指定方法]コンボボックスにて、[レイアウトをスライドする]を選択した場合、[スライド開始位置]コンボボックスにて指定した位置を原点として、よこ方向(左、または右)に移動する値を指定します。

##### 操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンプタンで指定します。
- ・初期値は、“0.0”ミリになっています。

#### (16) [標準に戻す] ボタン

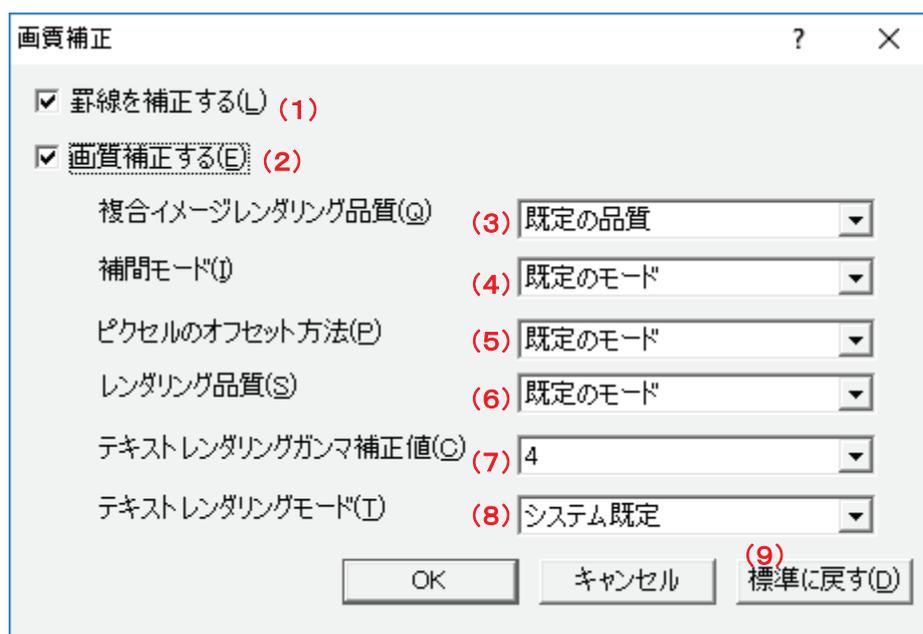
##### 機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

## 9.6.1 [画質補正] ダイアログ

[画質補正] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.6.1 [原稿]タブ-[画質補正]ダイアログ



### (1) [罫線を補正する]チェックボックス

#### 機能

- ・罫線を補正するかどうかを指定します。

#### 操作

- ・罫線を補正する場合にチェックします。
- ・初期値は、“罫線を補正する”(ON)になっています。

### (2) [画質補正する]チェックボックス

#### 機能

- ・画質補正を行うかどうかを指定します。

#### 操作

- ・画質補正を行う場合にチェックします。
- ・初期値は、“画質補正しない”(OFF)になっています。

### (3) [複合イメージレンダリング品質]コンボボックス

#### 機能

- ・複合イメージのレンダリング品質を設定します。
- ・[既定の品質]を選択した場合、既定の品質でレンダリングを行います。
- ・[高速]を選択した場合、高速で低品質なレンダリングを行います。
- ・[高品質]を選択した場合、高品質で低速なレンダリングを行います。
- ・[ガンマ補正]を選択した場合、ガンマ補正を使用したレンダリングを行います。
- ・[線形]を選択した場合、線形の値と想定したレンダリングを行います。

#### 操作

- ・初期値は、[既定の品質]になっています。

### (4) [補間モード]コンボボックス

#### 機能

- ・データの補間方法を設定します。
- ・[既定のモード]を選択した場合、既定のモードで補間します。
- ・[低品質補間]を選択した場合、低品質な補間を行います。
- ・[高品質補間]を選択した場合、高品質な補間を行います。
- ・[双一次補間]を選択した場合、双一次補間を行います。
- ・[双三次補間]を選択した場合、双三次補間を行います。
- ・[最近傍補間]を選択した場合、最近傍補間を行います。
- ・[高品質双一次補間]を選択した場合、高品質な双一次補間を行います。
- ・[高品質双三次補間]を選択した場合、高品質な双三次補間を行います。

#### 操作

- ・初期値は、[既定のモード]になっています。

### (5) [ピクセルのオフセット方法]コンボボックス

#### 機能

- ・レンダリング時のピクセルのオフセット方法を設定します。
- ・[既定のモード]を選択した場合、既定のモードを使用します。
- ・[高速]を選択した場合、高速で低品質なレンダリングを行います。
- ・[高品質]を選択した場合、高品質で低速なレンダリングを行います。
- ・[オフセットなし]を選択した場合、オフセットしません。
- ・[0.5単位]を選択した場合、水平と垂直の両方向に-0.5単位オフセットします。

#### 操作

- ・初期値は、[既定のモード]になっています。

### (6) [レンダリング品質]コンボボックス

#### 機能

- ・直線、曲線、および塗りつぶし領域の境界線に対する、スムージング(アンチエイリアス処理)方法を設定します。
- ・[既定のモード]を選択した場合、既定のモードを使用します。
- ・[高速]を選択した場合、高速で低品質なレンダリングを行います。
- ・[高品質]を選択した場合、高品質で低速なレンダリングを行います。
- ・[アンチエイリアス処理しない]を選択した場合、アンチエイリアス処理を行いません。
- ・[アンチエイリアス処理]を選択した場合、アンチエイリアス処理されたレンダリングを行います。

#### 操作

- ・初期値は、[既定のモード]になっています。

### (7) [テキストレンダリングガンマ補正值]コンボボックス

#### 機能

- ・テキストのレンダリングで使用するガンマ補正の値を設定します。
- ・[0]～[12]の間でガンマ補正值を選択します。

#### 操作

- ・初期値は、[4]になっています。

### (8) [テキストレンダリングモード]コンボボックス

#### 機能

- ・テキストのスムージング(アンチエイリアス処理)方法を設定します。
- ・[システム既定]を選択した場合、システム既定のレンダリングヒントでテキストを描画します。
- ・[グリフヒントング]を選択した場合、グリフビットマップとヒントングを使用してテキストを描画します。
- ・[グリフ]を選択した場合、グリフビットマップを使用してテキストを描画します。
- ・[アンチエイリアスヒントング]を選択した場合、アンチエイリアス処理されたグリフビットマップとヒントングを使用してテキストを描画します。
- ・[アンチエイリアス]を選択した場合、アンチエイリアス処理されたグリフビットマップを使用してテキストを描画します。
- ・[グリフ GT ヒントング]を選択した場合、グリフ GT ビットマップとヒントングを使用してテキストを描画します。

#### 操作

- ・初期値は、[既定のモード]になっています。

### (9) [標準に戻す]ボタン

#### 機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

---

## 10. お気に入り

---

お気に入りの操作方法について説明します。

お気に入りは、よく使用する印刷属性の設定をあらかじめ登録しておく機能です。複雑な印刷属性の設定も、お気に入りに登録しておけば簡単な操作で再現することができます。

---

### 10.1 お気に入りの登録

---

「お気に入り」の登録は、以下のいずれかの方法で行います。

(1) 「印刷属性」ダイアログ

DocPoemに取り込んだ文書の「印刷属性」ダイアログを開き、[保存] ボタンを押します。「お気に入りの作成」ダイアログが表示されるので、必要な情報を入力し、登録します。

(2) 「お気に入りの編集」ダイアログ

「お気に入りの編集」ダイアログから登録します。

- ①メニューバーから [ツール] - [お気に入りの編集] メニューを選択します。
- ②お気に入りツールバーの [お気に入りの編集] ボタンをクリックします。

---

### 10.2 お気に入りの適用

---

登録されている「お気に入り」は、以下の方法でDocPoemに取り込んだ文書に適用できます。

(1) お気に入りツールバー

属性のカテゴリが「文書」のお気に入りは、お気に入りツールバーの [お気に入り] コンボボックスから選択できます。ここで選択したお気に入りは現在DocPoemに取り込まれている文書全体に適用されます。

(2) お気に入り登録ボタン

属性のカテゴリが「文書」のお気に入りには、ツールバー上にボタンとして登録できます。登録されたボタンをクリックすることによって、該当するお気に入りの設定が現在DocPoemに取り込まれている文書全体に適用されます。

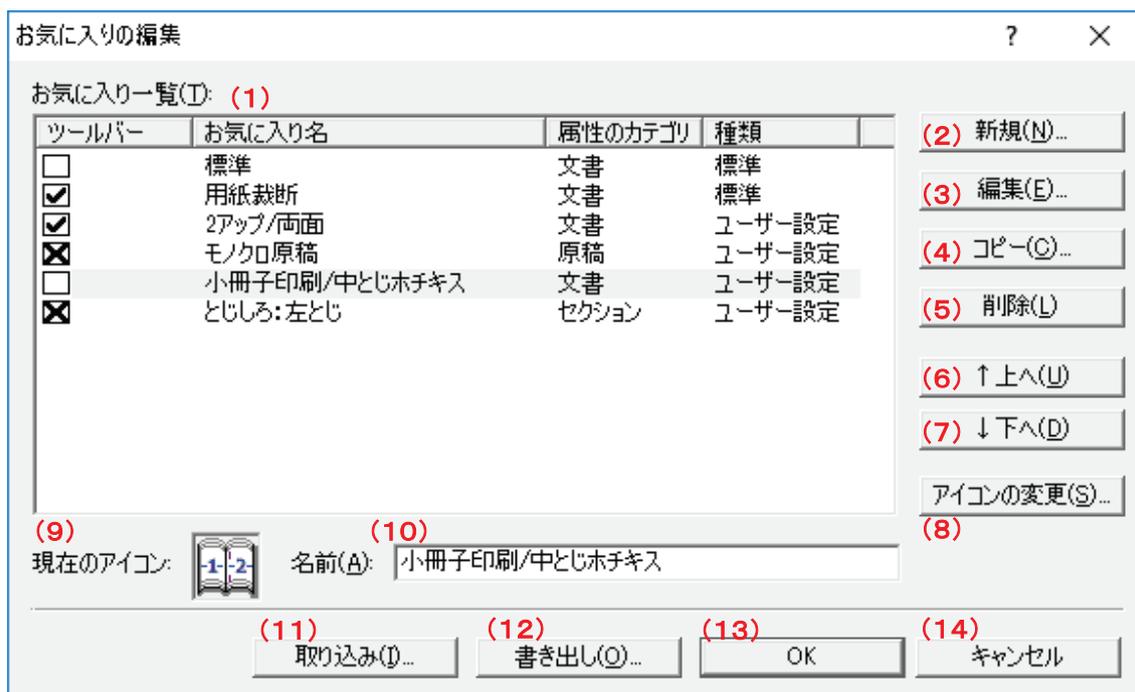
### (3) [印刷属性] ダイアログ

DocPoemに取り込んだ文書の「印刷属性」ダイアログを開き、[お気に入り一覧] コンボボックスから適用するお気に入りを選択します。

## 10.3 [お気に入りの編集] ダイアログ

[お気に入りの編集] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 10.3 [お気に入りの編集]ダイアログ



### (1) [お気に入り一覧]チェックリストボックス

#### 機能

- ・登録されているお気に入りを一覧表示します。
- ・[ツールバー]、[お気に入り名]、[属性のカテゴリ]、[種類]を表示します。
- ・[ツールバー]はツールバー上の状態を表示します。

- ・[お気に入り名]は登録されているお気に入りの名前を表示します。
- ・[属性のカテゴリ]はお気に入りの属性が有効となる範囲(文書、セクション、用紙、面、原稿)を表示します。
- ・[種類]は標準のお気に入りの場合は“標準”、ユーザーが作成したお気に入りの場合は“ユーザー設定”と表示します。

#### 操作

- ・ツールバーのチェックボックスに“登録する”(ON)を設定した場合、ツールバー上に追加します。また、“登録しない”(OFF)を設定した場合、ツールバー上から削除します。
- ・ツールバー上に追加、またツールバー上からの削除は[属性のカテゴリ]が“文書”の場合のみ設定することができます。

### (2) [新規] ボタン

#### 機能

- ・お気に入りを新規に作成し、[お気に入り一覧]に追加します。

#### 操作

- ・[お気に入りの作成]ダイアログを表示します。

### (3) [編集] ボタン

#### 機能

- ・[お気に入り一覧]で選択しているお気に入りの内容を編集します。

#### 操作

- ・[印刷属性]ダイアログを表示します。
- ・[種類]が“ユーザー設定”の場合のみ設定することができます。

### (4) [コピー] ボタン

#### 機能

- ・[お気に入り一覧]で選択しているお気に入りのコピーを作成し、[お気に入り一覧]に追加します。

#### 操作

- ・[お気に入りの作成]ダイアログを表示します。
- ・[種類]が“ユーザー設定”の場合のみ設定することができます。

### (5) [削除] ボタン

#### 機能

- ・[お気に入り一覧]で選択しているお気に入りを[お気に入り一覧]から削除します。また、ツールバーの“登録する”(ON)が設定されていた場合、ツールバー上から削除します。

## 操作

- ・[種類]が“ユーザー設定”の場合のみ設定することができます。

### (6) [上へ]ボタン

#### 機能

- ・[お気に入り一覧]で選択したお気に入りの位置を上に移動します。また、ツールバーの“登録する”(ON)が設定されていた場合、ツールバー上では左に移動します。

### (7) [下へ]ボタン

#### 機能

- ・[お気に入り一覧]で選択したお気に入りの位置を下に移動します。また、ツールバーの“登録する”(ON)が設定されていた場合、ツールバー上では右に移動します。

### (8) [アイコンの変更]ボタン

#### 機能

- ・[お気に入り一覧]で選択したお気に入りのツールバー上に表示されるアイコンを変更します。

#### 操作

- ・[アイコンの変更]ダイアログを表示します。

### (9) [現在のアイコン]イメージボックス

#### 機能

- ・現在使用しているアイコンを表示します。

### (10) [名前]入力ボックス

#### 機能

- ・[お気に入り一覧]で選択しているお気に入りの名前を表示します。また、お気に入りの名前は変更することができます。

#### 操作

- ・名前の文字数は、半角32文字(全角16文字)以内です。
- ・名前の文字に「~」は使用できません。
- ・[種類]が“ユーザー設定”の場合のみ設定することができます。

### (11) [取り込み]ボタン

#### 機能

- ・お気に入りをファイルから取り込み、[お気に入り一覧]に追加します。

(12) [書き出し] ボタン

機能

- ・ [お気に入り一覧] で選択しているお気に入りをファイルに書き出します。

操作

- ・ [種類] が “ユーザー設定” の場合のみ設定することができます。

(13) [OK] ボタン

機能

- ・ 設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・ 設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(14) [キャンセル] ボタン

機能

- ・ 処理を中断し画面を閉じます。

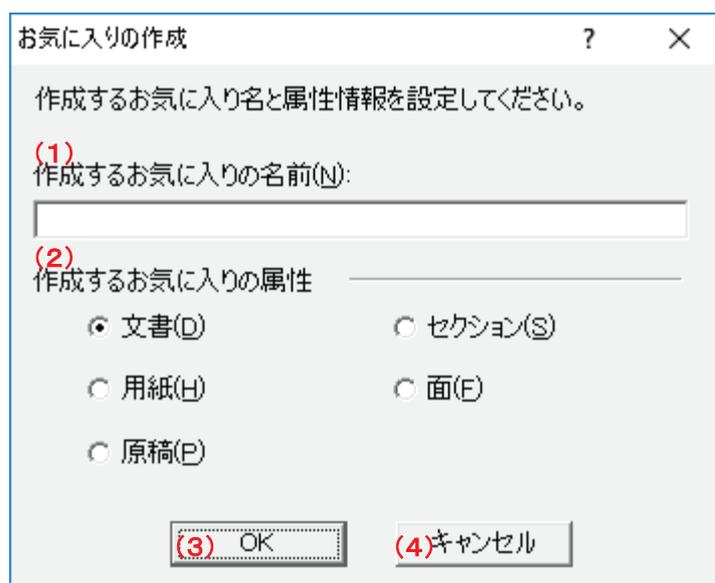
---

### 10.3.1 「お気に入りの作成」ダイアログ

---

「お気に入りの作成」ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 10.3.1 「お気に入りの作成」ダイアログ



#### (1) 「作成するお気に入りの名前」入力ボックス

##### 機能

- ・作成するお気に入りの名前を指定します。

##### 操作

- ・名前の文字数は、半角32文字(全角16文字)以内です。
- ・名前の文字に「~」は使用できません。

#### (2) 「お気に入りの属性」ラジオボタン

##### 機能

- ・作成するお気に入りの属性を指定します。
- ・[文書]、[セクション]、[用紙]、[面]、[原稿]が選択できます。

##### 操作

- ・[印刷属性]ダイアログから作成、または「お気に入りの編集」ダイアログからコピーを作成した場合は変更できません。

#### (3) 「OK」ボタン

##### 機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

#### 操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

#### (4) [キャンセル] ボタン

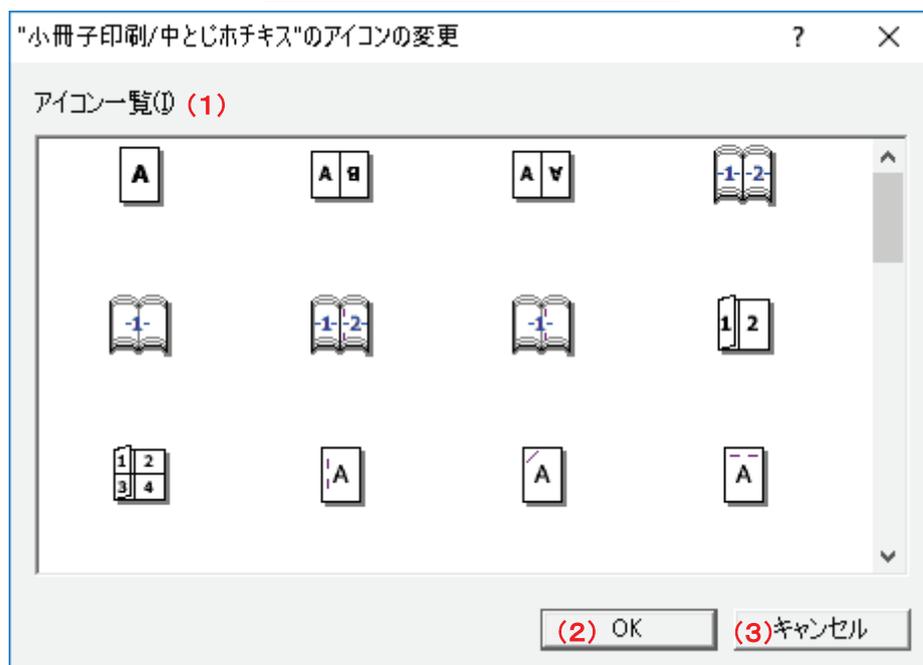
#### 機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

## 10.3.2 [アイコンの変更] ダイアログ

[アイコンの変更] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 10.3.2 [アイコンの変更]ダイアログ



### (1) [アイコン一覧]リストボックス

#### 機能

- ・ツールバー上に表示されるアイコンイメージを一覧表示します。

#### 操作

- ・変更したいアイコンを選択します。

### (2) [OK]ボタン

#### 機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

#### 操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

### (3) [キャンセル]ボタン

#### 機能

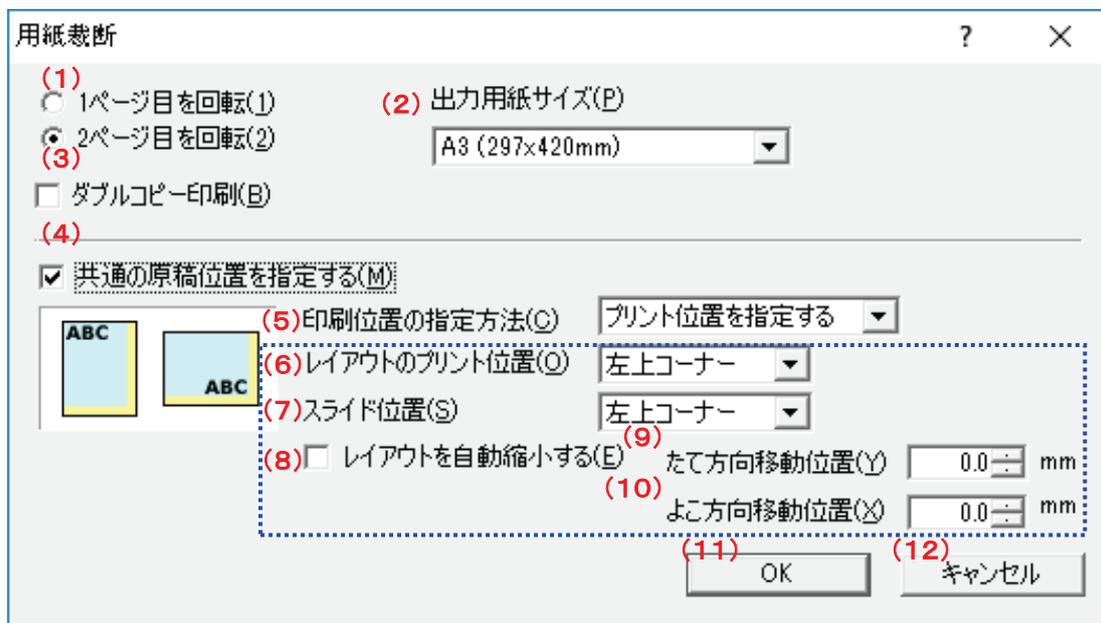
- ・処理を中断し画面を閉じます。

## 10.4 [用紙裁断] ダイアログ

用紙裁断は、奇数番目または、偶数番目の原稿を一括で180度回転させる機能です。用紙裁断設定を行った後に続けてレイアウト編集操作を行うと、編集内容によっては用紙裁断のレイアウトが崩れてしまう場合がありますのでご注意ください。

[用紙裁断] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 10.4 [用紙裁断]ダイアログ



### (1) [回転ページ]ラジオボタン

#### 機能

- ・用紙裁断を設定する際に、どちらのページを180度回転させるかを指定します。
- ・[1ページ目を回転]を選択した場合、奇数番目の原稿に対して[原稿回転:180度]、[原稿レイアウト回転:180度]の属性を設定します。
- ・[2ページ目を回転]を選択した場合、偶数番目の原稿に対して[原稿回転:180度]、[原稿レイアウト回転:180度]の属性を設定します。

#### 操作

- ・初期値は、[2ページ目を回転]になっています。

### (2) [出力用紙サイズ]コンボボックス

#### 機能

- ・用紙裁断出力での出力用紙サイズを選択します。
- ・ここで選択した出力用紙サイズは文書全体に適用されます。

#### 操作

- ・初期値は、先頭用紙サイズの出力用紙サイズの2倍のサイズになっています。
- ・2倍のサイズが選択できない場合は先頭用紙の出力用紙サイズになります。

### (3) [ダブルコピー印刷]チェックボックス

#### 機能

- ・ダブルコピー印刷を行うかどうか指定します。
- ・ダブルコピー印刷では、全ての原稿を2部ずつコピーし、同じ原稿を2つ並べた状態で用紙裁断レイアウトを適用します。

#### 操作

- ・ダブルコピー印刷を行う場合にチェックします。
- ・初期値は、“ダブルコピー印刷しない”(OFF)になっています。

### (4) [共通の原稿位置を指定する]チェックボックス

#### 機能

- ・共通の原稿位置を適用するかどうかを指定します。
- ・用紙裁断レイアウト適用時に、全原稿に対して同じ原稿位置属性を適用します。

#### 操作

- ・共通の原稿位置を指定する場合にチェックします。
- ・初期値は、“共通の原稿位置を使用しない”(OFF)になっています。

### (5) [印刷位置の指定方法]コンボボックス

#### 機能

- ・原稿レイアウト内における印刷位置の指定方式を選択します。
- ・[プリント位置を指定する]を選択した場合、原稿レイアウト内の配置(コーナー、または中央)を指定します。
- ・[レイアウトをスライドする]を選択した場合、原稿レイアウト内の指定した位置を原点にしてレイアウト全体をずらします。

#### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - プリント位置を指定する
  - レイアウトをスライドする
- ・初期値は、[プリント位置を指定する]になっています。

#### (6) [レイアウトのプリント位置]コンボボックス

##### 機能

- ・[印刷位置の指定方法]コンボボックスにて、[プリント位置を指定する]を選択した場合に、原稿レイアウト内の配置(コーナー、または中央)を指定します。
- ・[左上コーナー]、[右上コーナー]、[左下コーナー]、[右下コーナー]を選択した場合、原稿の各コーナーに寄せて配置します。
- ・[中央寄せ]を選択した場合、原稿の中央に寄せて配置します。

##### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 左上コーナー
  - 右上コーナー
  - 左下コーナー
  - 右下コーナー
  - 中央寄せ
- ・初期値は、[左上コーナー]になっています。

#### (7) [スライド開始位置]コンボボックス

##### 機能

- ・[印刷位置の指定方法]コンボボックスにて、[レイアウトをスライドする]を選択した場合、原稿レイアウト内の指定した位置を原点にしてレイアウト全体をずらします。原点となるレイアウト内の位置(コーナー)を指定します。

##### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 左上コーナー
  - 右上コーナー
  - 左下コーナー
  - 右下コーナー
- ・初期値は、[左上コーナー]になっています。

#### (8) [レイアウトを自動縮小する]チェックボックス

##### 機能

- ・[印刷位置の指定方法]コンボボックスにて、[レイアウトをスライドする]を選択した場合、印字エリア内に、原稿レイアウトが収まるように自動的に縮小するかどうかを指定します。
- ・“しない”(OFF)を選択すると、原稿レイアウトの一部が印字エリア内に収まらず欠けることがあります。

##### 操作

- ・印字エリア内に原稿レイアウトが収まるように自動的に縮小して印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“縮小する”(ON)になっています。

#### (9) [たて方向移動置] 入力ボックス

##### 機能

- ・[印刷位置の指定方法]コンボボックスにて、[レイアウトをスライドする]を選択した場合、[スライド開始位置]コンボボックスにて指定した位置を原点として、たて方向(上、または下)に移動する値を指定します。

##### 操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンのボタンで指定します。
- ・初期値は、“0.0”ミリになっています。

#### (10) [よこ方向移動置] 入力ボックス

##### 機能

- ・[印刷位置の指定方法]コンボボックスにて、[レイアウトをスライドする]を選択した場合、[スライド開始位置]コンボボックスにて指定した位置を原点として、よこ方向(左、または右)に移動する値を指定します。

##### 操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンのボタンで指定します。
- ・初期値は、“0.0”ミリになっています。

#### (11) [OK] ボタン

##### 機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

##### 操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

#### (12) [キャンセル] ボタン

##### 機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

---

## 11. プリンタビュー画面操作

---

プリンタビューの操作方法について説明します。

印刷に最適なプリンタを簡単操作で把握できることを目的とした状態表示と、印刷の実行および印刷方法の設定を行います。

使用可能なプリンタを一覧表示することができます。

---

### 11.1 プリンタの自動生成

---

DocPoemがプリンタビュー上に自動で生成する物理プリンタ、およびDocuWorks Printerについて説明します。

#### (1) 物理プリンタ

下記の条件を満たすWindowsプリンタは、DocPoem内でのみ有効な物理プリンタとして1つにまとめられ、プリンタビュー上に自動生成します。

- ①使用するプリンタドライバがサポート対象のものであること。
- ②使用するポートからIPアドレスが解決できること。
- ③使用するポートのIPアドレスが同じであること。
- ④使用するプリンタドライバ名が同じであること。

#### (2) DocuWorks Printer

- ・Windows上にDocuWorks Printerが存在する場合、削除／変更が不可能な仮想プリンタとしてDocuWorks Printerをプリンタビュー上に自動生成します。
- ・プリンタ名の変更のみ可能です。

---

## 11.2 画面

---

プリンタビュー画面の表示内容について説明します。

### (1) [プリンタアイコン]

#### 機能

- ・プリンタの状態及び種類をアイコンで表示します。
- ・以下のアイコンは、プリンタの種類を表します。

アイコン	説明
	物理プリンタを表します。
	DocuWorks Printerを除くサポート対象プリンタ1台で構成されている仮想プリンタを表します。
	サポート対象外の論理プリンタおよび、DocuWorks Printerで構成されている仮想プリンタを表します。
	複数台の物理プリンタ／論理プリンタで構成されている仮想プリンタを表します。

- ・以下のアイコンはプリンタの状態を表します。プリンタの種類を表すアイコンと組み合わせて表示されます。

アイコン	説明
	プリンタは正常です。
	構成する物理プリンタや論理プリンタの削除によりプリンタは使用できない状態にあります。

### (2) [プリンタ名]

#### 機能

- ・プリンタ名を表示します。

### (3) [アドレス]

#### 機能

- ・プリンタのIPアドレスを表示します。

- ・複数の物理プリンタ／論理プリンタを使用するよう設定されている仮想プリンタの場合、物理プリンタ／論理プリンタの IP アドレスを優先の高いプリンタのものから順に列挙します。
- ・大きいアイコン表示の場合は表示されません。

#### (4) [プリンタドライバ名]

##### 機能

- ・使用しているプリンタドライバ名を表示します。
- ・複数の物理プリンタ／論理プリンタを使用するよう設定されている仮想プリンタの場合、物理プリンタ／論理プリンタのプリンタドライバ名を優先の高いプリンタのものから順に列挙します。
- ・大きいアイコン表示の場合は表示されません。

#### (5) [ポート名]

##### 機能

- ・使用しているプリンタポート名を表示します。
- ・複数の物理プリンタ／論理プリンタを使用するよう設定されている仮想プリンタの場合、物理プリンタ／論理プリンタのポート名を優先の高いプリンタのものから順に列挙します。
- ・大きいアイコン表示の場合は表示されません。

---

## 11.3 印刷

---

プリンタビューのプリンタアイコン部分をクリックすることによって、現在開かれている文書の内容を選択したプリンタから印刷します。

---

### 11.3.1 出力機能

---

DocPoem でサポートする印刷機能について説明します。

#### (1) 通常出力

- ・DocPoem で通常使用する印刷機能です。
- ・物理プリンタの場合、物理プリンタで使用する Windows プリンタオブジェクトから出力します。
- ・仮想プリンタの場合、仮想プリンタを構成する物理プリンタ／論理プリンタの中で優先順位が最も高いプリンタから出力します。

## (2) 同報出力

- ・同一文書を複数のプリンタから出力します。
- ・仮想プリンタでのみ設定可能な出力方法です。
- ・物理プリンタ／論理プリンタの両方を含むことができますが、物理プリンタは仮想プリンタの作成時にプリンタとの通信に成功している必要があります。
- ・レイアウト属性が再現できないプリンタが含まれている場合、出力のためにプリンタを選択することはできません。

---

## 11.4 プリンタビューメニュー

---

プリンタビュー画面で表示される右マウスメニューのメニュー構成および、操作について説明します。

### (1) [大きいアイコンで表示]

#### 機能

- ・プリンタを大きいアイコンで表示します。

#### 操作

- ・大きいアイコンで表示している場合はチェックマークが付きます。

### (2) [一覧で表示]

#### 機能

- ・プリンタを一覧表示します。

#### 操作

- ・一覧で表示している場合はチェックマークが付きます。

### (3) [アイコンの整列]－[プリンタ名順]

#### 機能

- ・アイコン表示されたプリンタをプリンタ名順に並び替えます。

#### 操作

- ・プリンタビューが大きいアイコンで表示されている場合にのみメニュー表示されます。
- ・プリンタ名順で並び替えられている時はチェックマークが付きます。

### (4) [最新の情報に更新]

#### 機能

- ・プリンタビューの内容を最新の情報に更新します。Windows プリンタオブジェクトの数によっては、最新の情報で表示内容が更新されるまでに時間がかかる場合があります。

(5) [追加]

機能

- ・ウィザード形式のダイアログで仮想プリンタを追加します。

操作

- ・「仮想プリンタの追加」ウィザードを表示します。

(6) [削除]

機能

- ・選択されている仮想プリンタを削除します。

操作

- ・DocPoem が自動生成した DocuWorks Printer および物理プリンタでは選択できません。

(7) [名前の変更]

機能

- ・選択されているプリンタのプリンタ名を変更します。

操作

- ・最大半角で 64 文字の半角、または全角文字が指定可能です。
- ・すでにプリンタビュー内で使用されているプリンタ名は使用することができません。

(8) [セキュリティプリントする]

機能

- ・セキュリティプリント実行の有無を切り替えます。

操作

- ・セキュリティプリントの実行に必要な情報が不足している場合は、[セキュリティプリント設定]ダイアログを表示して情報の入力を促します。

(9) [セキュリティプリント設定]

機能

- ・セキュリティプリントの実行に必要な情報を設定します。

操作

- ・「セキュリティプリント設定」ダイアログを表示します。

(10) [認証情報設定]

#### 機能

- ・ユーザ認証に必要な情報を設定します。

#### 操作

- ・「認証情報設定」ダイアログを表示します。

### (11) [プロパティ]

#### 機能

- ・物理プリンタ／仮想プリンタの設定の表示／変更を行います。

#### 操作

- ・選択されているプリンタが物理プリンタの場合、[物理プリンタプロパティ]ダイアログを表示します。
- ・選択されているプリンタが仮想プリンタの場合、[仮想プリンタプロパティ]ダイアログを表示します。

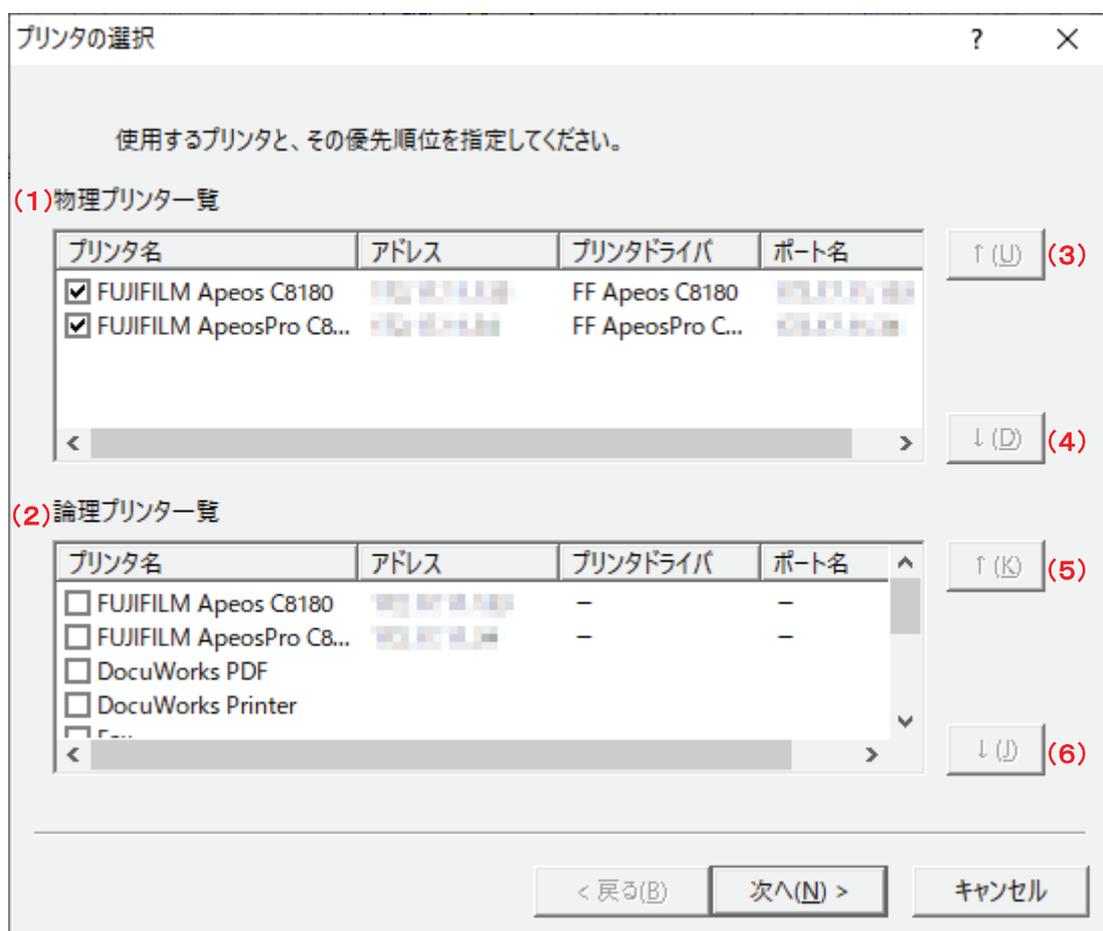
## 11.4.1 [仮想プリンタの追加] ウィザード

ウィザード形式のダイアログで仮想プリンタを追加します。

### 11.4.1.1 [プリンタの選択] ダイアログ

[仮想プリンタの追加] ウィザード [プリンタの選択] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 11.4.1.1 [プリンタの選択]ダイアログ



#### (1) [物理プリンタ名]チェックリストボックス

##### 機能

- ・仮想プリンタを構成するために選択可能な物理プリンタを一覧表示します。

##### 操作

- ・一覧のチェックボックスをONにすることで、仮想プリンタが使用する物理プリンタを選択します。

(2) [論理プリンタ名]チェックリストボックス

機能

- ・仮想プリンタを構成するために選択可能な論理プリンタを一覧表示します。

操作

- ・一覧のチェックボックスを ON にすることで、仮想プリンタが使用する論理プリンタを選択します。

(3)、(5) [↑]ボタン

(4)、(6) [↓]ボタン

機能

- ・一覧で選択(強調表示)されているプリンタの優先順位を変更します。

操作

- ・一覧でプリンタを選択(強調表示)し、[↑][↓]ボタンで優先順位を変更します。

#### 11.4.1.2 [出力方法の選択] ダイアログ

---

[仮想プリンタの追加] ウィザード [出力方法の選択] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 11.4.1.2 [出力方法の選択]ダイアログ



(1) [先頭のプリンタから出力]ラジオボタン

(4) [複数のプリンタに同じ内容を出力する]ラジオボタン

#### 機能

- ・仮想プリンタからの出力の方法を選択します。
- ・[先頭のプリンタから出力]を選択した場合、一覧で選択されている先頭のプリンタから出力します。物理プリンタ、論理プリンタの両方が選択されている場合、物理プリンタで選択されている先頭のプリンタから出力します。
- ・[複数のプリンタに同じ内容を出力する]を選択した場合、選択されている全てのプリンタから同じ内容を出力します。物理プリンタが 1 台しか選択されていない場合、選択されている物理プリンタの中に状態取得の実績のないプリンタが含まれている場合はこの出力方法を選択することはできません。

#### 操作

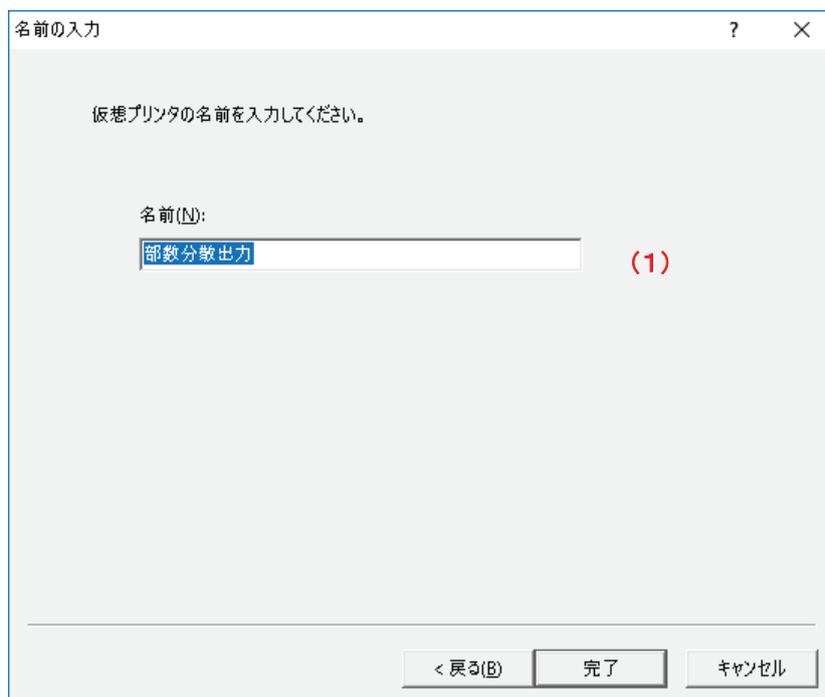
- ・初期値は、[先頭のプリンタから出力]になっています。

### **11.4.1.3 [名前を入力] ダイアログ**

---

[仮想プリンタの追加] ウィザード [名前を入力] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 11.4.1.3 [名前を入力]ダイアログ



(1) [名前]入力ボックス

機能

- ・プリンタビューに表示する仮想プリンタ名を指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大半角で64文字の半角、または全角文字が指定可能です。

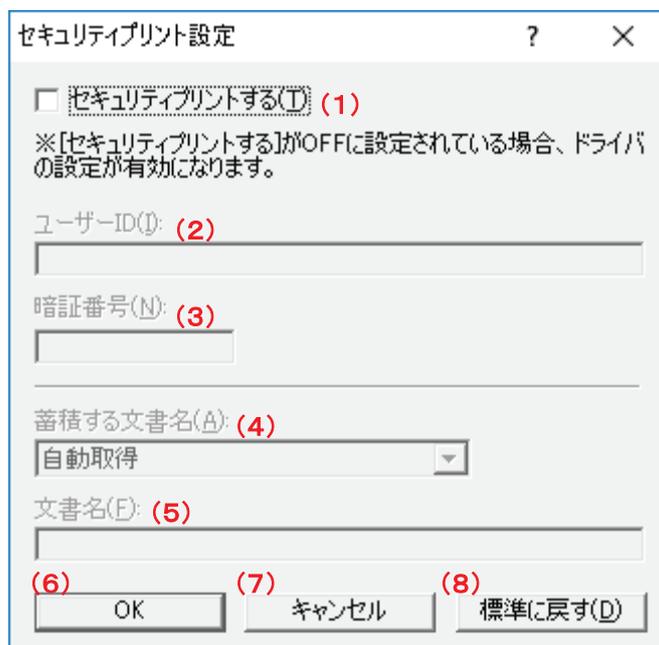
---

## 11.4.2 [セキュリティプリント設定] ダイアログ

---

[セキュリティプリント設定] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 11.4.2 [セキュリティプリント設定]ダイアログ



(1) [セキュリティプリントする]チェックボックス

機能

- ・セキュリティプリント設定を行うかどうかを指定します。

操作

- ・セキュリティプリント設定を行う場合にチェックします。
- ・“セキュリティプリントしない”(OFF)に設定されている場合、ドライバのセキュリティプリント設定が有効になります。
- ・初期値は、“セキュリティプリントしない”(OFF)になっています。

(2) [ユーザーID]入力ボックス

機能

- ・セキュリティプリントを使用する場合のユーザーIDを指定します。
- ・プリンタに蓄積されたデータを印刷する場合、ここで指定したユーザーID がプリンタの操作パネルに表示されます。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・[セキュリティプリントする]チェックボックスを選択した場合、ユーザーIDの省略はできません。
- ・最大で8文字の半角英数カナ文字が指定可能です。

(3) [暗証番号]入力ボックス

#### 機能

- ・セキュリティプリントを使用する場合の暗証番号を指定します。
- ・プリンタに蓄積されたデータを印刷する場合、ここで指定した暗証番号の入力が必要になります。

#### 操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大4桁の半角数字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

### (4) [蓄積する文書名]コンボボックス

#### 機能

- ・蓄積する文書名の指定方法を選択します。
- ・[自動取得]を選択した場合、プリンタドライバが実行する印刷データのドキュメント名が文書名となります。
- ・[文書名を入力する]を選択した場合、蓄積する文書名を指定できます。

#### 操作

- ・初期値は、[自動取得]になっています。

### (5) [文書名]入力ボックス

#### 機能

- ・[蓄積する文書名]コンボボックスにて、[文書名を入力する]を選択した場合に、文書名を指定します。

#### 操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大で12文字の半角英数カナ文字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

### (6) [OK]ボタン

#### 機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

#### 操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

### (7) [キャンセル]ボタン

#### 機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

(8) [標準に戻す]ボタン

機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

---

### 11.4.3 [認証情報設定] ダイアログ

---

[認証情報設定] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 11.4.3.1 [認証情報設定]ダイアログ

認証情報設定

認証情報を設定する(A) (1)

※[認証情報を設定する]がOFFに設定されている場合、ドライバの設定が有効になります。

User IDの指定(E) (2)

ログイン名を使用する

User ID(O) (3)      パスワード(N) (4)

Account ID(I) (5)

蓄積用ユーザーID(S) (6)      暗証番号(B) (7)

(8) OK      (9) キャンセル      (10) 標準に戻す(D)

(1) [認証情報を設定する]チェックボックス

機能

- ・認証情報を設定するかどうかを指定します。
- ・“認証情報を設定しない”(OFF)に設定されている場合、ドライバの認証情報の設定が有効になります。
- ・“認証情報を設定しない”(ON)に設定されている場合でも、ドライバの認証情報の設定を変更する権限がない場合にはドライバの設定が有効になります。(ログインユーザーに管理者権限がない場合かつドライバの[認証管理モード設定]が[管理者]だった場合。)
- ・[認証設定モード]はドライバの設定が有効になります。
- ・認証設定方式は[常に同じ認証情報を使用する]固定で出力されます。

#### 操作

- ・認証情報を設定する場合にチェックします。
- ・初期値は、“認証情報を設定しない”(OFF)になっています。

#### (2) [User ID の指定]コンボボックス

##### 機能

- ・User IDの指定方法を選択します。
- ・[ログイン名を使用する]を選択した場合、Windowsのログイン名をUser IDに使用します。
- ・[IDを入力する]を選択した場合、User IDを指定できます。

##### 操作

- ・初期値は、[ログイン名を使用する]になっています。

#### (3) [User ID]入力ボックス

##### 機能

- ・認証情報を設定する場合の User ID を指定します。

##### 操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・[認証情報を設定する]チェックボックスを選択した場合かつ、[User ID の指定]コンボボックスで[IDを入力する]を選択した場合、User ID は省略できません。
- ・最大で32文字の半角文字、または全角文字が指定可能です。

#### (4) [パスワード]入力ボックス

##### 機能

- ・認証情報を設定する場合のパスワードを指定します。

##### 操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大で12文字の半角英数文字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

#### (5) [Account ID]入力ボックス

##### 機能

- ・認証情報を設定する場合のAccount IDを指定します。

##### 操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大で32文字の半角英数文字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

(6) [蓄積用ユーザ ID] 入力ボックス

機能

- ・認証情報を設定する場合の蓄積用ユーザIDを指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大で24文字の半角文字、または全角文字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

(7) [暗証番号] 入力ボックス

機能

- ・認証情報を設定する場合の暗証番号を指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大で12文字の半角英数文字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

(8) [OK] ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(9) [キャンセル] ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

(11) [標準に戻す] ボタン

機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

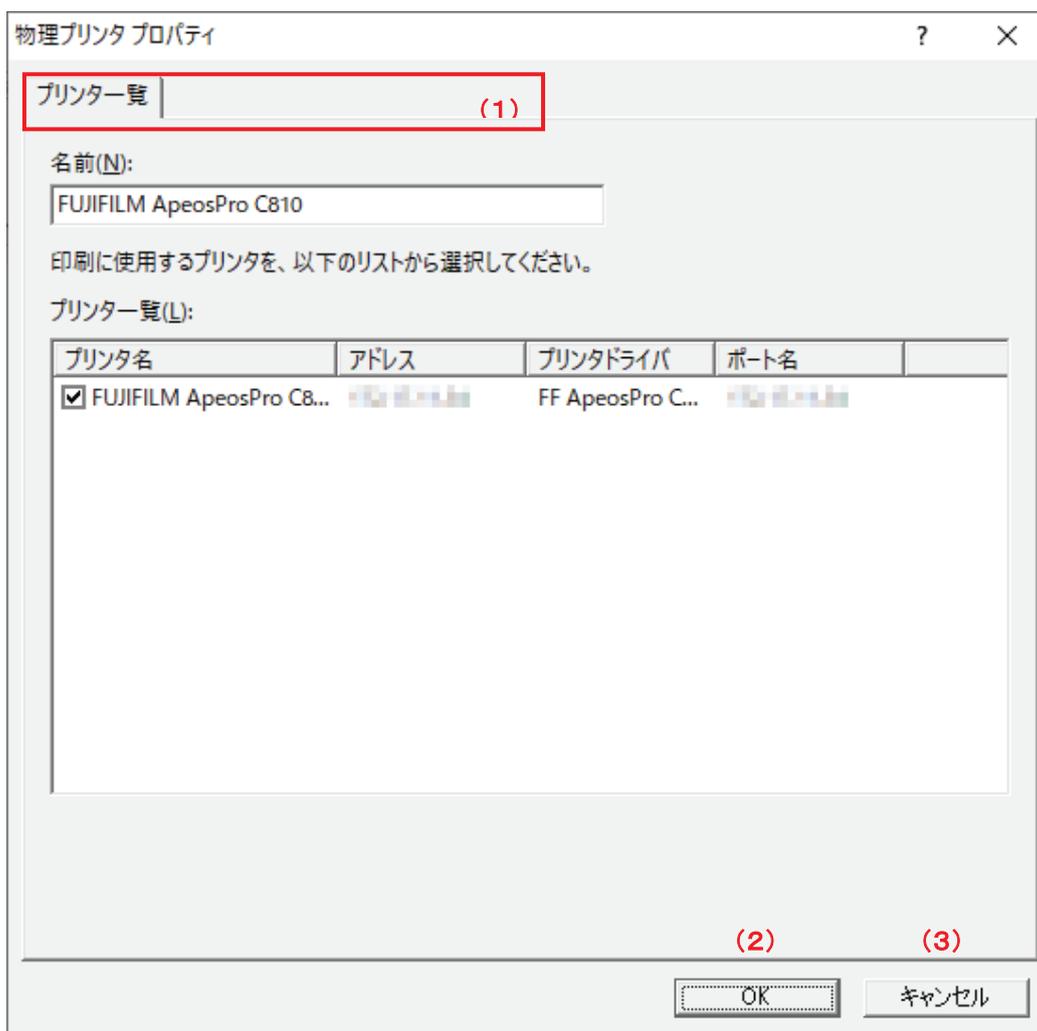
---

## 11.4.4 [物理プリンタプロパティ] ダイアログ

---

[物理プリンタプロパティ] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 11.4.4 [物理プリンタプロパティ]ダイアログ



(1) [プリンター一覧]タブ

(2) [OK]ボタン

**機能**

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

**操作**

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(3) [キャンセル]ボタン

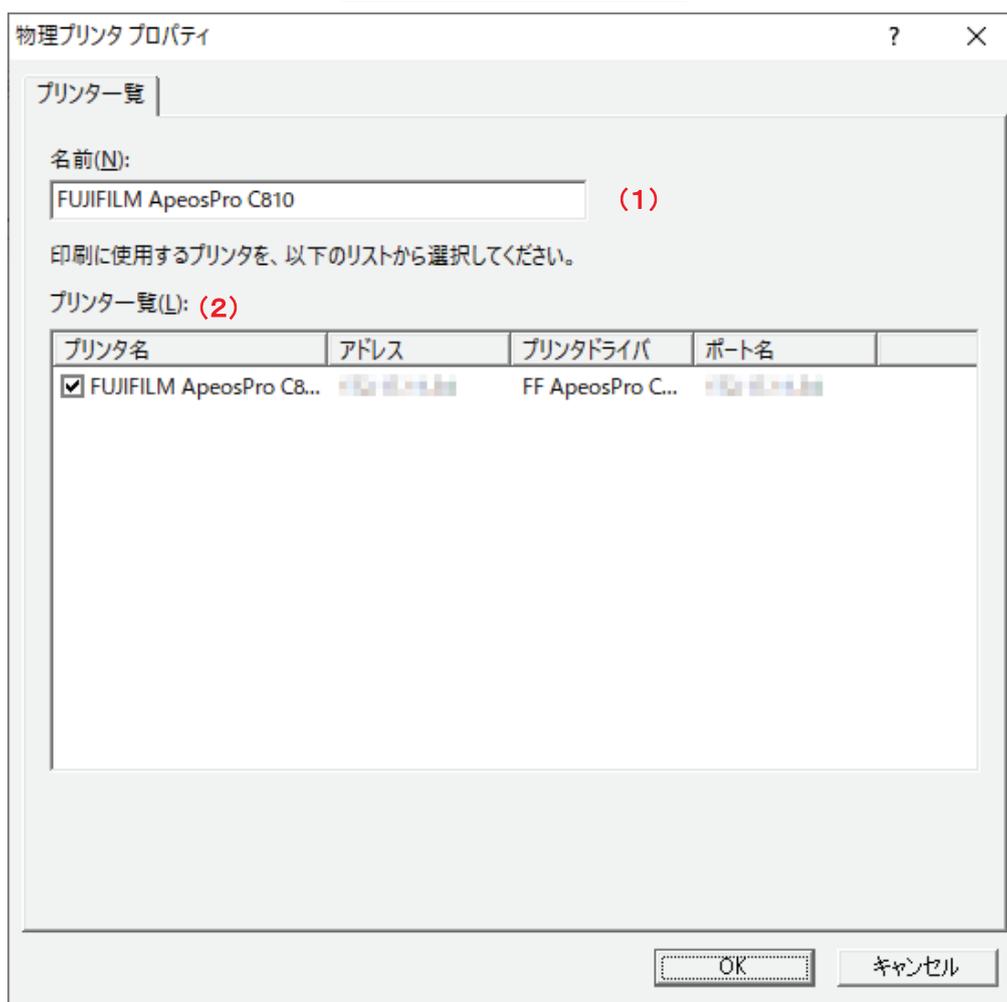
**機能**

- ・処理を中断し画面を閉じます。

#### 11.4.4.1 [プリンター一覧] タブ

[物理プリンタプロパティ] ダイアログ [プリンター一覧] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 11.4.4.1 [プリンター一覧]タブ



##### (1) [名前]入力ボックス

###### 機能

- ・プリンタビューに表示する物理プリンタ名を指定します。

###### 操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大半角で64文字の半角、または全角文字が指定可能です。

##### (2) [プリンター一覧]チェックリストボックス

## 機能

- ・物理プリンタが使用可能なWindowsプリンタアイコンを一覧表示します。

## 操作

- ・一覧のチェックボックスを ON にすることで、物理プリンタが使用する Windows プリンタアイコンを選択します。

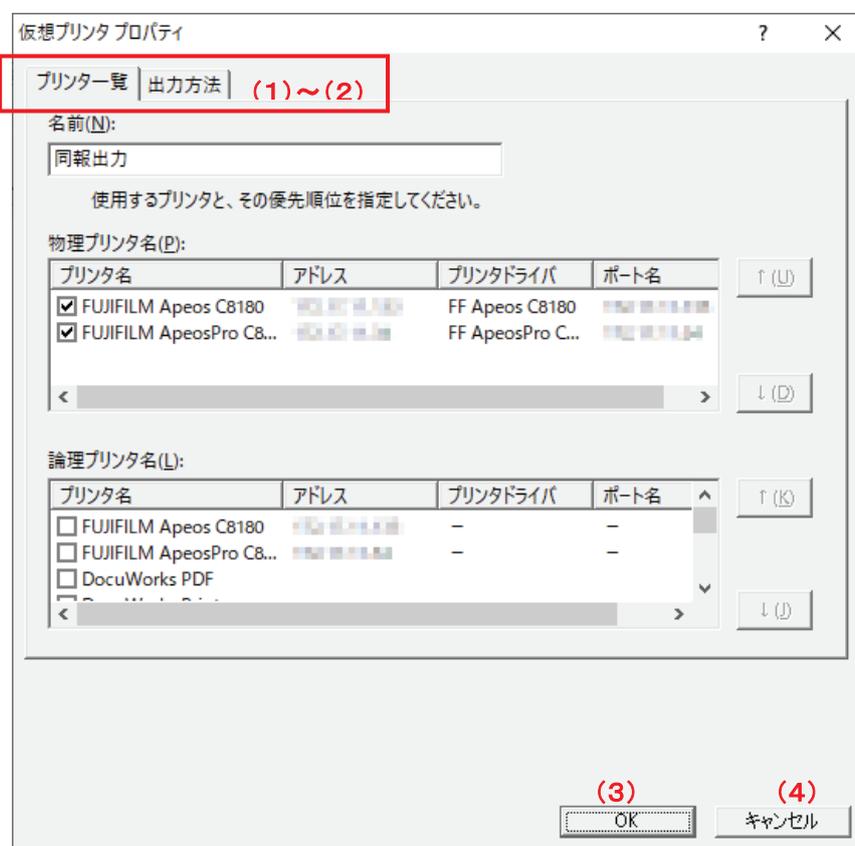
---

### 11.4.5 [仮想プリンタプロパティ] ダイアログ

---

[仮想プリンタプロパティ] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 11.4.5 [仮想プリンタプロパティ]ダイアログ



(1) [プリンター一覧]タブ

(2) [出力方法]タブ

(3) [OK]ボタン

## 機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

## 操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

#### (4) [キャンセル] ボタン

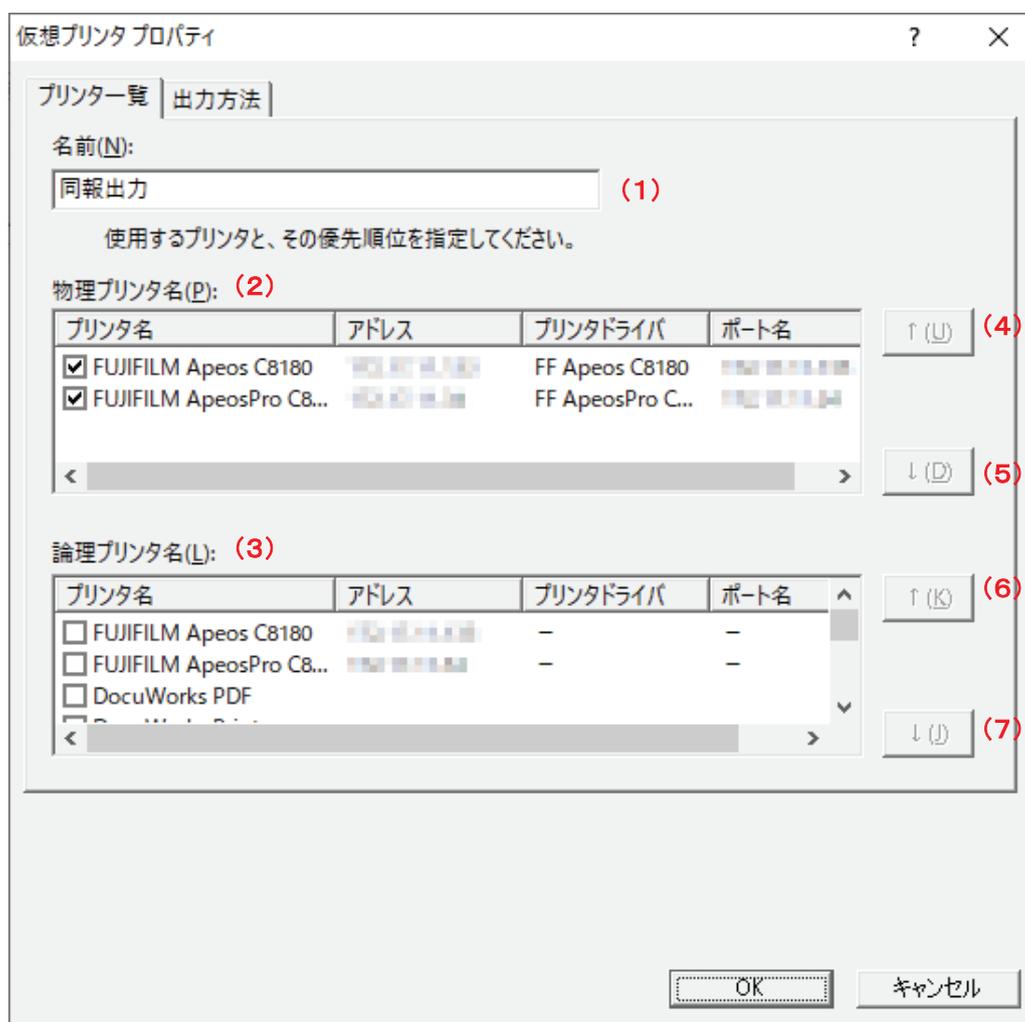
##### 機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

### 11.4.5.1 [プリンター一覧] タブ

[仮想プリンタプロパティ] ダイアログ [プリンター一覧] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 11.4.5.1 [プリンター一覧] タブ



#### (1) [名前] 入力ボックス

#### 機能

- ・プリンタビューに表示する仮想プリンタ名を指定します。

#### 操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大半角で64文字の半角、または全角文字が指定可能です。

### (2) [物理プリンタ名]チェックリストボックス

#### 機能

- ・仮想プリンタを構成するために選択可能な物理プリンタを一覧表示します。

#### 操作

- ・一覧のチェックボックスをONにすることで、仮想プリンタが使用する物理プリンタを選択します。

### (3) [論理プリンタ名]チェックリストボックス

#### 機能

- ・仮想プリンタを構成するために選択可能な論理プリンタを一覧表示します。

#### 操作

- ・一覧のチェックボックスをONにすることで、仮想プリンタが使用する論理プリンタを選択します。

### (4)、(6) [↑]ボタン

### (5)、(7) [↓]ボタン

#### 機能

- ・一覧で選択(強調表示)されているプリンタの優先順位を変更します。

#### 操作

- ・一覧でプリンタを選択(強調表示)し、[↑][↓]ボタンで優先順位を変更します。

#### **11.4.5.2 [出力方法] タブ**

---

[仮想プリンタプロパティ] ダイアログ [出力方法] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 11.4.5.2 [出力方法]タブ



(1) [先頭のプリンタから出力]ラジオボタン

(2) [複数のプリンタに同じ内容を出力する]ラジオボタン

#### 機能

- ・仮想プリンタからの出力の方法を選択します。
- ・[先頭のプリンタから出力]を選択した場合、一覧で選択されている先頭のプリンタから出力します。物理プリンタ、論理プリンタの両方が選択されている場合、物理プリンタで選択されている先頭のプリンタから出力します。
- ・[複数のプリンタに同じ内容を出力する]を選択した場合、選択されている全てのプリンタから同じ内容を出力します。物理プリンタが 1 台しか選択されていない場合、選択されている物理プリンタの中に状態取得の実績のないプリンタが含まれている場合はこの出力方法を選択することはできません。

## 操作

- ・初期値は、[先頭のプリンタから出力]になっています。

---

---

## 12. ファイル操作

---

---

DocPoemへの取り込みの方法とDocPoemがサポートするファイル、およびファイル操作方法について説明します。

---

### 12.1 “ACEL DocPoem Image Driver” からの取り込み

---

DocPoemでは、アプリケーションから“ACEL DocPoem Image Driver”を指定して印刷を実行することで、実行した文書の印刷イメージを取り込みプレビュー表示することができます。

アプリケーションからの印刷実行時に、印刷するプリンタとして“ACEL DocPoem Image Driver”を選択してください。DocPoemが起動していない場合はDocPoemが起動し、印刷イメージをプレビュー表示します。

すでにDocPoemが起動しており、編集中のDocPoem文書が存在する場合は編集中のDocPoem文書の後ろに新たなセクションを作成して、編集中のDocPoem文書に束ねられます。

---

### 12.2 文書ファイルの取り込み

---

DocPoemの画面に文書ファイルを直接ドラッグ&ドロップするなどの方法で、アプリケーションを起動しなくても、文書ファイルを取り込み、印刷イメージをプレビュー表示することができます。

ここでは、DocPoemに直接取り込むことが可能なファイルの条件、および取り込み操作の方法について説明します。

直接取り込むことができなかったファイルは、“ACEL DocPoem Image Driver”を使用して取り込んでください。

---

#### 12.2.1 取り込み可能な文書ファイル

---

DocPoemに直接取り込むことが可能な文書ファイルについて説明します。

- (1) アプリケーションファイル

文書ファイルに対して実行するアプリケーションの印刷が関連付けられている文書を取り込むことができます。

## (2) 書庫ファイル

ZIP形式または、LZH形式で圧縮されたファイルは、自動解凍してDocPoemに取り込むことができます。

以下のDLLファイルがWindowsフォルダ、Windowsのシステムフォルダ、パスの通ったフォルダまたは、DocPoemのインストール先フォルダにあらかじめ必要です。

①ZIP形式ファイルを解凍する場合は、UNZIP32.dllが必要です。

②LZH形式ファイルを解凍する場合は、UNLHA32.dllが必要です。

書庫内のファイルはDocPoemの作業用フォルダに解凍し、そこからDocPoemに取り込みます。

## (3) イメージファイル

BMP、TIFF、JPEG形式のイメージファイルは、アプリケーションに印刷の関連付けがされていない場合でも直接取り込むことができます。ただし圧縮形式によっては取り込むことができない物もあります。取り込むことができなかったファイルは、アプリケーションから“ACEL DocPoem Image Driver“を使用して取り込んでください。

## (4) インターネットファイル

Eメールの添付文書や、Webブラウザ上のファイルへのリンクを、DocPoemの画面へドラッグ&ドロップすることでDocPoemに取り込むことができます。

## (5) DocPoem 文書

DocPoem文書は、DocPoem上でレイアウトしたままの状態を保存するDocPoemのファイル形式です。

## (6) フォルダ

フォルダを直接指定して取り込むことができます。フォルダを指定した場合、配下

の文書ファイル全てが取り込みの対象となります。

サブフォルダを持つフォルダを指定した場合、全てのサブフォルダの文書ファイルが取り込みの対象となります。この場合、フォルダ取り込み確認ダイアログが表示されます。

---

## 12.2.2 取り込み方法

---

DocPoem直接文書ファイルを取り込む方法について説明します。

### (1) ドラッグ&ドロップ

取り込みたいファイルまたはフォルダを、エクスプローラなどからドラッグし、DocPoemのツリービュー画面かプレビュー画面上でドロップします。

### (2) ファイルの取り込み

次の方法で「開く」ダイアログを表示し、取り込むファイルを選択します。

- ①メニューバーから [ファイル] - [ファイルの取り込み] メニューを選択します。
- ②標準ツールバーの [ファイルの取り込み] ボタンをクリックします。
- ③Ctrl + O キーを押します。

ファイルを取り込む際、すでにDocPoem上に編集中のDocPoem文書があった場合、[ファイルの取り込み] ダイアログが表示されます。

### (3) フォルダの取り込み

メニューバーから [ファイル] - [フォルダの取り込み] メニューを選択し、「フォルダの参照」ダイアログから取り込むフォルダを選択します。

取り込むフォルダの配下にサブフォルダがある場合、[フォルダ取り込み] ダイアログが表示されます。

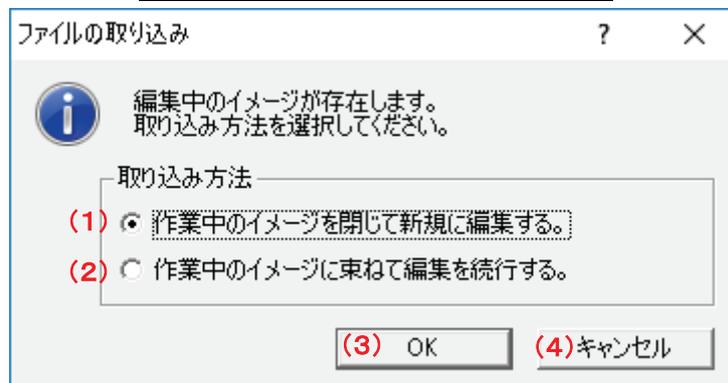
---

#### 12.2.2.1 [ファイルの取り込み] ダイアログ

---

[ファイルの取り込み] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 12.2.2.1 [ファイルの取り込み]ダイアログ



- (1) [作業中のイメージを閉じて新規に編集する。]ラジオボタン
- (2) [作業中のイメージに束ねて編集を続行する。]ラジオボタン

機能

- ・編集中の文書が存在する場合に、新たな文書を取り込む時の取り込み方を指定します。
- ・[作業中の文書を閉じて新規に編集する。]を選択した場合、現在開いている文書を閉じてから新たな文書を取り込みます。
- ・[作業中の文書に束ねて編集を続行する。]を選択した場合、現在開いている文書の末尾に新たな文書を束ねます。

操作

- ・初期値は、[作業中の文書を閉じて新規に編集する]になっています。

- (3) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

- (4) [キャンセル]ボタン

機能

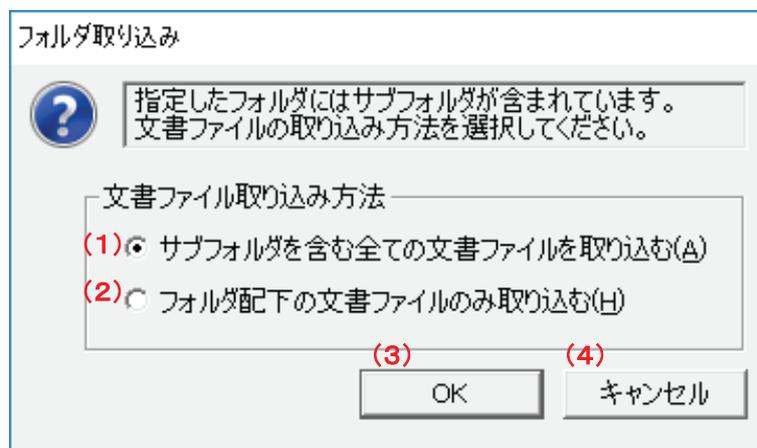
- ・処理を中断し画面を閉じます。

### 12.2.2.2 [フォルダ取り込み] ダイアログ

---

[フォルダ取り込み] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 12.2.2.2 [フォルダ取り込み]ダイアログ



(1) [サブフォルダを含む全ての文書ファイルを取り込む]ラジオボタン

(2) [フォルダ配下の文書ファイルのみ取り込む]ラジオボタン

#### 機能

- ・取り込むフォルダ配下にサブフォルダが存在する場合、どこまでのファイルを取り込むかを指定します。
- ・[サブフォルダを含む全ての文書ファイルを取り込む]を選択した場合、サブフォルダ配下のファイルも全て取り込みます。
- ・[フォルダ配下の文書ファイルのみ取り込む]を選択した場合、指定したフォルダ直下にあるファイルだけを取り込みます。

#### 操作

- ・初期値は、[サブフォルダを含む全ての文書ファイルを取り込む]になっています。

(3) [OK]ボタン

#### 機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

(4) [キャンセル]ボタン

#### 機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

---

## 12.3 DocPoem 文書の保存

---

DocPoem文書は、DocPoem上でレイアウトしたままの状態を保存するDocPoemのファイ

ル形式です。DocPoemに取り込んだ文書をDocPoem文書として保存する方法について説明します。

#### (1) 自動保存

印刷したDocPoem文書をキャビネットの「印刷文書」フォルダに自動保存します。

自動保存実行の有無は「オプション」ダイアログの[印刷完了情報]タブ、[印刷完了後、印刷イメージをキャビネットに保存します]チェックボックスで指定します。

#### (2) 編集保存

現在開いているDocPuem文書をキャビネットの「保存文書」フォルダに保存します。保存時のファイル名は保存した年月日および日時と連番で自動生成されます。

次の方法で編集保存を実行します。

- ①メニューバーから [ファイル] - [編集保存] メニューを選択します。
- ②標準ツールバーの [編集保存] ボタンをクリックします。
- ③Ctrl + S キーを押します。

#### (3) 名前を付けて保存

現在開いているDocPoem文書を任意の場所に任意の名前で保存します。メニューバーから [ファイル] - [名前を付けて保存] メニューを選択します。

---

---

## 13. メニュー

---

---

DocPoem のメニューコマンドについて説明します。

---

### 13.1 メニューバー

---

DocPoem のメニューバー構成および、操作について説明します。

---

#### 13.1.1 [ファイル] メニュー

---

文書ファイルの取り込みや DocPoem 文書の保存など、ファイル操作に関するメニューコマンドです。

---

##### 13.1.1.1 [ファイル] – [ファイルの取り込み]

---

###### 機能

- ・選択されたファイルを DocPoem に取り込みます。

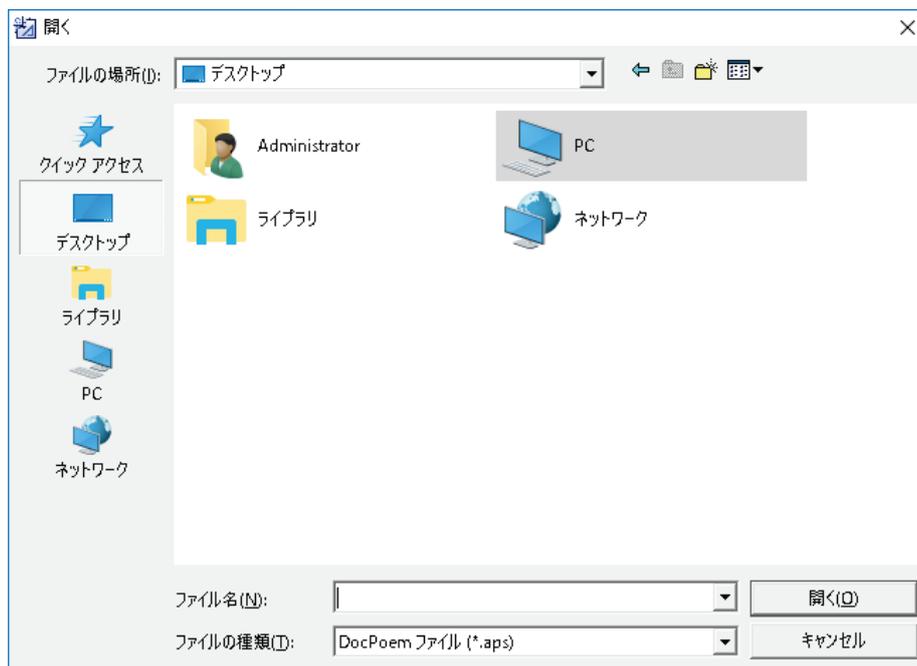
###### 操作

- ・「開く」ダイアログを表示します。

###### その他の操作

- ・標準ツールバーから[開く]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + O キーを押します。

図 13.1.1.1 「開く」ダイアログ



### 13.1.1.2 「ファイル」－「フォルダの取り込み」

---

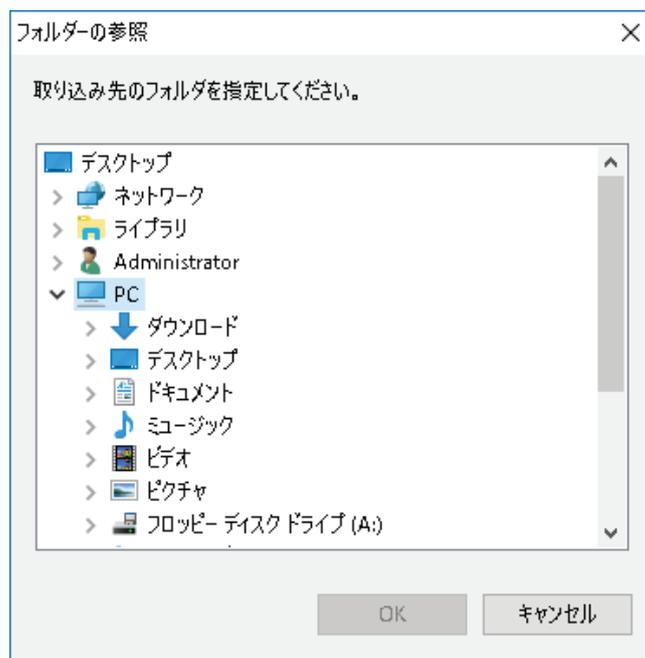
#### 機能

- ・選択されたフォルダ配下のファイルを DocPoem に取り込みます。

#### 操作

- ・「フォルダの参照」ダイアログを表示します。

図 13.1.1.2 [フォルダの参照]ダイアログ



### 13.1.1.3 [ファイル] - [閉じる]

#### 機能

- ・現在開いている DocPoem 文書を閉じます。

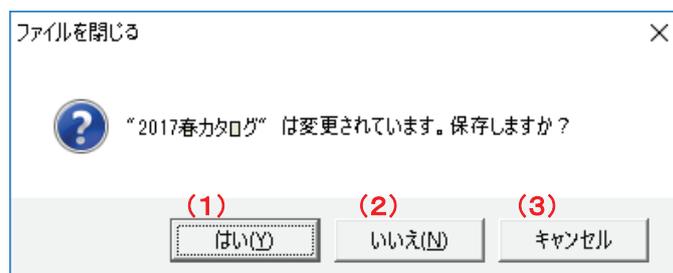
#### 操作

- ・ファイルの保存を行わなければ変更内容が失われてしまう場合は、「ファイルを閉じる」メッセージを表示してファイルの編集保存を問い合わせます。

#### その他の操作

- ・標準ツールバーから[閉じる]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + F4 キーを押します。

図 13.1.1.3 [ファイルを閉じる]メッセージ



(1) [はい]ボタン

#### 機能

- ・編集保存を行い、文書を閉じます。

#### (2) [いいえ] ボタン

#### 機能

- ・保存せずに文書を閉じます。

#### (3) [キャンセル] ボタン

#### 機能

- ・文書を閉じずに処理を中断します。

### 13.1.1.4 [ファイル] – [編集保存]

---

#### 機能

- ・現在開いている DocPoem 文書をキャビネットの[保存文書]フォルダに保存します。
- ・保存時のファイル名は保存した年月日および日時と連番で自動生成されます。

#### その他の操作

- ・標準ツールバーから[編集保存]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + S キーを押します。

### 13.1.1.5 [ファイル] – [名前を付けて保存]

---

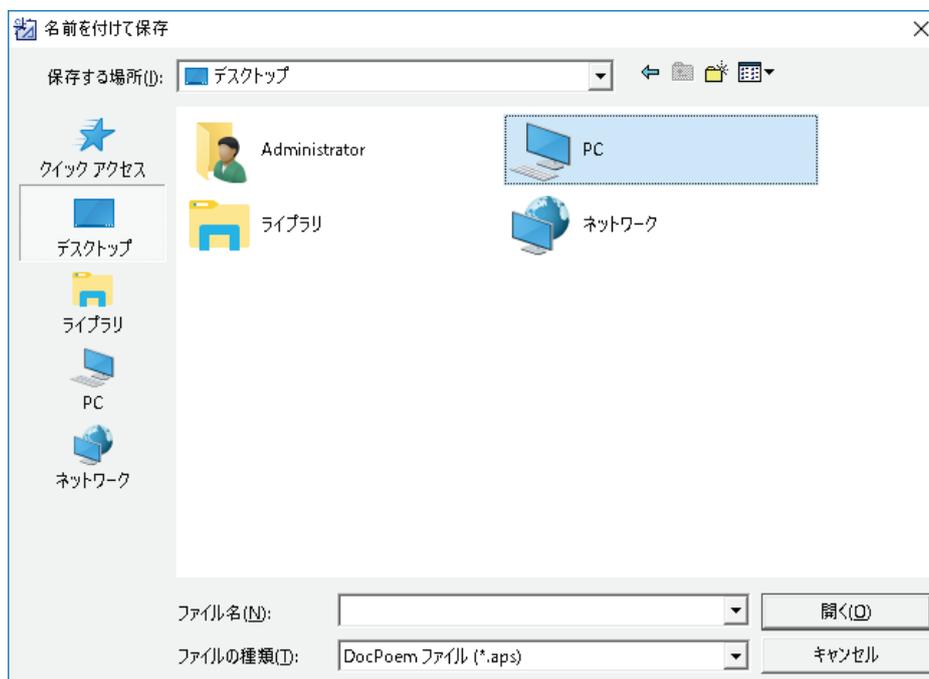
#### 機能

- ・現在開いている DocPoem 文書を任意の場所に任意の名前で保存します。

#### 操作

- ・「名前を付けて保存」ダイアログを表示します。

図 13.1.1.5 [名前を付けて保存]ダイアログ



#### 13.1.1.6 [ファイル] - [フォーム登録]

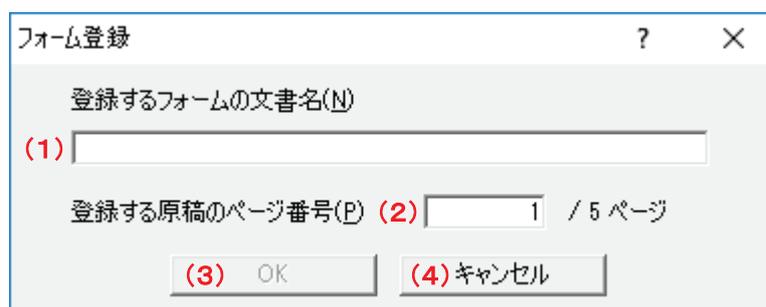
##### 機能

- ・現在開いている DocPoem 文書の任意の原稿を DocPoem のフォームとして登録します。

##### 操作

- ・「フォーム登録」ダイアログを表示します。

図 13.1.1.6 [フォーム登録]ダイアログ



#### (1) [登録するフォームの文書名]入力ボックス

##### 機能

- ・登録するフォームの文書名を指定します。
- ・登録したフォームは、キャビネットに保存します。

#### 操作

- ・最大半角で 64 文字の半角、または全角文字が指定可能です。
- ・¥ / : \* ? " < > | . ; の半角文字は指定できません。

#### (2) [登録する原稿のページ番号]入力ボックス

##### 機能

- ・フォームとして登録する原稿のページ番号を指定します。

##### 操作

- ・総ページ数(原稿の数)までの半角数字のみ指定可能です。
- ・総ページ数(原稿の数)を表示しています。
- ・初期値は、現在選択されているページ番号になっています。

#### (3) [OK]ボタン

##### 機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

#### (4) [キャンセル]ボタン

##### 機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

### 13.1.1.7 [ファイル] - [プロパティ]

---

##### 機能

- ・現在開いている DocPoem 文書の用紙情報を表示します。

##### 操作

- ・「プロパティ」ダイアログを表示します。

図 13.1.1.7 [プロパティ]ダイアログ



#### その他の操作

- ・標準ツールバーから[プロパティ]ボタンをクリックします。

### 13.1.1.8 [ファイル] — [終了]

---

#### 機能

- ・DocPoem を終了します。

#### 操作

- ・ファイルの保存を行わなければ変更内容が失われてしまう場合は、「ファイルを閉じる」メッセージを表示してファイルの編集保存を問い合わせます。
- ・タスクトレイに常駐するよう設定されている場合は、タスクトレイに収められます。

#### その他の操作

- ・ツールバーから[終了]ボタンをクリックします。
- ・Alt + F4 キーを押します。

---

## 13.1.2 [編集] メニュー

---

文書構成の編集操作に関するメニューコマンドです。

### 13.1.2.1 [編集] - [元に戻す]

---

「5.2.2.1 元に戻す」を参照してください。

### 13.1.2.2 [編集] - [やり直し]

---

「5.2.2.2 やり直し」を参照してください。

### 13.1.2.3 [編集] - [最初からやり直し]

---

#### 機能

- ・DocPoemに取り込んだ時の状態または、最後に DocPoem 文書に保存した時の状態まで操作を戻します。

### 13.1.2.4 [編集] - [切り取り]

---

「5.2.3.1 切り取り」を参照してください。

### 13.1.2.5 [編集] - [コピー]

---

「5.2.3.2 コピー」を参照してください。

### 13.1.2.6 [編集] - [貼り付け]

---

「5.2.3.3 貼り付け」を参照してください。

### 13.1.2.7 [編集] - [削除]

---

「5.2.3.4 削除」を参照してください。

---

### 13.1.3 [表示] メニュー

---

プレビュー画面、ツリービュー画面の表示方法や、選択単位の変更など、表示操作のメニューコマンドです。

#### 13.1.3.1 [表示] - [全ての構成をツリー表示]

---

「7.3.1 ツリービューメニュー」の「(1)[全ての構成をツリー表示]」を参照してください。

#### 13.1.3.2 [表示] - [縮小版ツリー表示]

---

「7.3.1 ツリービューメニュー」の「(2)[縮小版ツリー表示]」を参照してください。

#### 13.1.3.3 [表示] - [原稿イメージ表示]

---

##### 機能

- ・プレビュー画面を「印刷原稿」ビュー表示に切り替えます。

##### 操作

- ・プレビュー画面が「印刷原稿」ビュー表示になっている場合はチェックマークが付きます。

#### 13.1.3.4 [表示] - [用紙イメージ表示] - [単一表示]

---

##### 機能

- ・プレビュー画面を「用紙イメージ」ビューの単一表示に切り替えます。

##### 操作

- ・プレビュー画面が「用紙イメージ」ビューの単一表示になっている場合はチェックマークが付きます。

#### 13.1.3.5 [表示] - [用紙イメージ表示] - [連続表示]

---

##### 機能

- ・プレビュー画面を「用紙イメージ」ビューの連続表示に切り替えます。

##### 操作

- ・プレビュー画面が「用紙イメージ」ビューの連続表示になっている場合はチェックマークが付きます。

### 13.1.3.6 [表示] - [仕上がりイメージ表示] - [片面表示]

---

#### 機能

- ・プレビュー画面を「仕上がりイメージ」ビューの片面表示に切り替えます。

#### 操作

- ・プレビュー画面が「仕上がりイメージ」ビューの片面表示になっている場合はチェックマークが付きます。

### 13.1.3.7 [表示] - [仕上がりイメージ表示] - [見開き表示]

---

#### 機能

- ・プレビュー画面を「仕上がりイメージ」ビューの見開き表示に切り替えます。

#### 操作

- ・プレビュー画面が「仕上がりイメージ」ビューの見開き表示になっている場合はチェックマークが付きます。

### 13.1.3.8 [表示] - [先頭のページ]

---

「5.2.1.6 先頭ページへ移動」を参照してください。

### 13.1.3.9 [表示] - [前のページ]

---

「5.2.1.7 前のページへ移動」を参照してください。

### 13.1.3.10 [表示] - [次のページ]

---

「5.2.1.8 次のページへ移動」を参照してください。

### 13.1.3.11 [表示] - [最終のページ]

---

「5.2.1.9 最終のページへ移動」を参照してください。

### 13.1.3.12 [表示] - [ページ指定]

---

「5.2.1.10 指定ページへ移動」を参照してください。

### 13.1.3.13 [表示] - [選択]

---

- 「5.2.1.1 文書選択」、
- 「5.2.1.2 セクション選択」、
- 「5.2.1.3 用紙選択」、
- 「5.2.1.4 面選択」、
- 「5.2.1.5 原稿選択」を参照してください。

### 13.1.3.14 [表示] - [ズームイン]

---

#### 機能

- ・プレビュー画面の表示倍率を拡大します。

#### 操作

- ・選択のたびに 15%ずつ拡大表示し、最大 200%まで表示します。

### 13.1.3.15 [表示] - [ズームアウト]

---

#### 機能

- ・プレビュー画面の表示倍率を縮小します。

#### 操作

- ・選択のたびに 15%ずつ縮小表示し、最小 10%まで表示します。

### 13.1.3.16 [表示] - [100%表示]

---

#### 機能

- ・プレビュー画面の表示倍率を 100%にします。

#### 操作

- ・[100%表示]が選択されている場合はチェックマークが付きます。

### 13.1.3.17 [表示] - [ウィンドウに収める]

---

#### 機能

- ・表示内容がウィンドウ内に収まるよう表示倍率を自動調整します。

#### 操作

- ・[ウィンドウに収める]が選択されている場合はチェックマークが付きます。

### 13.1.3.18 [表示] - [ウィンドウの幅に合わせる]

---

#### 機能

- ・表示内容がウィンドウの幅に収まるよう表示倍率を自動調整します。

#### 操作

- ・[ウィンドウの幅に合わせる]が選択されている場合はチェックマークが付きます。

### 13.1.3.19 [表示] - [ズーム]

---

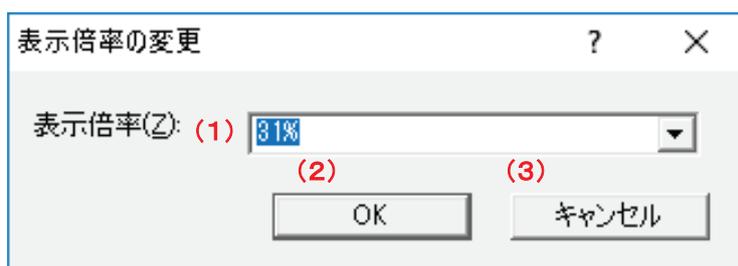
#### 機能

- ・表示倍率を任意の倍率に変更します。

#### 操作

- ・「表示倍率の変更」ダイアログを表示します。

図 13.1.3.19 [表示倍率の変更]ダイアログ



#### (1) [表示倍率]入力コンボボックス

##### 機能

- ・プレビュー画面の表示倍率を変更します。

##### 操作

- ・1%単位で指定できます。
- ・入力ボックスに 10～200 の半角数字で指定します。
- ・または、一覧から倍率を選択します。

#### (2) [OK]ボタン

##### 機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

#### (3) [キャンセル]ボタン

##### 機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

### 13.1.3.20 **【表示】** — **【全画面表示】**

---

#### 機能

- ・メニューバー、ツールバー、ステータスバーを隠し全画面表示します。

#### 操作

- ・全画面表示中は全画面表示解除のためのボタンが表示されます。

### 13.1.3.21 **【表示】** — **【タスクトレイに入れる】**

---

#### 機能

- ・DocPoem を Windows のタスクトレイに収めます。

#### その他の操作

- ・標準ツールバーから[タスクトレイに入れる]ボタンをクリックします。

### 13.1.3.22 **【表示】** — **【ツール バー】** — **【標準】**

---

#### 機能

- ・標準ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

#### 操作

- ・標準ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

### 13.1.3.23 **【表示】** — **【ツール バー】** — **【表示操作】**

---

#### 機能

- ・表示操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

#### 操作

- ・表示操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

### 13.1.3.24 **【表示】** — **【ツール バー】** — **【ページ操作】**

---

#### 機能

- ・ページ操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

#### 操作

- ・ページ操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

#### 13.1.3.25 [表示] - [ツール バー] - [お気に入り]

---

##### 機能

- ・お気に入りツールバーの表示／非表示を切り替えます。

##### 操作

- ・お気に入りツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

#### 13.1.3.26 [表示] - [ツール バー] - [用紙編集操作]

---

##### 機能

- ・用紙編集操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

##### 操作

- ・用紙編集操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

#### 13.1.3.27 [表示] - [ツール バー] - [仕上がり編集操作]

---

##### 機能

- ・仕上がり編集操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

##### 操作

- ・仕上がり編集操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

#### 13.1.3.28 [表示] - [ツール バー] - [管理ツール]

---

##### 機能

- ・管理ツールツールバーの表示／非表示を切り替えます。

##### 操作

- ・管理ツールツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

#### 13.1.3.29 [表示] - [ツール バー] - [プリンタ]

---

##### 機能

- ・プリンタビューの表示／非表示を切り替えます。

##### 操作

- ・プリンタビューを表示している場合はチェックマークが付きます。

### 13.1.3.30 [表示] - [ツール バー] - [設定情報]

---

#### 機能

- ・設定情報ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

#### 操作

- ・設定情報ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

### 13.1.3.31 [表示] - [ステータス バー]

---

#### 機能

- ・ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。

#### 操作

- ・ステータスバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

## 13.1.4 [挿入] メニュー

---

白紙原稿やセクションなどの、挿入操作のメニューコマンドです。

### 13.1.4.1 [挿入] - [改ページ]

---

「5.2.3.5 改ページ挿入」を参照してください。

### 13.1.4.2 [挿入] - [原稿]

---

「5.2.3.6 原稿挿入」を参照してください。

### 13.1.4.3 [挿入] - [用紙]

---

「5.2.3.7 用紙挿入」を参照してください。

### 13.1.4.4 [挿入] - [セクション]

---

「5.2.3.8 セクション挿入」を参照してください。

---

### 13.1.5 [イメージ] メニュー

---

現在 DocPoem に取り込まれている文書の印刷属性を操作するメニューコマンドです。

#### 13.1.5.1 [イメージ] - [原稿回転]

---

##### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」の原稿の向きを「回転しない」、「右 90 度」、「左 90 度」、「180 度」の中から選択します。
- ・「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」選択時に操作された場合、配下の原稿全てに設定が適用されます。

##### 操作

- ・現在設定されている原稿の向きにチェックマークが付きます。

#### 13.1.5.2 [イメージ] - [原稿レイアウト回転]

---

##### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」、「原稿」の原稿レイアウトの向きを「回転しない」、「右 90 度」、「左 90 度」、「180 度」の中から選択します。
- ・「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」選択時に操作された場合、配下の原稿全てに設定が適用されます。

##### 操作

- ・現在設定されている原稿レイアウトの向きにチェックマークが付きます。

#### 13.1.5.3 [イメージ] - [面回転]

---

##### 機能

- ・選択されている「文書」、「セクション」、「用紙」、「面」の面の向きを「回転しない」、「右 90 度」、「左 90 度」、「180 度」の中から選択します。
- ・「文書」、「セクション」、「用紙」選択時に操作された場合、配下の面全てに設定が適用されます。

##### 操作

- ・現在設定されている面の向きにチェックマークが付きます。

#### 13.1.5.4 [イメージ] – [両面]

---

- 「5.2.4.1 両面/片面」、
- 「5.2.4.2 長辺とじ/短辺とじ」を参照してください。

#### 13.1.5.5 [イメージ] – [まとめて1枚]

---

- 「5.2.4.3 まとめて1枚のレイアウト(1ページ~32ページ)」、
- 「5.2.4.4 まとめて1枚のレイアウト(ユーザ定義)」、
- 「5.2.4.5 まとめて1枚のレイアウト(拡張割り付け)」、
- 「5.2.4.6 まとめて1枚の割り付け順(定型)」、
- 「5.2.4.7 まとめて1枚の割り付け順(ユーザ定義)」を参照してください。

#### 13.1.5.6 [イメージ] – [枠線をつける]

---

- 「5.2.4.8 枠線をつける」を参照してください。

#### 13.1.5.7 [イメージ] – [用紙サイズ]

---

- 「5.2.4.9 用紙サイズ」を参照してください。

#### 13.1.5.8 [イメージ] – [給紙トレイ]

---

- 「5.2.4.10 給紙トレイ」を参照してください。

#### 13.1.5.9 [イメージ] – [ホチキス]

---

- 「5.2.4.15 ホチキス」を参照してください。

#### 13.1.5.10 [イメージ] – [パンチ]

---

- 「5.2.4.16 パンチ」、
- 「5.2.4.17 パンチ穴数」を参照してください。

#### 13.1.5.11 [イメージ] – [紙折り]

---

「5.2.4.18 紙折り」を参照してください。

#### 13.1.5.12 [イメージ] – [小冊子印刷]

---

「5.2.4.19 小冊子印刷」を参照してください。

#### 13.1.5.13 [イメージ] – [ダブルコピー]

---

「5.2.4.20 ダブルコピー」を参照してください。

#### 13.1.5.14 [イメージ] – [カタログ印刷]

---

「5.2.4.21 カatalog印刷」を参照してください。

#### 13.1.5.15 [イメージ] – [罫線補正]

---

「5.2.4.23 罫線補正」を参照してください。

#### 13.1.5.16 [イメージ] – [お気に入り一覧]

---

##### 機能

- ・ボタン登録されている「文書」属性のお気に入り現在開いている DocPoem 文書に適用します。

##### 操作

- ・サブメニューに表示されるボタン登録されているお気に入りを選択します。
- ・ボタン登録されているお気に入りがない場合、メニューは選択できません。

#### 13.1.5.17 [イメージ] – [プロパティ]

---

「5.2.4.22 プロパティ」を参照してください。

---

## 13.1.6 [プリンタ] メニュー

---

プリンタビューにおける操作を行うメニューコマンドです。

### 13.1.6.1 [プリンタ] – [大きいアイコンで表示]

---

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(1)[大きいアイコンで表示]」を参照してください。

### 13.1.6.2 [プリンタ] – [一覧で表示]

---

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(2)[一覧で表示]」を参照してください。

### 13.1.6.3 [プリンタ] – [最新の情報に更新]

---

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(5)[最新の情報に更新]」を参照してください。

### 13.1.6.4 [プリンタ] – [追加]

---

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(6)[追加]」を参照してください。

### 13.1.6.5 [プリンタ] – [削除]

---

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(7)[削除]」を参照してください。

### 13.1.6.6 [プリンタ] – [名前の変更]

---

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(8)[名前の変更]」を参照してください。

### 13.1.6.7 [プリンタ] – [セキュリティプリントする]

---

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(10)[セキュリティプリントする]」を参照してください。

### 13.1.6.8 [プリンタ] – [セキュリティプリント設定]

---

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(11)[セキュリティプリント設定]」を参照してください。

### 13.1.6.9 [プリンタ] – [認証情報設定]

---

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(12) [認証情報設定]」を参照してください。

### 13.1.6.10 [プリンタ] – [プロパティ]

---

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(13) [プロパティ]」を参照してください。

## 13.1.7 [ツール] メニュー

---

DocPoem をより快適にご使用いただくためのツールを提供するメニューコマンドです。

### 13.1.7.1 [ツール] – [お気に入りの編集]

---

#### 機能

- ・お気に入りの登録内容を編集します。

#### 操作

- ・「お気に入りの編集」ダイアログを表示します。

#### その他の操作

- ・お気に入りツールツールバーから[お気に入りの編集]ボタンをクリックします。

### 13.1.7.2 [ツール] – [出力履歴の参照]

---

#### 機能

- ・「ログビューワー」を起動します。

#### その他の操作

- ・管理ツールツールバーから[出力履歴の参照]ボタンをクリックします。

### 13.1.7.3 [ツール] – [キャビネット]

---

#### 機能

- ・「キャビネット」を起動します。

#### その他の操作

- ・管理ツールツールバーから[キャビネット]ボタンをクリックします。

#### 13.1.7.4 [ツール] – [オプション]

---

##### 機能

- ・DocPoem の動作環境を設定します。

##### 操作

- ・「オプション」ダイアログを表示します。

##### その他の操作

- ・標準ツールバーから[オプション]ボタンをクリックします。

---

#### 13.1.8 [ヘルプ] メニュー

---

ヘルプおよびバージョン情報の表示を行うメニューコマンドです。

##### 13.1.8.1 [ヘルプ] – [ヘルプ]

---

##### 機能

- ・DocPoem のヘルプを表示します。

##### その他の操作

- ・標準ツールバーから[ヘルプ]ボタンをクリックします。
- ・F1 キーを押します。

##### 13.1.8.2 [ヘルプ] – [バージョン情報]

---

##### 機能

- ・DocPoem のバージョン情報ダイアログを表示します。

---

### 13.2 タスクトレイのメニュー

---

DocPoem がタスクトレイに収められている場合のメニュー構成および、操作について説明します。メニューを開くには、タスクトレイにある DocPoem のアイコンをマウス右ボタンでクリックします。

#### (1) [開く]

##### 機能

- ・DocPoem をタスクトレイから出します。

#### その他の操作

- ・タスクトレイにある DocPoem のアイコンをマウス左ボタンでクリックします。

#### (2) [オプション]

##### 機能

- ・「オプション」ダイアログを表示します。

#### (3) [ヘルプ]

##### 機能

- ・DocPoem のヘルプを表示します。

#### (4) [バージョン情報]

##### 機能

- ・DocPoem のバージョン情報ダイアログを表示します。

#### (5) [終了]

##### 機能

- ・DocPoem を終了します。

---

---

## 14. ツールバー／ステータスバー

---

---

DocPoem のツールバー／ステータスバーについて説明します。

---

### 14.1 ツールバー

---

DocPoem のツールバー構成および、操作について説明します。

---

#### 14.1.1 標準ツールバー

---

ファイル操作や、文書構成の編集操作を行います。

(1) [プログラムの終了] 

「13.1.1.8 [ファイル]－[終了]」を参照してください。

(2) [ファイルの取り込み] 

「13.1.1.1 [ファイル]－[ファイルの取り込み]」を参照してください。

(3) [編集保存] 

「13.1.1.4 [ファイル]－[編集保存]」を参照してください。

(4) [閉じる] 

「13.1.1.3 [ファイル]－[閉じる]」を参照してください。

(5) [用紙情報] 

「13.1.1.7 [ファイル]－[プロパティ]」を参照してください。

(6) [元に戻す] 

「5.2.2.1 元に戻す」を参照してください。

(7) [やり直す] 

「5.2.2.2 やり直し」を参照してください。

(8) [切り取り] 

「5.2.3.1 切り取り」を参照してください。

(9) [コピー] 

「5.2.3.2 コピー」を参照してください。

(10) [貼り付け] 

「5.2.3.3 貼り付け」を参照してください。

(11) [削除] 

「5.2.3.4 削除」を参照してください。

(13) [全画面表示] 

「13.1.3.20 [表示]－[全画面表示]」を参照してください。

(13) [タスクトレイに入れる] 

「13.1.3.21 [表示]－[タスクトレイに入れる]」を参照してください。

(14) [オプション] 

「13.1.7.4 [ツール]－[オプション]」を参照してください。

(15) [ヘルプ] 

「13.1.8.1 [ヘルプ]－[ヘルプ]」を参照してください。

---

## 14.1.2 表示操作ツールバー

---

プレビュー画面の表示操作を行います。

(1) [ズームアウト] 

「13.1.3.15 [表示]－[ズームアウト]」を参照してください。

(2) [表示倍率]入力コンボボックス

**機能**

- ・プレビュー画面の表示倍率を設定します。

**操作**

- ・10～200%の範囲内で入力するか、コンボボックスの選択肢から表示倍率を選択します。

(3) [ズームイン] 

「13.1.3.14 [表示]－[ズームイン]」を参照してください。

(4) [100%表示] 

「13.1.3.16 [表示]－[100%表示]」を参照してください。

(5) [ウインドウに収める] 

「13.1.3.17 [表示]－[ウインドウに収める]」を参照してください。

(6) [ウインドウの幅に合わせる] 

「13.1.3.18 [表示]－[ウインドウの幅に合わせる]」を参照してください。

---

### 14.1.3 ページ操作ツールバー

---

現在のページの移動や選択単位の変更を行います。

(1) [先頭のページ] 

「5.2.1.6 先頭ページへ移動」を参照してください。

(2) [前のページ] 

「5.2.1.7 前のページへ移動」を参照してください。

(3) [次のページ] 

「5.2.1.8 次のページへ移動」を参照してください。

(4) [最終のページ] 

「5.2.1.9 最終のページへ移動」を参照してください。

(5) [ページ指定] 

「5.2.1.10 指定ページへ移動」を参照してください。

(6) [選択変更]     

「5.2.1.1 文書選択」、

「5.2.1.2 セクション選択」、

「5.2.1.3 用紙選択」、

- 「5.2.1.4 面選択」、  
「5.2.1.5 原稿選択」を参照してください。

---

#### 14.1.4 お気に入りツールバー

---

お気に入りの操作を行います。

##### (1) [お気に入り]コンボボックス

###### 機能

- ・「文書」属性のお気に入りを現在開いている DocPoem 文書に適用します。

###### 操作

- ・「文書」属性として登録されているお気に入りを選択します。
- ・お気に入りの適用後印刷属性が変更された場合、表示しているお気に入り名の後に「\*」が表示されます。

##### (2) [お気に入りの編集]

「13.1.7.1 [ツール]－[お気に入りの編集]」を参照してください。

---

#### 14.1.5 用紙編集操作ツールバー

---

用紙レイアウトの編集操作を行います。

##### (1) [両面/片面]

「5.2.4.1 両面/片面」を参照してください。

##### (2) [長辺とじ/短辺とじ]

「5.2.4.2 長辺とじ/短辺とじ」を参照してください。

##### (3) [まとめて一枚] (1 ページ)

「5.2.4.3 まとめて 1 枚のレイアウト(1 ページ～32 ページ)」を参照してください。

##### (4) [まとめて一枚] (2 ページ)

「5.2.4.3 まとめて 1 枚のレイアウト(1 ページ～32 ページ)」を参照してください。

##### (5) [まとめて一枚] (4 ページ)

「5.2.4.3 まとめて 1 枚のレイアウト(1 ページ～32 ページ)」を参照してください。

(6) [枠線] 

「13.1.5.6 [イメージ]—[枠線をつける]」を参照してください。

(7) [枠線補正] 

「5.2.4.23 罫線補正」を参照してください。

---

## 14.1.6 仕上がり編集操作ツールバー

---

文書の仕上がり状態の編集操作を行います。

(1) [部数]入力ボックス

「5.2.4.11 部数」を参照してください。

(2) [ソート] 

「5.2.4.12 ソート」を参照してください。

(3) [カラーモード] 

「5.2.4.13 カラーモード」を参照してください。

(4) [オフセット排出] 

「5.2.4.14 オフセット排出」を参照してください。

(5) [ホチキス] 

「5.2.4.15 ホチキス」を参照してください。

「5.2.4.23 [仕上げ]ダイアログ」を参照してください。

(6) [パンチ] 

「5.2.4.16 パンチ」、

「5.2.4.17 パンチ穴数」を参照してください。

「5.2.4.23 [仕上げ]ダイアログ」を参照してください。

(7) [紙折り] 

「5.2.4.18 紙折り」を参照してください。

「5.2.4.23 [仕上げ]ダイアログ」を参照してください。

(8) [小冊子印刷] 

「5.2.4.19 小冊子印刷」を参照してください。

(9) [ダブルコピー] 

「5.2.4.20 ダブルコピー」を参照してください。

(10) [カタログ印刷] 

「5.2.4.21 カタログ印刷」を参照してください。

---

### 14.1.7 管理ツールツールバー

---

「キャビネット」、「ログビューワー」のツールを起動します。

(1) [出力履歴の参照] 

「13.1.7.2 [ツール]－[出力履歴の参照]」を参照してください。

(2) [キャビネット] 

「13.1.7.3 [ツール]－[キャビネット]」を参照してください。

---

### 14.1.8 設定情報ツールバー

---

セキュリティプリントや認証情報の設定操作を行います。

(1) [セキュリティプリント設定] 

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(11) [セキュリティプリント設定]」を参照してください。

(2) [認証情報設定] 

「11.4 プリンタビューメニュー」の「(12) [認証情報設定]」を参照してください。

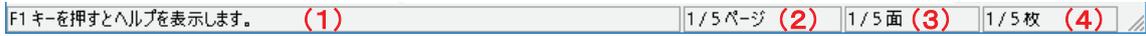
---

## 14.2 ステータスバー

---

DocPoem のステータスバー構成および、読み方について説明します。

図 14.2 ステータスバー



(1) 操作のヒント

機能

- ・行おうとする操作のヒントを表示します。

(2) 原稿情報

機能

- ・総原稿数と、現在の原稿の位置を表示します。

(3) 面情報

機能

- ・総面数と、現在の面の位置を表示します。

(4) 用紙情報

機能

- ・総用紙枚数と、現在の用紙の位置を表示します。

---

## 15. キャビネット

---

キャビネットの使い方、画面について説明します。

図 15 キャビネット



---

### 15.1 使い方

---

キャビネットは、DocPoem から編集保存や印刷後の自動保存機能で保存された DocPoem 文書、フォーム登録されたフォームファイルを管理することができるプログラムです。

- (1) キャビネットを起動する
- (2) DocPoem 文書を再編集する
- (3) DocPoem 文書を再印刷する
- (4) キャビネットを終了する

- (5) その他の操作

---

### 15.1.1 キャビネットを起動する

---

キャビネットは以下のいずれかの方法で起動します。

- (1) DocPoem メニューバー

DocPoemのメニューバーから、[ツール] - [キャビネット] メニューを選択します。

- (2) DocPoem ツールバー

DocPoemの [管理ツール] ツールバーから、[キャビネット] ボタンをクリックします。

- (3) スタートメニュー

[スタート] メニューから、[プログラム] - [エイセルパッケージ] - [DocPoem] メニューを選択し、「Cabinet」のショートカットアイコンをクリックします。

---

### 15.1.2 DocPoem 文書を再編集する

---

キャビネット上の DocPoem 文書は、DocPoem で再編集を行うことができます。

[ファイルリスト] 画面上で DocPoem 文書が 1 つも選択されていない場合および、複数の DocPoem 文書が選択されている場合は、再編集を行うことができません。

再編集は以下のいずれかの方法で行います。

- (1) メニューバー

メニューバーから、[編集] - [再編集] メニューを選択します。

- (2) ツールバー

ツールバーから、[再編集] ボタンをクリックします。

- (3) 右マウスメニュー

[ファイルリスト] 上で DocPoem 文書を選択した状態で右マウスメニューの [再編集] メニューを選択します。

---

### 15.1.3 DocPoem 文書を再印刷する

---

キャビネット上にある印刷済みの DocPoem 文書は、再度同じプリンタで印刷を行うことができます。再印刷は以下のいずれかの方法で行います。

[ファイルリスト]画面上で DocPoem 文書が 1 つも選択されていない場合および、複数の DocPoem 文書が選択されている場合は、再印刷を行うことができません。一度も印刷を行わずに保存された DocPoem 文書は、再印刷を行うことができません。

(1) メニューバー

メニューバーから、[ファイル] - [再印刷] メニューを選択します。

(2) ツールバー

ツールバーから、[再印刷] ボタンをクリックします。

(3) 右マウスメニュー

[ファイルリスト]画面上で DocPoem 文書を選択した状態で右マウスメニューの [再印刷] メニューを選択します。

---

### 15.1.4 キャビネットを終了する

---

キャビネットを終了するには、メニューバーから [ファイル] - [終了] メニューを選択します。

---

### 15.1.5 その他の操作

---

キャビネットのその他の操作について説明します。

(1) 新しいフォルダを作成する。

- ① [フォルダツリー]画面上で新しいフォルダを作成するフォルダを選択します。
- ② メニューバーの [ファイル] - [新規フォルダの作成] メニューを選択します。
- ③ 「新しいフォルダ」という名前でフォルダが作成されるので、フォルダ名を適当な名前に変更します。

(2) 文書名を変更する。

- ① [ファイルリスト] 画面上で文書名を変更したい DocPoem 文書を選択します。
- ② メニューバーの [編集] - [名前の変更] メニューを選択します。
- ③ 「文書名の変更」ダイアログが表示されるので、文書名の変更を行います。

(3) ファイル名を変更する。

- ① [ファイルリスト] 画面上で文書名を変更したい DocPoem 文書を選択します。
- ② [ファイルリスト] 画面の右マウスメニューで、[ファイル名の変更] メニューを選択します。
- ③ 「ファイル名の変更」ダイアログが表示されるので、ファイル名の変更を行います。
- ④ ファイル名に次の文字は使用できません。  
¥ / \* ? : . ; " < > |
- ⑤ ファイル名は変更できる最大バイト数までが指定可能です。絶対パスで 259 バイト以内になるよう、入力可能な文字数が制限されます。

---

## 15.2 画面の説明

---

キャビネットで使用する各画面について説明します。

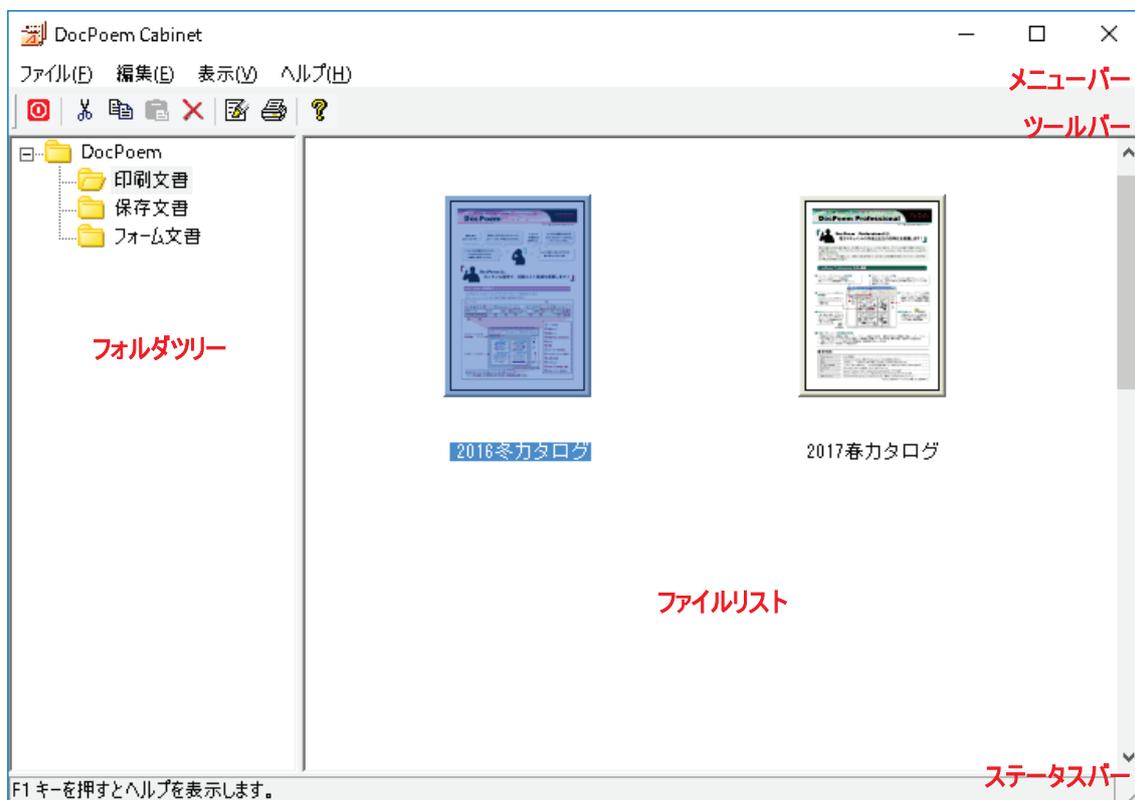
---

### 15.2.1 [キャビネットメイン] 画面

---

「キャビネットメイン」画面は、キャビネットのメインウィンドウです。「フォルダツリー」、「ファイルリスト」、「メニューバー」、「ツールバー」、「ステータスバー」で構成します。

図 15.2.1 [キャビネットメイン]画面



### 15.2.1.1 [フォルダツリー] 画面

フォルダツリーの画面体裁および、操作について説明します。

図 15.2.1.1 [フォルダツリー]画面



(1) [DocPoem]フォルダ

機能

- ・キャビネットのルートフォルダです。

操作

- ・選択によってフォルダの内容をファイル一覧に表示します。
- ・配下に新しいフォルダを作成することができます。

(2) [印刷文書]フォルダ

機能

- ・出力済みの文書が自動保存されるフォルダです。

操作

- ・選択によってフォルダの内容をファイル一覧に表示します。
- ・配下に新しいフォルダを作成することができます。

(3) [保存文書]フォルダ

機能

- ・編集保存機能を実行した文書が保存されるフォルダです。

操作

- ・選択によってフォルダの内容をファイル一覧に表示します。
- ・配下に新しいフォルダを作成することができます。

#### (4) [フォーム文書]フォルダ

##### 機能

- ・フォーム登録機能で登録されたフォームファイルが保存されるフォルダです。

##### 操作

- ・選択によってフォルダの内容をファイル一覧に表示します。
- ・配下に新しいフォルダを作成することができます。

### 15.2.1.2 [ファイルリスト] 画面

---

ファイルリストは、フォルダツリーで選択されているフォルダ内の DocPoem 文書を一覧表示します。

図 15.2.1.2 [ファイルリスト]画面



#### (1) サムネイル

##### 機能

- ・保存時の先頭ページのイメージをサムネイルで表示します。

#### 操作

- ・一覧で表示している場合は表示されません。

#### (2) 文書名

##### 機能

- ・保存時の文書名を表示します。

##### 操作

- ・一覧で表示している場合、項目名のクリックで文書名の昇順／降順に並び替えます。

#### (3) ファイル名

##### 機能

- ・Windows 上のファイル名を表示します。

##### 操作

- ・項目名のクリックでファイル名の昇順／降順に並び替えます。
- ・サムネイルで表示している場合は表示されません。

#### (4) 更新日時

##### 機能

- ・Windows 上のファイルの更新日時を表示します。

##### 操作

- ・項目名のクリックで更新日時の昇順／降順に並び替えます。
- ・サムネイルで表示している場合は表示されません。

#### (5) ファイルサイズ

##### 機能

- ・Windows 上のファイルサイズを表示します。

##### 操作

- ・項目名のクリックでファイルサイズの昇順／降順に並び替えます。
- ・サムネイルで表示している場合は表示されません。

### 15.2.1.3 メニューバー

---

キャビネットのメニューバー構成および、操作について説明します。

#### [ファイル]メニュー

(1) [新規フォルダの作成]

機能

- ・現在選択されているフォルダの配下に新しいフォルダを作成します。

その他の操作

- ・フォルダツリーの右マウスメニューから[新規フォルダの作成]メニューを選択します。

(2) [再印刷]

機能

- ・ファイルリストで選択されている文書が印刷済みの文書の場合、再度同じプリンタで印刷を行います。

操作

- ・ファイルが選択されていない場合や、複数のファイルが選択されている場合は、メニューを選択できません。
- ・文書に印刷を行った履歴がない場合は、メニューを選択できません。

その他の操作

- ・ツールバーから[再印刷]ボタンをクリックします。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[再印刷]メニューを選択します。

(3) [終了]

機能

- ・キャビネットを終了します。

その他の操作

- ・ツールバーから[終了]ボタンをクリックします。
- ・Alt + F4 キーを押します。

**[編集]メニュー**

(1) [再編集]

機能

- ・ファイルリストで選択されている文書の再編集を行います。

操作

- ・ファイルが選択されていない場合や、複数のファイルが選択されている場合は、メニューを選択できません。

その他の操作

- ・ツールバーから[再編集]ボタンをクリックします。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[再編集]メニューを選択します。

## (2) [切り取り]

### 機能

- ・ファイルリストで選択されている文書を切り取って、クリップボードに保存します。

### その他の操作

- ・ツールバーから[切り取り]ボタンをクリックします。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[切り取り]メニューを選択します。
- ・Ctrl + X キーを押します。

## (3) [コピー]

### 機能

- ・ファイルリストで選択されている文書をコピーして、クリップボードに保存します。

### その他の操作

- ・ツールバーから[コピー]ボタンをクリックします。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[コピー]メニューを選択します。
- ・Ctrl + C キーを押します。

## (4) [貼り付け]

### 機能

- ・クリップボードの内容を貼り付けます。

### その他の操作

- ・ツールバーから[貼り付け]ボタンをクリックします。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[貼り付け]メニューを選択します。
- ・Ctrl + V キーを押します。

## (5) [削除]

### 機能

- ・現在アクティブなビューで選択されているフォルダまたは、文書を削除します。

### 操作

- ・フォルダツリーがアクティブな場合、任意で作成したフォルダ以外のフォルダが選択されている時はメニューを選択できません

### その他の操作

- ・ツールバーから[削除]ボタンをクリックします。
- ・フォルダツリーまたは、ファイルリストの右マウスメニューで、[削除]メニューを選択します。
- ・Delete キーを押します。

## (6) [名前の変更]

### 機能

- ・現在アクティブなビューで選択されているフォルダまたは、文書のフォルダ名または文書名を変更します。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[文書名の変更]メニューを選択します。
- ・F2 キーを押します。

## [表示]メニュー

### (1) [サムネイルで表示]

#### 機能

- ・ファイルリストの内容をサムネイルと文書名で表示します。

#### 操作

- ・サムネイルで表示している場合はチェックマークが付きます。

#### その他の操作

- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[サムネイルで表示]メニューを選択します。

### (2) [一覧で表示]

#### 機能

- ・ファイルリストの内容を一覧表示します。

#### 操作

- ・一覧で表示している場合はチェックマークが付きます。

#### その他の操作

- ・ツールバーから[削除]ボタンをクリックします。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[一覧で表示]メニューを選択します。

### (3) [アイコンの整列]

#### 機能

- ・ファイルリストの内容を[文書名]、[ファイル名]、[更新日時]、[ファイルサイズ]のいずれかで並び替えます。

#### 操作

- ・現在の並び順にチェックマークが付きます。
- ・すでにチェックマークが付いている項目を再度選択した場合、並びの昇順／降順が切り替わります。

#### その他の操作

- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[アイコンの整列]メニューを選択します。

(4) [最新の情報に更新]

機能

- ・フォルダツリーおよび、ファイルリストの内容を最新の情報で更新します。

その他の操作

- ・フォルダツリーまたは、ファイルリストの右マウスメニューで、[最新の情報に更新]メニューを選択します。

(5) [ツールバー]

機能

- ・ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

(6) [ステータスバー]

機能

- ・ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・ステータスバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

[ヘルプ]メニュー

(1) [ヘルプ]

機能

- ・キャビネットのヘルプを表示します。

その他の操作

- ・ツールバーから[ヘルプ]ボタンをクリックします。
- ・F1 キーを押します。

(2) [バージョン情報]

機能

- ・キャビネットのバージョン情報ダイアログを表示します。

**15.2.1.4 ツールバー**

---

キャビネットのツールバー構成および、操作について説明します。

(1) [終了] 

機能

- ・キャビネットを終了します。

その他の操作

- ・メニューバーから[ファイル]—[終了]メニューを選択します。
- ・Alt + F4 キーを押します。

(2) [切り取り] 

機能

- ・ファイルリストで選択されている文書を切り取って、クリップボードに保存します。

その他の操作

- ・メニューバーから[編集]—[切り取り]メニューを選択します。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[切り取り]メニューを選択します。
- ・Ctrl + X キーを押します。

(3) [コピー] 

機能

- ・ファイルリストで選択されている文書をコピーして、クリップボードに保存します。

その他の操作

- ・メニューバーから[編集]—[コピー]メニューを選択します。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[コピー]メニューを選択します。
- ・Ctrl + C キーを押します。

(4) [貼り付け] 

機能

- ・クリップボードの内容を貼り付けます。

その他の操作

- ・メニューバーから[編集]—[貼り付け]メニューを選択します。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[貼り付け]メニューを選択します。
- ・Ctrl + V キーを押します。

(5) [削除] 

機能

- ・現在アクティブなビューで選択されているフォルダまたは、文書を削除します。

その他の操作

- ・メニューバーから[編集]—[削除]メニューを選択します。

- ・フォルダツリーまたは、ファイルリストの右マウスメニューで、[削除]メニューを選択します。
- ・Delete キーを押します。

#### (6) [再編集]

##### 機能

- ・ファイルリストで選択されている文書の再編集を行います。

##### 操作

- ・ファイルが選択されていない場合や、複数のファイルが選択されている場合は、ボタンを選択できません。

##### その他の操作

- ・メニューバーから[編集]ー[再編集]メニューを選択します。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[再編集]メニューを選択します。

#### (7) [再印刷]

##### 機能

- ・ファイルリストで選択されている文書が印刷済みの文書の場合、再度同じプリンタで印刷を行います。

##### 操作

- ・ファイルが選択されていない場合や、複数のファイルが選択されている場合は、ボタンを選択できません。
- ・文書に印刷を行った履歴がない場合は、ボタンを選択できません。

##### その他の操作

- ・メニューバーから[ファイル]ー[再印刷]メニューを選択します。
- ・ファイルリストの右マウスメニューで、[再印刷]メニューを選択します。

#### (8) [ヘルプ]

##### 機能

- ・キャビネットのヘルプを表示します。

##### その他の操作

- ・メニューバーから[ヘルプ]ー[ヘルプ]メニューを選択します。
- ・F1 キーを押します。

### 15.2.1.5 ステータスバー

---

キャビネットのステータスバーには、メニューやツールバーの項目の意味を表示します。

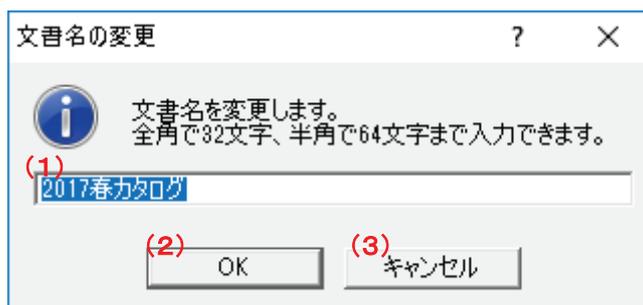
---

## 15.2.2 [文書名の変更] ダイアログ

---

[文書名の変更] ダイアログは、キャビネット上で閲覧できる DocPoem 文書の文書名を変更するためのダイアログです。

図 15.2.2 [文書名の変更]ダイアログ



### (1) [文書名] 入力ボックス

#### 機能

- ・新しい文書名を入力します。

#### 操作

- ・入力ボックスに直接文字を入力します。
- ・最大半角で 64 文字の半角、または全角文字が指定可能です。

### (2) [OK] ボタン

#### 機能

- ・変更内容を保存し、画面を閉じます。

### (3) [キャンセル] ボタン

#### 機能

- ・処理を中断し、画面を閉じます。

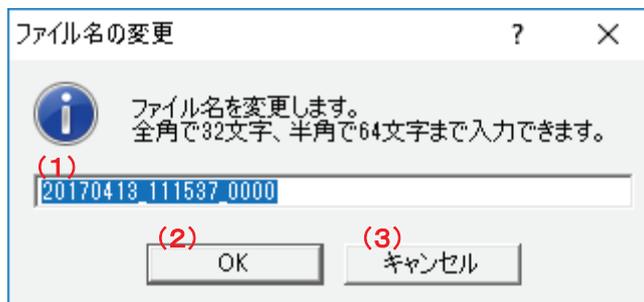
---

## 15.2.3 [ファイル名の変更] ダイアログ

---

[ファイル名の変更] ダイアログは、キャビネット上で閲覧できる DocPoem 文書のファイル名を変更するためのダイアログです。

図 15.2.3 [ファイル名の変更]ダイアログ



(1) [ファイル名] 入力ボックス

機能

- ・新しいファイル名を入力します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字を入力します。
- ・ファイル名に次の文字列は使用できません。  
¥ / \* ? : . ; " < > |
- ・ファイル名は変更できる最大バイト数まで入力できます。(絶対パスで 259 バイト以内になるように設定されています。)

(2) [OK] ボタン

機能

- ・変更内容を保存し、画面を閉じます。

(3) [キャンセル] ボタン

機能

- ・処理を中断し、画面を閉じます。

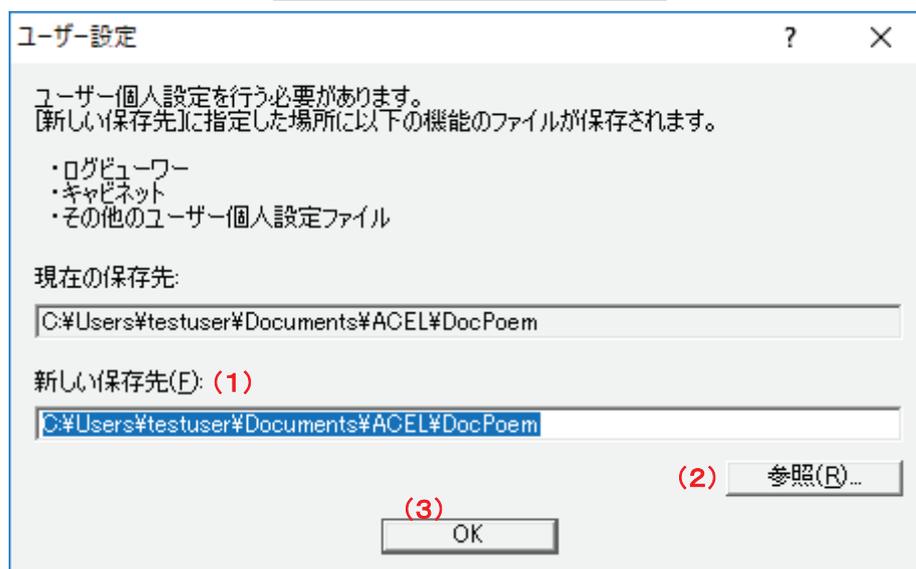
---

## 15.2.4 [ユーザー設定] ダイアログ

---

キャビネット起動時にユーザー設定が必要な場合、[ユーザー設定] ダイアログが表示されます。

図 15.2.4 [ユーザー設定]ダイアログ



(1) [新しい保存先]入力ボックス

機能

- ・ユーザー個人設定の新しい保存先を指定します。

操作

- ・参照ボタンを押下すると[フォルダの参照]ダイアログが表示され、ユーザー個人設定の新しい保存先を選択することができます。
- ・直接入力することができます。

(2) [参照]ボタン

機能

- ・[フォルダの参照]ダイアログを表示します。
- ・ユーザー設定の新しい保存先を選択します。

(3) [OK]ボタン

機能

- ・変更内容を保存し、画面を閉じます。

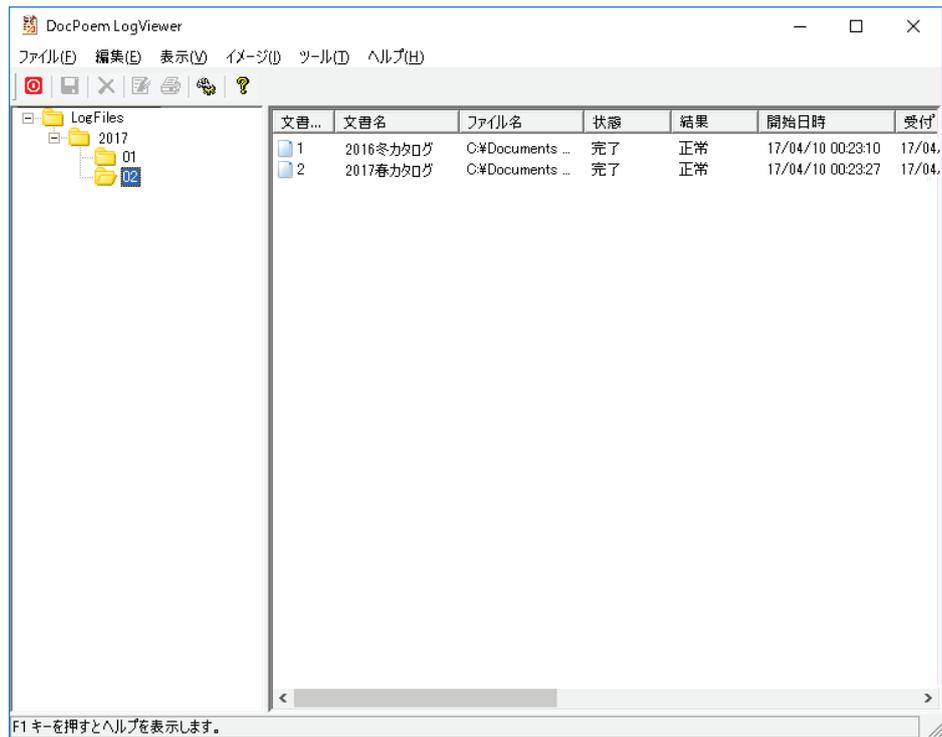
---

## 16. ログビューワー

---

ログビューワーの使い方、画面について説明します。

図 16 ログビューワー



---

### 16.1 使い方

---

ログビューワーは、DocPoem からの出力履歴を参照するためのプログラムです。

- (1) ログビューワーを起動する
- (2) DocPoem 文書を再編集する
- (3) DocPoem 文書を再印刷する
- (4) ログをエクスポートする
- (5) ログビューワーを終了する

- (6) その他の操作

---

### 16.1.1 ログビューワーを起動する

---

ログビューワーは以下のいずれかの方法で起動します。

- (1) DocPoem メニューバー

DocPoemのメニューバーから、[ツール] - [出力履歴の参照] メニューを選択します。

- (2) DocPoem ツールバー

DocPoemの [管理ツール] ツールバーから、[出力履歴の参照] ボタンをクリックします。

- (3) スタートメニュー

[スタート] メニューから、[プログラム] → [エイセルパッケージ] → [DocPoem] メニューを選択し、「LogViewer」のショートカットアイコンをマウスでクリックします。

---

### 16.1.2 DocPoem 文書を再編集する

---

出力時の DocPoem 文書自動保存機能が有効な場合、ログの情報から自動保存された DocPoem 文書の再編集を行うことができます。

[ログリスト] 画面上でログが 1 つも選択されていない場合および、複数のログが選択されている場合は、再編集を行うことができません。出力時に DocPoem 文書の自動保存を行わなかった場合は、再編集を行うことができません。自動保存された DocPoem 文書のファイル名を変更したり、ファイルを削除したり、移動したりした場合は、再編集を行うことができません。

再編集は以下のいずれかの方法で行います。

- (1) メニューバー

メニューバーから、[編集] - [再編集] メニューを選択します。

- (2) ツールバー

ツールバーから、[再編集] ボタンをクリックします。

(3) 右マウスメニュー

[ログリスト] 画面上でログ選択した状態で、右マウスメニューの [再編集] メニューを選択します。

(4) ダブルクリック

再編集を行いたいログをダブルクリックします。

---

### 16.1.3 DocPoem 文書を再印刷する

---

出力時の DocPoem 文書自動保存機能が有効な場合、ログの情報から自動保存された DocPoem 文書の再印刷を行うことができます。

[ログリスト] 画面上でログが 1 つも選択されていない場合および、複数のログが選択されている場合は、再印刷を行うことができません。出力時に DocPoem 文書の自動保存を行わなかった場合は、再印刷を行うことができません。自動保存された DocPoem 文書のファイル名を変更したり、ファイルを削除したり、移動したりした場合は、再印刷を行うことができません。

再印刷は以下のいずれかの方法で行います。

(1) メニューバー

メニューバーから、[ファイル] - [再印刷] メニューを選択します。

(2) ツールバー

ツールバーから、[再印刷] ボタンをクリックします。

(3) 右マウスメニュー

[ログリスト] 画面上でログを選択した状態で右マウスメニューの [再印刷] メニューを選択します。

---

### 16.1.4 ログをエクスポートする

---

月単位のログを CSV (カンマ区切り) 形式のファイルにエクスポートすることができます。エクスポートは、以下の手順で行います。

- (1) [ログツリー] 画面上で、エクスポートする月のフォルダを選択します。
- (2) メニューバーの [ファイル] - [エクスポート] メニューを選択します。
- (3) Windows の「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
- (4) 保存するファイル名を指定し、[保存] ボタンを押します。

---

### 16.1.5 ログビューワーを終了する

---

ログビューワーを終了するには、メニューバーから [ファイル] - [終了] メニューを選択します。

---

### 16.1.6 その他の操作

---

ログビューワーのその他の操作について説明します。

#### (1) ログを自動削除する

ログビューワーの起動時に、一定日数が経過したログ情報は削除するよう設定することができます。

- ①メニューバーの [ツール] - [環境設定] メニューを選択します。
- ②「環境設定」ダイアログ [ログ削除] タブの [ログを自動削除する] チェックボックスのチェックを ON にします。
- ③自動削除の日数を指定します。
- ④ [環境設定] ダイアログを [OK] ボタンで閉じるタイミングと、ログビューワー起動のタイミングでログの自動削除が実行されます。

#### (2) ログを手動削除する

- ① [ログリスト] 画面で、削除するログを選択します。複数選択可能です。
- ②メニューバーの [編集] - [削除] メニューを選択します。

#### (3) ログを月単位で一括削除する

- ① [ログツリー] 画面で、削除する月のフォルダを選択します。
- ②メニューバーの [編集] - [フォルダ配下一括削除] メニューを選択します。

---

## 16.2 画面の説明

---

ログビューワーで使用する各画面について説明します。

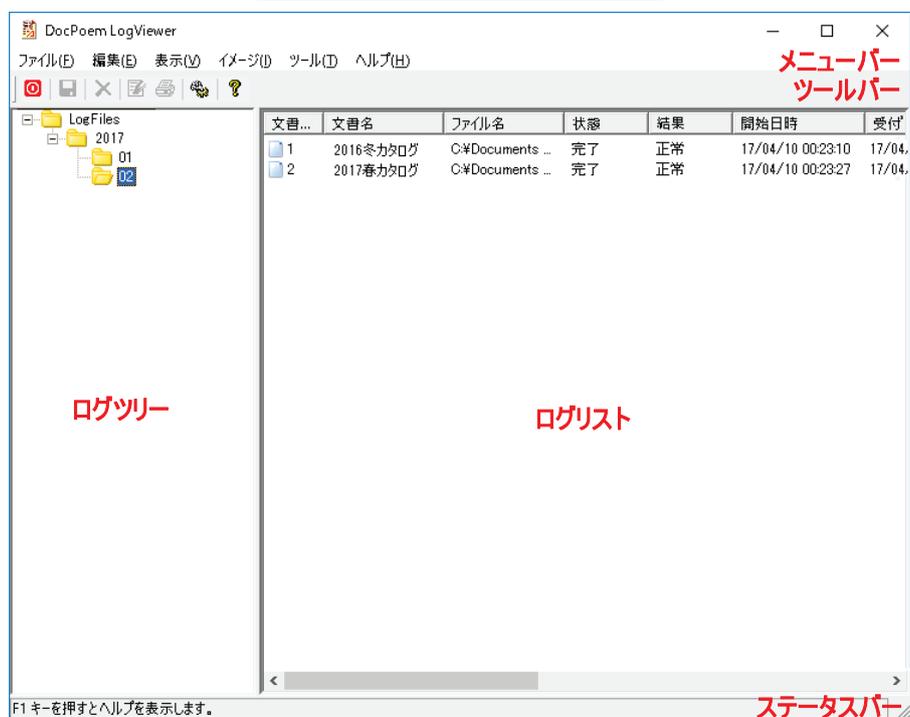
---

### 16.2.1 [ログビューワーメイン] 画面

---

「ログビューワーメイン」画面は、ログビューワーのメインウィンドウです。「ログツリー」、「ログリスト」、「メニューバー」、「ツールバー」、「ステータスバー」で構成します。

図 16.2.1 [ログビューワーメイン]画面



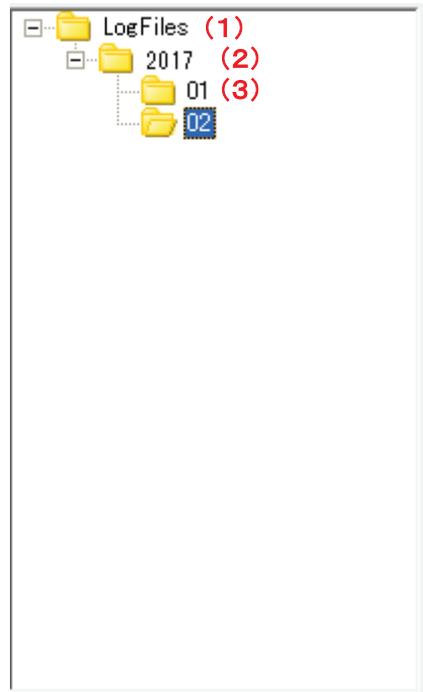
---

#### 16.2.1.1 [ログツリー] 画面

---

ログツリーの画面体裁および、操作について説明します。

図 16.2.1.1 [ログツリー]画面



(1) [LogFiles]フォルダ.

機能

- ・ログツリーのルートフォルダです。
- ・配下には年ごとのログが格納されます。

(2) [yyyy]フォルダ.

機能

- ・年単位でログを管理するフォルダです。
- ・フォルダ名は年を表します。
- ・配下には月ごとのログが格納されます。

(3) [mm]フォルダ.

機能

- ・月単位でログを管理するフォルダです。
- ・フォルダ名は月を表します。

操作

- ・選択すると当月内に実行したログがログ情報一覧に表示されます。

## 16.2.1.2 [ログリスト] 画面

---

ログリストの画面体裁および、操作について説明します。

図 16.2.1.2 [ログリスト]画面

文書No	文書名	ファイル名	状態	結果	開始日時	受
1	2016冬カタログ	C:\Documents ...	完了	正常	17/04/10 00:23:10	17,
2	2017春カタログ	C:\Documents ...	完了	正常	17/04/10 00:23:27	17,

### (1) 文書 No.

#### 機能

- ・文書 No.を表示します。
- ・月単位で 1 から始まる連番が振られます。

#### 操作

- ・項目名のクリックで文書 No.の昇順／降順に並び替えます。

### (2) 文書名

#### 機能

- ・出力を実行した文書名が表示されます。

#### 操作

- ・項目名のクリックで文書名の昇順／降順に並び替えます。

### (3) ファイル名

#### 機能

- ・出力の実行後に自動保存されたファイル名が絶対パスで表示されます。
- ・自動保存機能を無効にしている場合は何も表示されません。

#### 操作

- ・項目名のクリックでファイル名の昇順／降順に並び替えます。

### (4) 状態

#### 機能

- ・ジョブの状態を表示します。
- ・以下の状態のいずれかが表示されます。

状態	説明
スプール中	スプール中の状態を表します。
処理中	プリンタでジョブが処理されている状態を表します。
完了	出力処理が完了した状態を表します。ジョブの出力状況を取得できないプリンタから出力した場合は、この限りではありません。

#### 操作

- ・項目名のクリックで状態の昇順／降順に並び替えます。

### (5) 結果

#### 機能

- ・ジョブの処理結果結果を表示します。

結果	説明
正常	ジョブは正常に処理されました。
スプールエラー	スプール中にエラーが発生したため処理を中断しました。
スプール中キャンセル	スプール中に、印刷中ダイアログのキャンセルボタンで処理を中断されました。
スプール完了	スプールが正常に完了しています。
待機	ジョブはプリンタで待機中です。
処理中(正常)	ジョブはプリンタで処理中の状態にあり、プリンタも正常に稼働中です。
処理中(プリンタエラー)	ジョブはプリンタで処理中の状態にありますが、プリンタでエラーが発生しています。
停止	ジョブはプリンタで処理停止中です。
ジョブ異常	ジョブはプリンタでジョブ異常となりました。
中断	ジョブはプリンタで中断されました。
タイムアウト	ジョブの監視はタイムアウトしました。
不明	ジョブの結果は不明です。

#### 操作

- ・項目名のクリックで結果の昇順／降順に並び替えます。

### (6) 開始日時

#### 機能

- ・出力処理の開始日時を表示します。

#### 操作

- ・項目名のクリックで開始日時の昇順／降順に並び替えます。

### (7) 受付日時(プリンタ)

#### 機能

- ・プリンタがジョブを受け付けた日時(プリンタ時計)を表示します。
- ・不明な場合は“-”を表示します。

#### 操作

- ・項目名のクリックで受付日時(プリンタ)の昇順／降順に並び替えます。

### (8) 完了日時(プリンタ)

#### 機能

- ・プリンタがジョブの出力を完了した日時(プリンタ時計)を表示します。
- ・不明な場合は“-”を表示します。

#### 操作

- ・項目名のクリックで完了日時(プリンタ)の昇順／降順に並び替えます。

### (9) 完了日時

#### 機能

- ・DocPoem がジョブの完了を検知した日時を表示します。
- ・不明な場合は“-”を表示します。

#### 操作

- ・項目名のクリックで完了日時の昇順／降順に並び替えます。

### (10) 開始ページ

#### 機能

- ・出力の開始ページを表示します。

#### 操作

- ・項目名のクリックで開始ページの昇順／降順に並び替えます。

### (11) 終了ページ

#### 機能

- ・出力の終了ページを表示します。

#### 操作

- ・項目名のクリックで終了ページの昇順／降順に並び替えます。

(12)部数

機能

- ・出力の部数を表示します。

操作

- ・項目名のクリックで部数の昇順／降順に並び替えます。

(13)プリンタ名

機能

- ・出力に使用した DocPoem 上のプリンタ名を表示します。

操作

- ・項目名のクリックでプリンタ名の昇順／降順に並び替えます。

(14)Windows プリンタ名

機能

- ・出力に使用した Windows プリンタの名前を表示します。

操作

- ・項目名のクリックで Windows プリンタ名の昇順／降順に並び替えます。

(15)IP アドレス

機能

- ・出力に使用した Windows プリンタのポートが指す IP アドレスを表示します。

操作

- ・項目名のクリックで IP アドレスの昇順／降順に並び替えます。

(16)出力枚数

機能

- ・プリンタから出力された用紙の枚数を表示します。
- ・不明な場合は“-”を表示します。

操作

- ・項目名のクリックで出力枚数の昇順／降順に並び替えます。

(17)カラー面数

機能

- ・プリンタからカラー出力された面の数を表示します。
- ・不明な場合は“-”を表示します。

### 操作

- ・項目名のクリックでカラー面数の昇順／降順に並び替えます。

## (18)モノクロ面数

### 機能

- ・プリンタからモノクロ出力された面の数を表示します。
- ・不明な場合は“-”を表示します。

### 操作

- ・項目名のクリックでモノクロ面数の昇順／降順に並び替えます。

## 16.2.1.3 メニューバー

---

ログビューワーのメニューバー構成および、操作について説明します。

### 【ファイル】メニュー

#### (1) [エクスポート]

##### 機能

- ・ログツリーで選択されている月のログをファイルに保存します。

##### 操作

- ・Windows の「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
- ・ログツリーで月以外のツリーノードを選択している場合は、メニューを選択できません。

##### その他の操作

- ・ツールバーから[エクスポート]ボタンをクリックします。
- ・ログツリーの右マウスメニューで、[エクスポート]メニューを選択します。

#### (2) [終了]

##### 機能

- ・ログビューワーを終了します。

##### その他の操作

- ・ツールバーから[終了]ボタンをクリックします。
- ・Alt+F4 キーを押します。

### 【編集】メニュー

#### (1) [削除]

##### 機能

- ・ログリストで選択されているログ情報を削除します。

#### 操作

- ・ログリストで選択されているジョブ情報がない場合は、メニューを選択できません。

#### その他の操作

- ・ツールバーから[削除]ボタンをクリックします。
- ・ログリストの右マウスメニューで、[削除]メニューを選択します。
- ・Delete キーを押します。

### (2) [フォルダ配下一括削除]

#### 機能

- ・ログツリーで選択されている月のログ情報を全て削除します。

#### 操作

- ・ログツリーで月以外のツリーノードを選択している場合は、メニューを選択できません。

#### その他の操作

- ・ログツリーの右マウスメニューで、[フォルダは以下一括削除]メニューを選択します。

## [表示]メニュー

### (1) [アイコンの整列]

#### 機能

- ・ログリストリストの内容を[文書 No]、[文書名]、[ファイル名]、[状態]、[出力結果]、[開始日時]、[受付日時:プリンタ]、[完了日時:プリンタ]、[完了日時]、[開始ページ]、[終了ページ]、[部数]、[プリンタ名]、[プリンタ IP アドレス]、[出力枚数]、[カラー面数]、[モノクロ面数]のいずれかで並び替えます。

#### 操作

- ・現在の並び順にチェックマークが付きます。
- ・すでにチェックマークが付いている項目を再度選択した場合、並びの昇順／降順が切り替わります。

### (2) [最新の情報に更新]

#### 機能

- ・ログツリーおよび、ログリストの内容を最新の情報で更新します。

### (3) [ツールバー]

#### 機能

- ・ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

### 操作

- ・ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

## (4) [ステータスバー]

### 機能

- ・ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。

### 操作

- ・ステータスバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

## [イメージ]メニュー

### (1) [再編集]

#### 機能

- ・ログリストで選択されている文書の再編集を行います。

#### 操作

- ・出力後のファイルの自動保存を行っていない場合は、メニューを選択できません。
- ・ログが選択されていない場合や、複数のログが選択されている場合は、メニューを選択できません。

#### その他の操作

- ・ツールバーから[再編集]ボタンをクリックします。
- ・ログリストの右マウスメニューで、[再編集]メニューを選択します。

### (2) [再印刷]

#### 機能

- ・ログリストで選択されている文書の再印刷を行います。

#### 操作

- ・出力後のファイルの自動保存を行っていない場合は、メニューを選択できません。
- ・ログが選択されていない場合や、複数のログが選択されている場合は、メニューを選択できません。

#### その他の操作

- ・ツールバーから[再印刷]ボタンをクリックします。
- ・ログリストの右マウスメニューで、[再印刷]メニューを選択します。

## [ツール]メニュー

### (1) [環境設定]

#### 機能

- ・ログビューワーの環境設定を変更します。

#### 操作

- ・「環境設定」ダイアログを表示します。

#### その他の操作

- ・ツールバーから[環境設定]ボタンをクリックします。

### [ヘルプ]メニュー

#### (1) [ヘルプ]

##### 機能

- ・ログビューワーのヘルプを表示します。

##### その他の操作

- ・ツールバーから[ヘルプ]ボタンをクリックします。
- ・F1 キーを押します。

#### (2) [バージョン情報]

##### 機能

- ・ログビューワーのバージョン情報ダイアログを表示します。

### 16.2.1.4 ツールバー

---

ログビューワーのツールバー構成および、操作について説明します。

#### (1) [終了]

##### 機能

- ・ログビューワーを終了します。

##### その他の操作

- ・メニューバーから[ファイル]—[終了]メニューを選択します。
- ・Alt+F4 キーを押します。

#### (2) [エクスポート]

##### 機能

- ・ログツリーで選択されている月のログをファイルに保存します。

##### 操作

- ・Windows の「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
- ・ログツリーで月以外のツリーノードを選択している場合は、メニューを選択できません。

### その他の操作

- ・メニューバーから[ファイル]ー[エクスポート]メニューを選択します。
- ・ログツリーの右マウスメニューで、[エクスポート]メニューを選択します。

### (3) [削除]

#### 機能

- ・ログリストで選択されているログ情報を削除します。

#### 操作

- ・ログリストで選択されているジョブ情報がない場合は、メニューを選択できません。

#### その他の操作

- ・メニューバーから[編集]ー[削除]メニューを選択します。
- ・ログリストの右マウスメニューで、[削除]メニューを選択します。
- ・Delete キーを押します。

### (4) [再編集]

#### 機能

- ・ログリストで選択されている文書の再編集を行います。

#### 操作

- ・出力後のファイルの自動保存を行っていない場合は、メニューを選択できません。
- ・ログが選択されていない場合や、複数のログが選択されている場合は、メニューを選択できません。

#### その他の操作

- ・メニューバーから[イメージ]ー[再編集]メニューを選択します。
- ・ログリストの右マウスメニューで、[再編集]メニューを選択します。

### (5) [再印刷]

#### 機能

- ・ログリストで選択されている文書の再印刷を行います。

#### 操作

- ・出力後のファイルの自動保存を行っていない場合は、メニューを選択できません。
- ・ログが選択されていない場合や、複数のログが選択されている場合は、メニューを選択できません。

#### その他の操作

- ・メニューバーから[イメージ]ー[再印刷]メニューを選択します。
- ・ログリストの右マウスメニューで、[再印刷]メニューを選択します。

(6) [環境設定] 

機能

- ・ログビューワーの環境設定を変更します。

操作

- ・「環境設定」ダイアログを表示します。

その他の操作

- ・メニューバーから[ツール]ー[環境設定]メニューを選択します。

(7) [ヘルプ] 

機能

- ・ログビューワーのヘルプを表示します。

その他の操作

- ・メニューバーから[ヘルプ]ー[ヘルプ]メニューを選択します。
- ・F1 キーを押します。

#### 16.2.1.5 ステータスバー

---

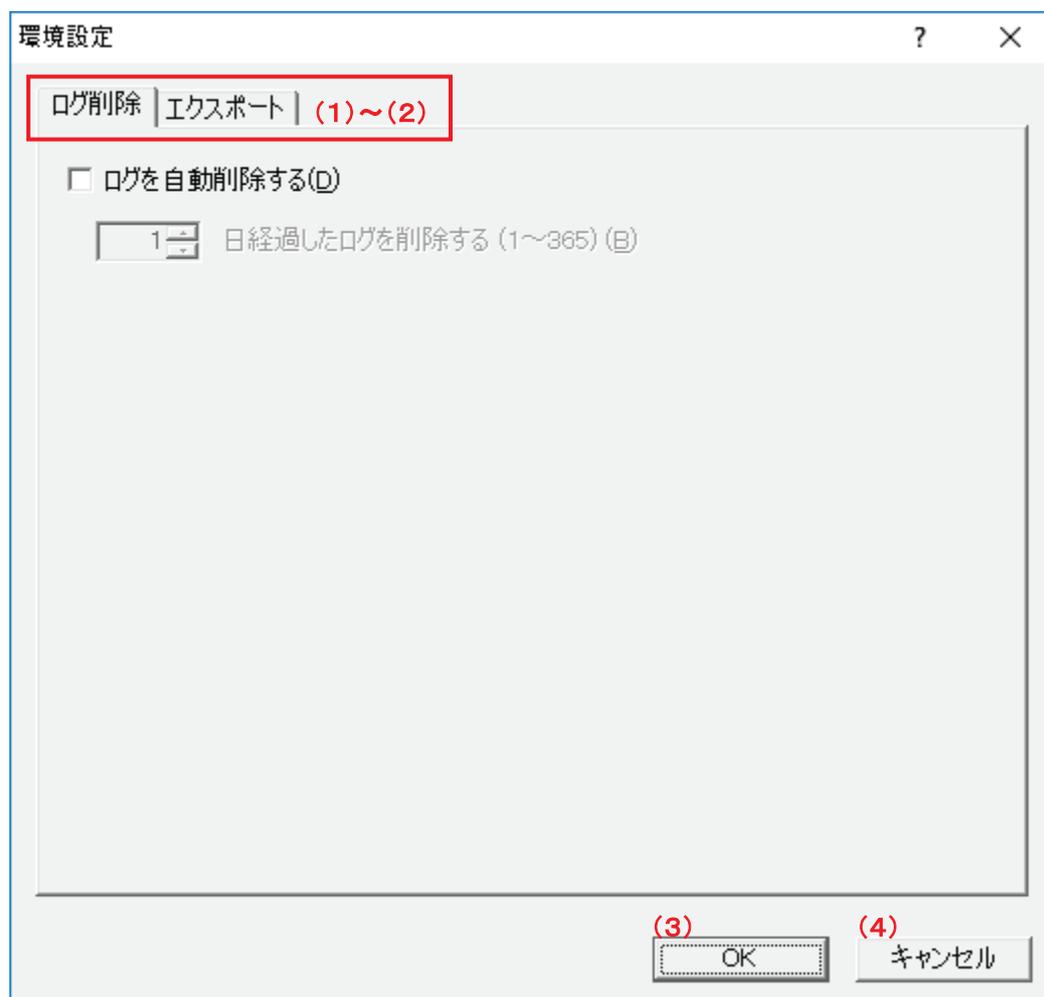
ログビューワーのステータスバーには、メニューやツールバーの項目の意味を表示します。

#### 16.2.2 [環境設定] ダイアログ

---

環境設定ダイアログは、ログビューワーの動作環境を設定するためのダイアログです。

図 16.2.2 [環境設定]ダイアログ



(1) [ログ削除]タブ

(2) [エクスポート]タブ

(3) [OK]ボタン

機能

- ・変更内容を保存し、画面を閉じます。

(4) [キャンセル]ボタン

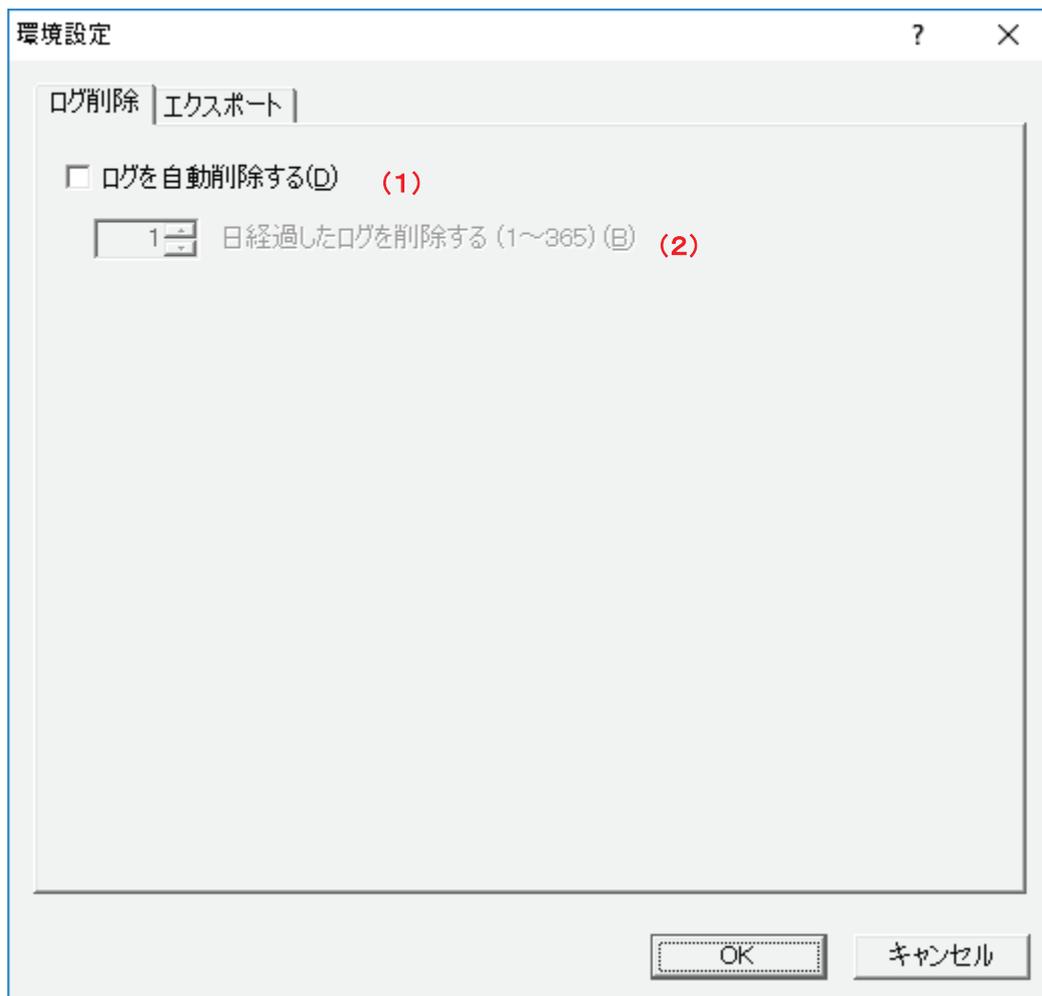
機能

- ・処理を中断し、画面を閉じます。

### 16.2.2.1 [ログ削除] タブ

ログの自動削除の有無および、自動削除の条件を設定します。

図 16.2.2.1 [ログ削除]タブ



#### (1) [ログを自動削除する]チェックボックス

##### 機能

- ・コンピュータのハードディスクに保存されているログのうち、指定した期間経過した古いログを削除します。

##### 操作

- ・ログを自動削除する場合にチェックします。
- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

#### (2) [削除日数]入力ボックス

## 機能

- ・[ログを自動削除する]チェックボックスを選択した場合に、ログを削除する経過日数を指定します。

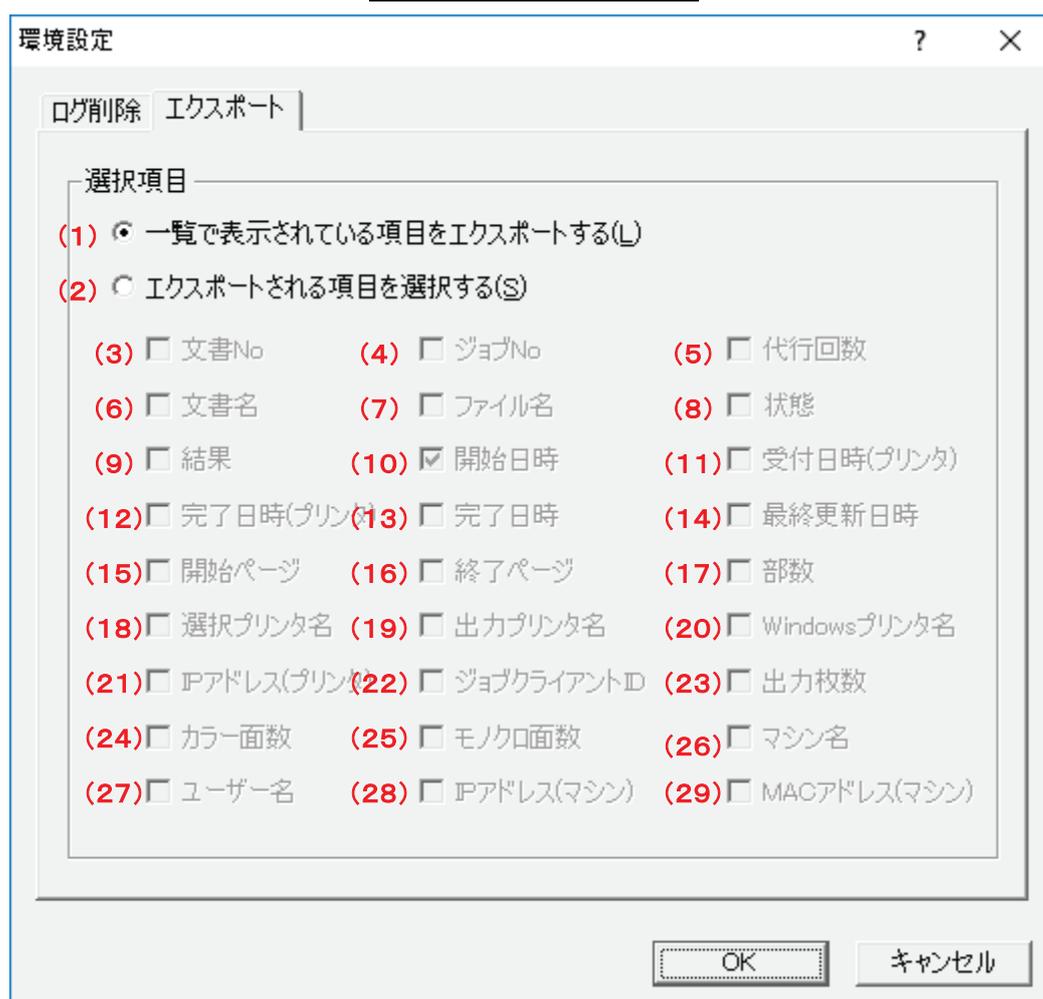
## 機能

- ・1～365の半角数字で指定します。1日単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“1”日になっています。

### 16.2.2.2 [エクスポート] タブ

エクスポート時の、エクスポートの対象となる項目を選択します。

図 16.2.2.2 [エクスポート]タブ



(1) [一覧で表示されている項目をエクスポートする]ラジオボタン

機能

- ・エクスポートする場合に、画面上のリスト一覧に表示されている項目をエクスポートします。
- ・エクスポートするファイル形式は CSV(カンマ区切り)で出力します。

操作

- ・初期値は、[一覧で表示されている項目をエクスポートする]になっています。

(2) [エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタン

機能

- ・エクスポートで出力する項目を指定します。
- ・エクスポートするファイル形式は CSV(コンマ区切り)で出力します。

操作

- ・初期値は、[一覧で表示されている項目をエクスポートする]になっています。

(3) [文書 No]チェックボックス

機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“文書 No”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(4) [ジョブ No]チェックボックス

機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“ジョブ No”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(5) [代行回数]チェックボックス

機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“代行回数”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(6) [文書名]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“文書名”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

### (7) [ファイル名]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“ファイル名”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

### (8) [状態]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“状態”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

### (9) [結果]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“結果”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

### (10) [開始日時]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“開始日時”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“する”(ON)になっています。
- ・ユーザーによる指定はできません。

### (11) [受付日時(プリンタ)]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“受付日時(プリンタ)”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

### (12) [完了日時(プリンタ)]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“完了日時(プリンタ)”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

### (13) [完了日時]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“完了日時”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

### (14) [最終更新日時]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“最終更新日時”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

### (15) [開始ページ]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“開始ページ”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

### (16) [終了ページ]チェックボックス

#### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“終了ページ”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(17) [部数]チェックボックス

機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“部数”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(18) [選択プリンタ名]チェックボックス

機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“選択プリンタ名”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(19) [出力プリンタ名]チェックボックス

機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“出力プリンタ名”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(20) [Windows プリンタ名]チェックボックス

機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“Windows プリンタ名”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(21) [IP アドレス(プリンタ)]チェックボックス

機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“IP アドレス(プリンタ)”を

エクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(22) [ジョブクライアント ID] チェックボックス

機能

- ・ [エクスポートされる項目を選択する] ラジオボタンを選択した場合に、“ジョブクライアント ID”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(23) [出力枚数] チェックボックス

機能

- ・ [エクスポートされる項目を選択する] ラジオボタンを選択した場合に、“出力枚数”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(24) [カラー面数] チェックボックス

機能

- ・ [エクスポートされる項目を選択する] ラジオボタンを選択した場合に、“カラー面数”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(25) [モノクロ面数] チェックボックス

機能

- ・ [エクスポートされる項目を選択する] ラジオボタンを選択した場合に、“モノクロ面数”をエクスポートするかどうかを指定します。

操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

(26) [マシン名] チェックボックス

機能

- ・ [エクスポートされる項目を選択する] ラジオボタンを選択した場合に、“マシン名”をエクスポートするかどうかを指定します。

#### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

#### (27) [ユーザー名]チェックボックス

##### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“ユーザー名”をエクスポートするかどうかを指定します。

##### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

#### (28) [IP アドレス(マシン)]チェックボックス

##### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“IP アドレス(マシン)”をエクスポートするかどうかを指定します。

##### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

#### (29) [MAC アドレス(マシン)]チェックボックス

##### 機能

- ・[エクスポートされる項目を選択する]ラジオボタンを選択した場合に、“MAC アドレス(マシン)”をエクスポートするかどうかを指定します。

##### 操作

- ・初期値は、“しない”(OFF)になっています。

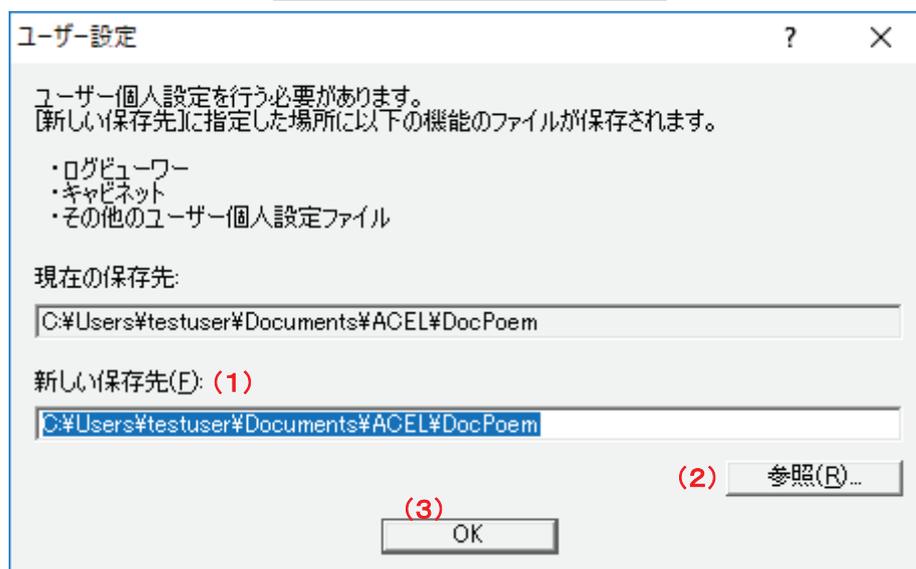
---

### 16.2.3 [ユーザー設定] ダイアログ

---

ログビューワ起動時にユーザー設定が必要な場合、[ユーザー設定] ダイアログが表示されます。

図 16.2.3 [ユーザー設定]ダイアログ



(1) [新しい保存先]入力ボックス

機能

- ・ユーザー個人設定の新しい保存先を指定します。

操作

- ・参照ボタンを押下すると[フォルダの参照]ダイアログが表示され、ユーザー個人設定の新しい保存先を選択することができます。
- ・直接入力することができます。

(2) [参照]ボタン

機能

- ・[フォルダの参照]ダイアログを表示します。
- ・ユーザー設定の新しい保存先を選択します。

(3) [OK]ボタン

機能

- ・変更内容を保存し、画面を閉じます。

## 17. ACEL DocPoem Image Driver

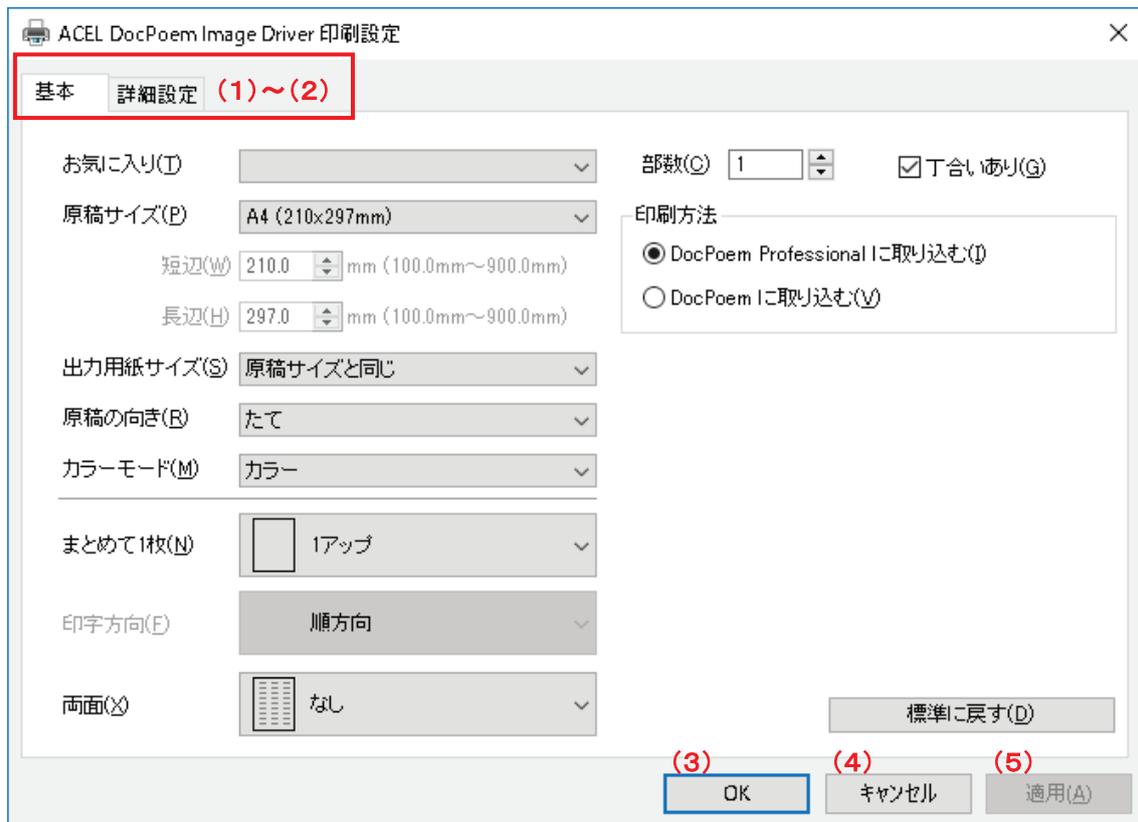
“ACEL DocPoem Image Driver”は、文書ファイルの印刷イメージを DocPoem に取り込むためのプリンタドライバです。

文書ファイルを開いたアプリケーションから、“ACEL DocPoem Image Driver”に印刷することで、印刷イメージを DocPoem に取り込みます。

### 17.1 画面の説明

“ACEL DocPoem Image Driver”印刷設定画面の画面体裁、および操作について説明します。

図 17.1 [ACEL DocPoem Image Driver 印刷設定]ダイアログ



(1) [基本]タブ

(2) [詳細設定]タブ

(3) [OK]ボタン

機能

- ・このダイアログボックスを閉じ、編集内容を保存します。

(4) [キャンセル]ボタン

機能

- ・変更内容を保存せずに、このダイアログボックスを閉じます。

(5) [適用]ボタン

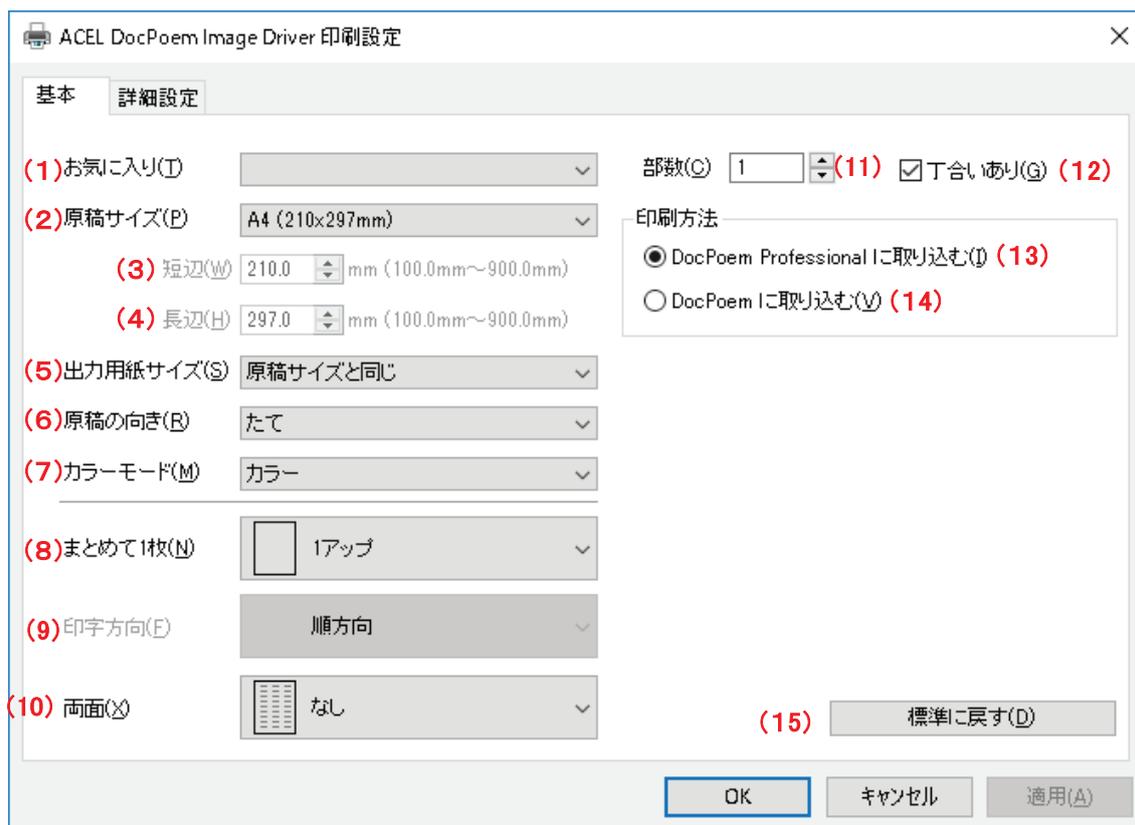
機能

- ・このダイアログボックスを開いたまま、変更内容を保存します。

## 17.1.1 [基本] タブ

“ACEL DocPoem Image Driver” の [基本] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 17.1.1 [基本]タブ



### (1) [お気に入り]コンボボックス

#### 機能

- ・[お気に入り]として登録している「文書」属性を、DocPoem への取り込み時に適用します。
- ・取り込む原稿のサイズによってはお気に入りの一部の属性しか反映できない場合があります。

#### 操作

- ・一覧から設定したい「お気に入り」を選択します。

### (2) [原稿サイズ]コンボボックス

#### 機能

- ・原稿サイズを選択します。

#### 操作

- ・以下の原稿サイズが選択できます。

A3 (297x420mm)

B4 (257x364mm)

A4 (210x297mm)

B5 (182x257mm)

A5 (148x210mm)

B6 (128x182mm)

A6 (105x148mm)

8.5x11” (レター)

8.5x14” (リーガル)

8.5x13”

11x17”

ユーザー定義用紙サイズ

- ・初期値は[A4 (210x297mm)]になっています。
- ・[ユーザー定義用紙サイズ]を指定した場合、原稿サイズの短辺と長辺の長さを指定できません。

### (3) [短辺] 入力ボックス

#### 機能

- ・原稿の短辺の長さを指定します。

#### 操作

- ・100.0～900.0の半角数字で指定します。
- ・キー、またはスピントタンで指定します。
- ・原稿サイズに[ユーザー定義用紙サイズ]を指定した場合かつ、印刷方法に[DocPoem に取り込む]を指定した場合のみ本項目は指定できます。
- ・短辺には、長辺以下の値を指定します。

### (4) [長辺] 入力ボックス

#### 機能

- ・原稿の長辺の長さを指定します。

#### 操作

- ・100.0～900.0の半角数字で指定します。
- ・キー、またはスピントタンで指定します。
- ・原稿サイズに[ユーザー定義用紙サイズ]を指定した場合かつ、印刷方法に[DocPoem に取り込む]を指定した場合のみ本項目は指定できます。
- ・長辺には、短辺以上の値を指定します。

(5) [出力用紙サイズ]コンボボックス

機能

- ・印刷で使用する用紙サイズを選択します。

操作

- ・以下の出力用紙サイズが選択できます。
  - 原稿サイズと同じ
  - A3 (297x420mm)
  - B4 (257x364mm)
  - A4 (210x297mm)
  - B5 (182x257mm)
  - A5 (148x210mm)
  - 8.5x11” (レター)
  - 8.5x14” (リーガル)
  - 8.5x13”
  - 11x17”
- ・初期値は[原稿サイズと同じ]になっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

(6) [原稿の向き]コンボボックス

機能

- ・印刷する原稿の向きを選択します。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - たて
  - よこ
- ・初期値は[たて]になっています。

(7) [カラーモード]コンボボックス

機能

- ・カラーモードを選択します。
- ・[カラー]を選択した場合、カラー原稿はカラーイメージで印刷を指示します。
- ・[モノクロ]を選択した場合、カラー原稿を白黒に変換し印刷を指示します。

操作

- ・以下のカラーモードが選択できます。
  - カラー

## 白黒

- ・初期値は[カラー]になっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

## (8) [まとめて 1 枚] コンボボックス

### 機能

- ・連続する原稿を 1 つの用紙にまとめて印刷するかどうか、およびまとめて印刷する枚数を選択します。
- ・[1 ページ]以外を選択した場合、[印字方向]コンボボックスから用紙の割り付け順序を指定できます。

### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - 1アップ
  - 2アップ
  - 4アップ
  - 8アップ
  - 16アップ
  - 32アップ
- ・初期値は[1 アップ]になっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

## (9) [印字方向] コンボボックス

### 機能

- ・[まとめて 1 枚]コンボボックスで[1 アップ]以外を選択した場合、用紙の割り付け順序を選択します。

### 操作

- ・以下の印字方向が選択できます。
  - 順方向
  - 逆方向
  - 順横方向
  - 順縦方向
  - 逆横方向
  - 逆縦方向
- ・[まとめて 1 枚]コンボボックスで[2 アップ]を選択した場合、初期値は[順方向]になっています。
- ・[まとめて 1 枚]コンボボックスで[4/8/16/32 アップ]を選択した場合、初期値は[順横方向]

になっています。

- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

#### (10) [両面]コンボボックス

##### 機能

- ・両面印刷を行うかどうかを指定します。
- ・両面印刷には[長辺とじ]、[短辺とじ]があります。とじる辺にあわせてどちらかを選択します。
- ・[長辺とじ]は用紙の長辺、[短辺とじ]は用紙の短辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するように印刷されます。

##### 操作

- ・以下の指定が選択できます。
  - なし
  - 長辺とじ
  - 短辺とじ
- ・初期値は[なし]になっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

#### (11) [部数]入力ボックス

##### 機能

- ・印刷部数を指定します。

##### 操作

- ・1～999の半角数字で指定します。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンドットで指定します。
- ・初期値は“1”部になっています。

#### (12) [丁合い有り]チェックボックス

##### 機能

- ・複数ページからなる文書を部単位でソートして印刷するかどうかを指定します。

##### 操作

- ・部単位でソートして印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は“丁合いあり”(ON)になっています。

#### (13) [DocPoem Professional に取り込む]ラジオボタン

#### (14) [DocPoem に取り込む]ラジオボタン

##### 機能

- ・取り込み先のプログラムを選択します。選択したプログラムで印刷プレビューを確認できます。
- ・DocPoem Professional または、DocPoem を起動し、指定した文書の印刷プレビューを表示します。
- ・編集集中の文書が存在する場合、編集中文書の末尾に束ねて追加されます。
- ・原稿サイズに[ユーザー定義用紙サイズ]を指定した場合、[DocPoem Professional に取り込む]は選択できません。

#### 操作

- ・初期値は[DocPoem Professional に取り込む]になっています。

#### (15) [標準に戻す] ボタン

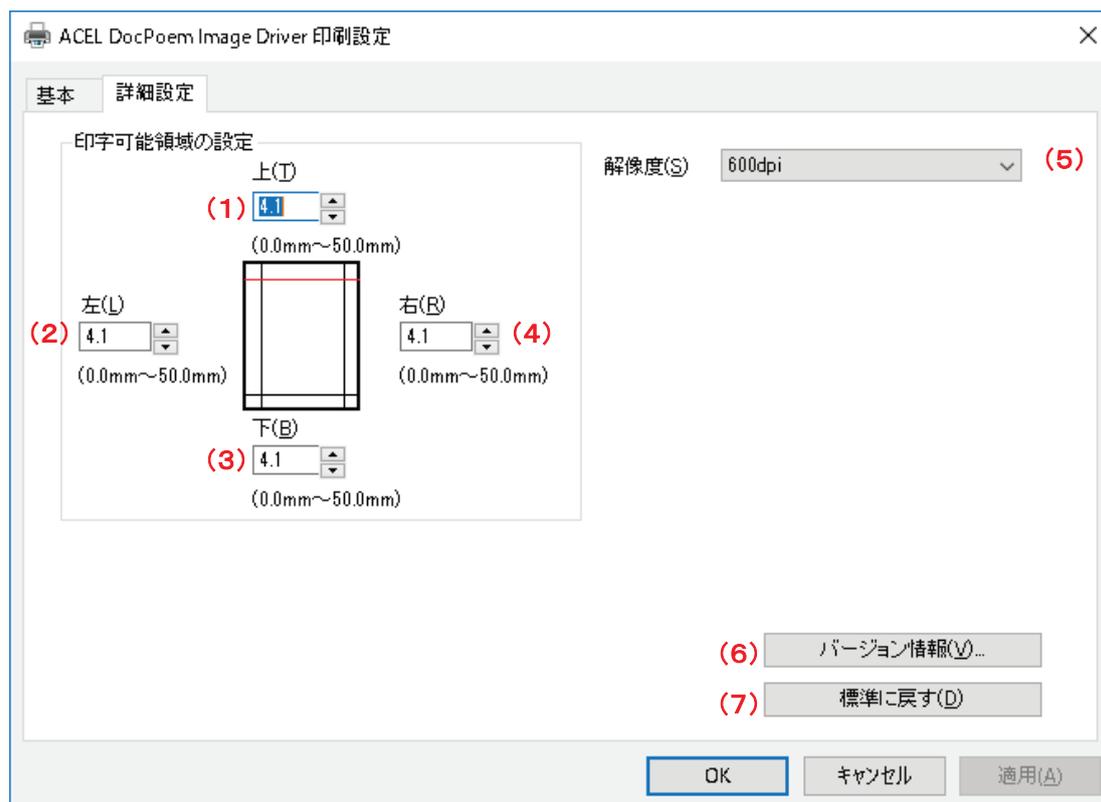
#### 機能

- ・各項目の設定内容を初期状態に戻します。

## 17.1.2 [詳細設定] タブ

“ACEL DocPoem Image Driver” の [詳細設定] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 17.1.2 [詳細設定]タブ



### (1) [上余白] 入力ボックス

#### 機能

- ・原稿の上余白を指定します。

#### 操作

- ・0.0～50.0 の半角数字で指定します。0.1 ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は“4.1”ミリになっています。
- ・[お気に入りに登録]を指定した場合、本項目は指定できません。

### (2) [左余白] 入力ボックス

#### 機能

- ・原稿の左余白を指定します。

### 操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は“4.1”ミリになっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

## (3) [下余白]入力ボックス

### 機能

- ・原稿の下余白を指定します。

### 操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は“4.1”ミリになっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

## (4) [右余白]入力ボックス

### 機能

- ・原稿の右余白を指定します。

### 操作

- ・0.0～50.0の半角数字で指定します。0.1ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は“4.1”ミリになっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

## (5) [解像度]コンボボックス

### 機能

- ・アプリケーションに通知する解像度を選択します。

### 操作

- ・以下の解像度が選択できます。
  - 600dpi
  - 400dpi
  - 300dpi
  - 240dpi
  - 200dpi
  - 96dpi
- ・初期値は[600dpi]になっています。

(6) [バージョン情報] ボタン

機能

- ・プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

操作

- ・[バージョン情報] ダイアログを表示します。

(7) [標準に戻す] ボタン

機能

- ・各項目の設定内容を初期状態に戻します。

---

---

## 18. 注意／制限事項

---

---

---

### 18.1 使用可能なプリンタ

---

Windowsシステムの「プリンタの追加」にて追加済みであることとします。

また、富士フイルムのプリンタを推奨します。

ただし FAX プリンタドライバは使用できません。

---

### 18.2 ACEL DocPoem Image Driver に関する注意事項

---

DocPoemをインストールすると、Windowsのプリンタとして“ACEL DocPoem Image Driver”が生成されますが、プリンタの削除や、プリンタ名の変更を行った場合、DocPoemの動作は保証できません。

また、“ACEL DocPoem Image Driver”をWindowsのネットワークプリンタとして使用することはできません。“ACEL DocPoem Image Driver”はクライアントPC上のローカルプリンタとして使用した場合において動作を保証します。

---

### 18.3 ユーザー定義用紙サイズの使用に関する注意事項

---

DocPoemに取り込んだ原稿に、“ACEL DocPoem Image Driver”がサポートしている定型サイズ以外の原稿サイズが含まれている場合、取り込んだイメージの編集操作はできません。

また、DocPoemから印刷可能なプリンタも制限されます。

---

### 18.4 使用するプリンタの事前確認

---

DocPoemでは、現在のプリンタ環境によってサポート可能な機能を決定します。使用するプリンタに対して、事前に以下について確認する事を強く推奨します。

- ・サポート対象の最新のプリンタドライバを使用する。

その他、プリンタへのアクセス権の確認を行ってください。

---

## 18.5 ネットワークプリンタ、サポート対象外機種についての機能

### 制限事項

---

ネットワークインストールしたプリンタ、他社製の機種、およびサポート対象外の機種について制限となる機能を以下に説明します。

#### (1) 印刷結果の制限

以下の印刷属性項目に関して、期待した印刷結果が得られない場合があります。

- ・部数
- ・丁合い
- ・原稿サイズ
- ・用紙の向き
- ・両面印刷

また、以下の印刷設定機能はプリンタドライバを操作しないと実現できない機能であるため無効となります。

- ・出力用紙サイズの変更
- ・給紙トレイの変更
- ・合紙の給紙トレイの選択
- ・オフセット排出
- ・ホチキス
- ・パンチ
- ・紙折り
- ・セキュリティプリント
- ・認証情報の設定

サポート対象外の機種から印刷を実行する場合は、「期待した印刷結果が得られない場合がある。」旨のメッセージを表示します。

#### (2) デバイス制御に関連する機能の制限

出力デバイスの制御（取得／設定）ができないため、以下の機能は無効となります。

- ・物理プリンタとしての表示
- ・印刷設定変更に伴う自動更新  
→指定した印刷属性に合わせて、使用できないプリンタは選択不可にする機能です。

動作保証対象とする機種であっても、ネットワークプリンタの場合は、同様の制限が発生します。（クライアントPC上のローカルプリンタとして使用した場合において動作を保証します。）

---

## 18.6 プリンタデバイスの性能と印刷設定に関する制限事項

---

DocPoemは、サポート対象機種の場合、プリンタドライバのオプション構成を取得することで、指定した印刷設定が、実際に印刷可能かどうかを判断しています。

ユーザーが指定した印刷設定では印刷できない機種に対して、機種を選択を不可とし印刷の実行に制限を設けています。以下の印刷設定機能が該当します。

- ・丁合い（丁合い可能なプリンタかどうか）
- ・両面印刷（両面ユニットありかどうか）
- ・給紙トレイと出力用紙サイズ（給紙トレイ構成を取得することで指定した用紙が印刷可能かどうか判断）
- ・オフセット排出（オフセット排出可能か）
- ・ホチキス／パンチの有無、ホチキス／パンチの位置（ホチキスやパンチが実現できるフィニッシャーが指定されているかどうか）
- ・紙折り（紙折りが実現できるフィニッシャーや関連オプションが指定されているかどうか）
- ・小冊子印刷／カタログ印刷（両面ユニットありかどうか）

ただし、カラーモードに関しては、“カラーで出力する”が指定された場合でも、モノクロ機への出力を許可しています。

---

## 18.7 白紙印刷に関する制限事項

---

DocPoemでは、以下の印刷設定において手動、または自動で白紙原稿や用紙を挿入する機能を提供しています。

- 用紙ごとに両面、片面の指定が可能であり、両面と片面が混在する場合、片面で印刷する用紙の裏面を白紙にする。
- 合紙挿入
- 白紙挿入

白紙の印刷を保証するために、サポート対象機種においては、プリンタドライバの [白紙節約] → “白紙節約しない” を設定後、印刷を実行しています。

---

## 18.8 文書ファイルの取り込みについて

---

DocPoemでは、DocPoemの画面に文書ファイルを直接ドラッグ&ドロップするなどの方法で、文書ファイルを取り込み、印刷結果をプレビュー表示することができます。

取り込む可能な文書ファイルの条件について説明します。

### アプリケーションファイル

DocPoemでは、文書ファイルに対して実行するアプリケーションの印刷が関連付けられていなければ、文書ファイルを直接取り込むことはできません。実行するアプリケーションが関連付けられているかどうかは下記のいずれかの操作で確認することができます。

- ①実行する文書ファイルをドラッグ&ドロップ（または、コピー&貼り付け）でプリンタに置いてください。
- ②Windows エクスプローラより実行する文書ファイルをマウスボタン右クリックより [印刷] メニューを実行してください。

この時、ドロップ（または、貼り付け）しても印刷が開始されない場合や、[印刷]メニューがない場合は、その文書ファイルを直接DocPoemに取り込むことはできません。印刷が関連付けられている文書ファイルでも、下記の条件に該当する場合は、アプリケーション側の制限により正常に取り込めないことがあります。ご注意ください。

- ① “ACEL DocPoem Image Driver” とは別のプリンタに出力されてしまう。  
印刷を指示するためのダイアログボックスを開いて、オペレータの入力を要求するアプリケーションにおいて発生する頻度が高く、この場合 DocPoem に取り込まれることはなく、別のプリンタから出力されてしまいます。
- ②部数などの一部の印刷属性に対して、アプリケーションで無視される。

DocPoemに取り込むことはできますが、初期の印刷属性がアプリケーションから指定したものと異なる場合があります。

③印刷が関連付けられているのに、文書ファイルを開くまたは、新規作成文書を開く操作を実行してしまうアプリケーション。

アプリケーションで何もせずに終了してしまい、この場合 DocPoem に取り込むことができません。

④アプリケーションが二重に起動されると指定したプリンタとは別のプリンタに出力されてしまう。

この場合、DocPoem に取り込まれることはなく、別のプリンタから出力されてしまいます。使用するアプリケーションを全て終了させてから印刷を実行すると、この問題は回避されます。

---

## 18.9 印刷結果に関する制限事項

---

DocPoemから印刷した結果が、アプリケーションの印刷プレビューやアプリケーションから直接印刷した結果と異なる場合があります。

これらの原因および、その対処方法について説明します。

### (1) プリンタフォントが正しく出力されない

文書中にプリンタフォントが存在する場合、プリンタフォントが正しく出力されない場合があります。文書中にプリンタフォント指定の文字列が存在する場合、その文字列はアプリケーション側で何らかのフォントに置換され印刷されます。

プリンタフォントを使用して印刷する場合には、文書中ではTrue Typeフォントを選択し、印刷で使用するプリンタドライバ側でフォント代替を指定してください。

### (2) 文書ファイルとアプリケーションのバージョン差異により、印刷結果が異なる

文書ファイルを作成したアプリケーションと印刷を実行するアプリケーションのバージョンが異なる場合、文書中の設定状態が無効となることがあります。

このような現象が発生した場合には、一旦、印刷するアプリケーションのバージョンで文書ファイルを更新→保存後、再度印刷を行ってください。

(3) 罫線が強調して描画される

DocPoemの罫線補正機能により、文書中の罫線が強調して描画される場合があります。

このような現象が発生した場合には、メニューバーから [イメージ] - [罫線補正] メニューを選択し、罫線補正機能を解除してください。

(4) イメージが白紙で描画される／描画したイメージに線が入る

印刷する文書の内容によっては、白紙で描画されてしまったり、描画したイメージに線が入ってしまう場合があります。

このような現象が発生した場合には、メニューバーから [イメージ] - [プロパティ] メニューを選択し「印刷属性」ダイアログを開き、[原稿]タブの[画質補正]ボタンから「画質補正」ダイアログを開いて、画質補正機能を有効にしてください。

---

## 18.10 セキュリティプリントと認証情報の設定に関する制限事項

---

以下の機種では、Ver2.x以降のプリンタドライバでなければ、セキュリティプリント機能を使用することはできません。

DocuCentre Color 400 / 320 / 240 / 160

DocuPrint C2221

DocuPrint C2220

DocuCentre 559 / 659 / 719 CP

DocuCentre 507 / 508 / 607 / 608 / 707 / 708

以下の機種では、Ver2.x以降のプリンタドライバでなければ、認証情報の設定を行うことはできません。

DocuCentre Color 400 / 320 / 240 / 160

DocuCentre Color 500 / 500 CP

DocuPrint C2221

DocuPrint C2220

DocuPrint C1250

DocuColor 1250

DocuCentre 905 / 1010 / 1015

DocuCentre 559 / 659 / 719 CP

DocuCentre 507 / 508 / 607 / 608 / 707 / 708

---

## 18.11 64ビット OS で使用する場合の制限事項

---

64ビットバージョンのWindowsで使用する場合は、以下の機能を使用できません。

- (1) 書庫ファイルの取り込み機能